

注3

大学番号：私077

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

駒沢女子大学 人間総合学群

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

駒沢女子大学 大学短大事務部

部長 ハラダ タカシ
原田 隆

電話番号 042-350-7111

(夜間) 042-350-7111

F A X 042-350-7112

e-mail jimubu@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出
について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間総合学群

<人間文化学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

<観光文化学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	50
2. 授業科目の概要	54
3. 施設・設備の整備状況、経費	61
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	62
5. 教員組織の状況	64
6. 留意事項等に対する履行状況等	84
7. その他全般的事項	85

<心理学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	90
2. 授業科目の概要	94
3. 施設・設備の整備状況、経費	102
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	103
5. 教員組織の状況	105
6. 留意事項等に対する履行状況等	126
7. その他全般的事項	127

<住空間デザイン学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	142
2. 授業科目の概要	146
3. 施設・設備の整備状況、経費	153
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	154
5. 教員組織の状況	156
6. 留意事項等に対する履行状況等	178
7. その他全般的事項	179

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(ミタ セイジ) 三田 誠司 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学群 人間文化学類 学士(日本文化) 学士(人間関係) 学士(英語コミュニケーション)	文学関係	4 年	170 人	20 3年次 人	720 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	170 () [若干名]	- ()	1.16倍	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。								
志願者数	555 () [2]	- () [-]										
受験者数	537 () [2]	- () [-]										
合格者数	436 () [2]	- () [-]										
B 入学者数	198 () [1]	- () [-]										
入学定員超過率 B/A	1.16											

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	198 [1] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者のうち、人間総合学群一括入試による入学者については、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。								
2年次			- [-] (-)								
3年次					- [-] (-)						
4年次								- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	198 [1] (-)	- [-] (-)									

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	198人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	198人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{198} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間総合学群 人間文化学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	2	3			11
	基礎ゼミⅡ	1後	1			5	2	3			11
	仏教学Ⅰ	1前	2			2					2
	仏教学Ⅱ	1後	2			2					2
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2			3	1	1			1
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2		1	1				
	日本文化入門Ⅱ	1後		2		1	1				
	人間関係入門Ⅰ	1前		2		1		2			
	人間関係入門Ⅱ	1後		2		2	1				
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2		1	2	3			
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2		1	2	3			
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							1
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2		1					
	女性の人権	1後		2		1					
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
教養知科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2							1
	生涯学習論Ⅱ	1後		2							1
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1
	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2		1					
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2		1					
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
文化と歴史を学ぶ科目	比較文化	1後		2		1					
	日本の文化	1後		2		1					
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2		1					
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			5	4	1			10
	基礎ゼミⅡ	1後	1			5	4	1			10
	仏教学Ⅰ	1前	2			2					1
	仏教学Ⅱ	1後	2			2					1
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	2								1
	駒沢女子大学入門	1前	2			4	1				1
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2		2					
	日本文化入門Ⅱ	1後		2		1	1				
	人間関係入門Ⅰ	1前		2		1	1	1			
	人間関係入門Ⅱ	1後		2		2	1				
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2		2	2	3			
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2		2	2	3			
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							2
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2		1					
	女性の人権	1後		2		1					
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
教養知科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2							1
	生涯学習論Ⅱ	1後		2							1
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1
	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2		1					
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2		1					
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
文化と歴史を学ぶ科目	比較文化	1後		2		1					
	日本の文化	1後		2		1					
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2		1					
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前		2		1						
	世界の政治	1後		2		1						
	政治と市民参加	1後		2		1						
	日本の経済	1前		2							1	
	世界の経済	1前		2							1	
	新聞と報道	1後		2							1	
	グローバル共生論	1後		2							1	
	社会学	1前		2		1						1
	法と社会	1後		2		1						1
	日本国憲法 I	1前		2		1						1
	日本国憲法 II	1後		2		1						1
	社会学 I	1前		2							1	
	社会学 II	1後		2							1	
	数学の世界	1前		2							1	
	物理の世界	1後		2							1	
	生物と生命	1前		2							1	
	地球と宇宙	1後		2							1	
	物質と化学	1前		2							1	
	情報と科学	1後		2							1	
	色彩と科学	1前		2							1	
	実習科目	ボランティア実習 I	1後		1		2					
ボランティア実習 II		2後		2		1						
海外英語研修 I		1後		2		2	2	3				
海外英語研修 II		2後		2		2	2	3				
国際協力実習		2前		1							1	
国際協力実習フォローアップ		2後		2							1	
進路設計		1後	2									3
社会と教養演習A		2・3前		1								1
社会と教養演習B		2・3前		1								1
社会と教養演習C		2・3後		1								1
社会と教養演習D		2・3後		1								1
キャリアリテラシー		3前		2								1
就業への知識と技能A	2・3前		2		1							
就業への知識と技能B	2・3後		2		1							
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								3
	スポーツ II	1・2後		1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1			1		1				3
	言語表現演習 II	1後	1			1		1				3
技法知科目	英語A I	1前	1									23
	英語A II	1後	1									23
	英語A III	2前	1									23
	英語A IV	2後	1									23
	英語B I	1前	1					1				22
	英語B II	1後	1					1				22
	英語B III	2前	1					1				22
	英語B IV	2後	1					1				22

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前		2		1						
	世界の政治	1後		2		1						
	政治と市民参加	1後		2		1						
	日本の経済	1前		2								1
	世界の経済	1前		2								1
	新聞と報道	1後		2								1
	グローバル共生論	1後		2								1
	社会学	1前		2		1						1
	法と社会	1後		2		1						1
	日本国憲法 I	1前		2		1						1
	日本国憲法 II	1後		2		1						1
	社会学 I	1前		2								1
	社会学 II	1後		2								1
	数学の世界	1前		2								1
	物理の世界	1後		2								1
	生物と生命	1前		2								1
	地球と宇宙	1後		2								1
	物質と化学	1前		2								1
	情報と科学	1後		2								1
	色彩と科学	1前		2								1
	実習科目	ボランティア実習 I	1後		1		2					
ボランティア実習 II		2後		2		1						
海外英語研修 I		1後		2		2	2	3				
海外英語研修 II		2後		2		2	2	3				
国際協力実習		2前		1								1
国際協力実習フォローアップ		2後		2								1
進路設計		1後	2									3
社会と教養演習A		2・3前		1								1
社会と教養演習B		2・3前		1								1
社会と教養演習C		2・3後		1								1
社会と教養演習D		2・3後		1								1
キャリアリテラシー		3前		2								1
就業への知識と技能A	2・3前		2		1							
就業への知識と技能B	2・3後		2		1							
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								3
	スポーツ II	1・2後		1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1			1		1				3
	言語表現演習 II	1後	1			1		1				3
技法知科目	英語A I	1前	1									15
	英語A II	1後	1									15
	英語A III	2前	1									23
	英語A IV	2後	1									23
	英語B I	1前	1					1				13
	英語B II	1後	1					1				13
	英語B III	2前	1					1				22
	英語B IV	2後	1					1				22

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
技 法 知 科 目	英会話 I	1前	1								3
	英会話 II	1後	1								3
	英会話 III	2前	1								1
	英会話 IV	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1					2			
	フランス語 I	1前	1								2
	フランス語 II	1後	1								2
	フランス語 III	2前	1								2
	フランス語 IV	2後	1								2
	ドイツ語 I	1前	1								2
	ドイツ語 II	1後	1								2
	ドイツ語 III	2前	1								2
	ドイツ語 IV	2後	1								2
	スペイン語 I	1前	1								2
	スペイン語 II	1後	1								2
	スペイン語 III	2前	1								2
スペイン語 IV	2後	1								2	
中国語 I	1前	1								2	
中国語 II	1後	1								2	
中国語 III	2前	1								2	
中国語 IV	2後	1								2	
情 報 力 育 成 科 目	コンピュータ演習 I	1前	1								6
	コンピュータ演習 II	1後	1								6
	コンピュータ演習 III	2前	1								1
	コンピュータ演習 IV	2後	1								1
特 設 科 目	日本語 A I	1前	1								1
	日本語 B I	1前	1								1
	日本語 A II	1後	1								1
	日本語 B II	1後	1								1
	日本語 A III	2前	1								1
	日本語 B III	2前	1								1
	日本語 A IV	2後	1								1
	日本語 B IV	2後	1								1
	日本事情 I	1前	2								1
	日本事情 II	1後	2								1
	日本事情 III	2前	2			1					
	日本事情 IV	2後	2			1					
人 間 総 合 学 類 日 本 文 化 専 攻 専 門 教 育 科 目	日本語表現 I	2前	2			2					
	日本語表現 II	2後	2			2					
	日本語表現の実践 I	3前	2			1					
	日本語表現の実践 II	3後	2			1					
	日本の文化と歴史 I	2前	2				2				
	日本の文化と歴史 II	2後	2				2				
	日本の文化と歴史 III	3前	2			1	1				
	日本の文化と歴史 IV	3後	2			1	1				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
技 法 知 科 目	英会話 I	1前	1								4
	英会話 II	1後	1								4
	英会話 III	2前	1								1
	英会話 IV	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1						2		
	フランス語 I	1前	1								2
	フランス語 II	1後	1								2
	フランス語 III	2前	1								2
	フランス語 IV	2後	1								2
	ドイツ語 I	1前	1								1
	ドイツ語 II	1後	1								1
	ドイツ語 III	2前	1								2
	ドイツ語 IV	2後	1								2
	スペイン語 I	1前	1								2
	スペイン語 II	1後	1								2
	スペイン語 III	2前	1								2
スペイン語 IV	2後	1								2	
中国語 I	1前	1								2	
中国語 II	1後	1								2	
中国語 III	2前	1								2	
中国語 IV	2後	1								2	
情 報 力 育 成 科 目	コンピュータ演習 I	1前	1								6
	コンピュータ演習 II	1後	1								6
	コンピュータ演習 III	2前	1								1
	コンピュータ演習 IV	2後	1								1
特 設 科 目	日本語 A I	1前	1								1
	日本語 B I	1前	1								1
	日本語 A II	1後	1								1
	日本語 B II	1後	1								1
	日本語 A III	2前	1								1
	日本語 B III	2前	1								1
	日本語 A IV	2後	1								1
	日本語 B IV	2後	1								1
	日本事情 I	1前	2								1
	日本事情 II	1後	2								1
	日本事情 III	2前	2					1			
	日本事情 IV	2後	2					1			
人 間 総 合 学 類 日 本 文 化 専 攻 専 門 教 育 科 目	日本語表現 I	2前	2			2					
	日本語表現 II	2後	2			2					
	日本語表現の実践 I	3前	2			1					
	日本語表現の実践 II	3後	2			1					
	日本の文化と歴史 I	2前	2				2		1	1	
	日本の文化と歴史 II	2後	2				2		1	1	
	日本の文化と歴史 III	3前	2			1	1		2		
	日本の文化と歴史 IV	3後	2			1	1		2		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間文化学類	古典文学概論	2前	2			1						
	近代文学概論	2前	2			1						
	日本語学概論 I	2前	2								1	
	日本語学概論 II	2後	2								1	
	古典文学 I (上代・中古)	2・3前	2			1						
	古典文学 II (中世・近世)	2・3後	2								1	
	近現代文学 I (近代)	2・3前	2			1						
	近現代文学 I (現代)	2・3後	2			1						
	日本語学 I	3前	2								1	
	日本語学 II	3後	2					1				
	日本文学史 I	2・3・4前	2			1						
	日本文学史 II	2・3・4後	2								1	
	中国文学 I (漢文学)	3前	2								1	
	中国文学 II (漢文学)	3後	2								1	
	日本史 I (古代)	2・3前	2								1	
	日本史 II (中世)	2・3後	2								1	
	日本史 III (近世)	2・3前	2								1	
	日本史 IV (近現代)	2・3後	2								1	
	日本文化史 I	2前	2								1	
	日本文化史 II	2後	2								1	
地域文化概論	2前	2								1		
歴史資料論	2・3前	2				1						
民俗資料論	2・3後	2				1				1		
歴史考古学	2・3前	2								1		
歴史地理学	2・3後	2								1		
仏教文学	3・4前	2			1							
児童文学	3・4前	2			1							
日本の詩歌	3・4後	2			1							
国語教育概論 I	2前	2								1		
国語教育概論 II	2後	2								1		
書道実習 I	3前	1								1		
書道実習 II	3後	1								1		
日本の文化財 I	2・3前	2								1		
日本の文化財 II	2・3後	2								1		
文化交流史 I	2・3前	2								1		
文化交流史 II	2・3後	2								1		
日本文化ゼミ I	3前	1			4							
日本文化ゼミ II	3後	1			4							
日本文化ゼミ III	4前	1			4							
日本文化ゼミ IV	4後	1			4							
卒業論文	4通	4			4							
人間文化学類	人間関係の基礎	2前	2			3	1	2				
人間文化学類	化粧の文化史	2・3前	2			1						
人間文化学類	コミュニケーションの心理学	2・3前	2					1				
人間文化学類	コミュニケーションの社会学	2・3前	2					1				
人間文化学類	現代社会の論点	2・3後	2			1						
人間文化学類	国際社会への誘い	2・3後	2			1						
人間文化学類	企画と表現	2・3前	2			1						
人間文化学類	哲学と思想	2・3前	2								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間文化学類	古典文学概論	2前	2			1						
	近代文学概論	2前	2			1						
	日本語学概論 I	2前	2								1	
	日本語学概論 II	2後	2								1	
	古典文学 I (上代・中古)	2・3前	2			1						
	古典文学 II (中世・近世)	2・3後	2								1	
	近現代文学 I (近代)	2・3前	2			1						
	近現代文学 I (現代)	2・3後	2			1						
	日本語学 I	3前	2								1	
	日本語学 II	3後	2						1			
	日本文学史 I	2・3・4前	2			1						
	日本文学史 II	2・3・4後	2								1	
	中国文学 I (漢文学)	3前	2								1	
	中国文学 II (漢文学)	3後	2								1	
	日本史 I (古代)	2・3前	2								1	
	日本史 II (中世)	2・3後	2								1	
	日本史 III (近世)	2・3前	2								1	
	日本史 IV (近現代)	2・3後	2								1	
	日本文化史 I	2前	2								1	
	日本文化史 II	2後	2								1	
地域文化概論	2前	2								1		
歴史資料論	2・3前	2				1						
民俗資料論	2・3後	2				1				1		
歴史考古学	2・3前	2								1		
歴史地理学	2・3後	2								1		
仏教文学	3・4前	2			1							
児童文学	3・4前	2			1							
日本の詩歌	3・4後	2			1							
国語教育概論 I	2前	2								1		
国語教育概論 II	2後	2								1		
書道実習 I	3前	1								1		
書道実習 II	3後	1								1		
日本の文化財 I	2・3前	2								1		
日本の文化財 II	2・3後	2								1		
文化交流史 I	2・3前	2								1		
文化交流史 II	2・3後	2								1		
日本文化ゼミ I	3前	1			4							
日本文化ゼミ II	3後	1			4							
日本文化ゼミ III	4前	1			4							
日本文化ゼミ IV	4後	1			4							
卒業論文	4通	4			4							
人間文化学類	人間関係の基礎	2前	2			3	2	1				
人間文化学類	化粧の文化史	2・3前	2			1						
人間文化学類	コミュニケーションの心理学	2・3前	2					1				
人間文化学類	コミュニケーションの社会学	2・3前	2					1				
人間文化学類	現代社会の論点	2・3後	2			1						
人間文化学類	国際社会への誘い	2・3後	2			1						
人間文化学類	企画と表現	2・3前	2			1						
人間文化学類	哲学と思想	2・3前	2								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 人間文化学類 英語コミュニケーション専攻 人間文化学類 主幹科目 専門教育科目 専門教育科目 実用科目	Academic Reading II	2・3後	2								1
	Academic Reading III	2・3前	2								1
	Academic Reading IV	2・3後	2								1
	Academic Speaking I	2・3前	2								2
	Academic Speaking II	2・3後	2								2
	Academic Speaking III	2・3前	2								1
	Academic Speaking IV	2・3後	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅰ	2・3前	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅱ	2・3後	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅲ	2・3後	2			1					
	グラマー・使える英文法Ⅰ	2・3前	2								1
	グラマー・使える英文法Ⅱ	2・3後	2								1
	グラマー・使える英文法Ⅲ	2・3前	2			1					
	Core Studies (Basic) I	2前	2			1					
	Core Studies (Basic) II	2後	2				1				
	Core Studies I	3前	2					2			
	Core Studies II	3後	2					2			
	Core Studies III	4前	2					2			
	Core Studies IV	4後	2					2			
	イギリス文学Ⅰ	2・3前	2				1				
	イギリス文学Ⅱ	2・3後	2				1				
	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2								1
	アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2								1
	英語学概論Ⅰ	2・3前	2								1
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2								1
	英語教育学概論Ⅰ	2・3前	2								1
	英語教育学概論Ⅱ	2・3後	2								1
	アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2								1
	アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2								1
	異文化理解Ⅰ	2・3前	2			1					
異文化理解Ⅱ	2・3後	2			1						
時事英語Ⅰ	2・3前	2								1	
時事英語Ⅱ	2・3後	2								1	
英語音声学Ⅰ	2・3前	2								1	
英語音声学Ⅱ	2・3後	2								1	
映画の英語Ⅰ	2・3前	2								1	
映画の英語Ⅱ	2・3後	2								1	
キャリア・イングリッシュⅠ	2前	2					1			1	
キャリア・イングリッシュⅡ	2後	2					1			1	
キャリア・イングリッシュⅢ	3前	2								1	
キャリア・イングリッシュⅣ	3後	2								1	
通訳・ガイドⅠ	2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅡ	2・3後	2								1	
通訳・ガイドⅢ	2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅣ	2・3後	2								1	
日本紹介の英語	2・3前	2					1				
ボランティア英語	2・3後	2					1			1	
Japan Studies I	2・3前	2					1				
Japan Studies II	2・3後	2					1			1	
海外留学準備	2前	1				1					
6か月留学	2後	22				1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 人間文化学類 英語コミュニケーション専攻 人間文化学類 主幹科目 専門教育科目 専門教育科目 実用科目	Academic Reading II	2・3後	2								1
	Academic Reading III	2・3前	2								1
	Academic Reading IV	2・3後	2								1
	Academic Speaking I	2・3前	2								2
	Academic Speaking II	2・3後	2								2
	Academic Speaking III	2・3前	2								1
	Academic Speaking IV	2・3後	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅰ	2・3前	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅱ	2・3後	2								1
	ライティング・使える英作文Ⅲ	2・3後	2				1				
	グラマー・使える英文法Ⅰ	2・3前	2								1
	グラマー・使える英文法Ⅱ	2・3後	2								1
	グラマー・使える英文法Ⅲ	2・3前	2				1				
	Core Studies (Basic) I	2前	2				1				
	Core Studies (Basic) II	2後	2					1			
	Core Studies I	3前	2						2		
	Core Studies II	3後	2						2		
	Core Studies III	4前	2						2		
	Core Studies IV	4後	2						2		
	イギリス文学Ⅰ	2・3前	2					1			
	イギリス文学Ⅱ	2・3後	2					1			
	アメリカ文学Ⅰ	2・3前	2								1
	アメリカ文学Ⅱ	2・3後	2								1
	英語学概論Ⅰ	2・3前	2								1
	英語学概論Ⅱ	2・3後	2								1
	英語教育学概論Ⅰ	2・3前	2								1
	英語教育学概論Ⅱ	2・3後	2								1
	アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2								1
	アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2								1
	異文化理解Ⅰ	2・3前	2						1		
異文化理解Ⅱ	2・3後	2						1			
時事英語Ⅰ	2・3前	2								1	
時事英語Ⅱ	2・3後	2								1	
英語音声学Ⅰ	2・3前	2								1	
英語音声学Ⅱ	2・3後	2								1	
映画の英語Ⅰ	2・3前	2								1	
映画の英語Ⅱ	2・3後	2								1	
キャリア・イングリッシュⅠ	2前	2							1	1	
キャリア・イングリッシュⅡ	2後	2							1	1	
キャリア・イングリッシュⅢ	3前	2								1	
キャリア・イングリッシュⅣ	3後	2								1	
通訳・ガイドⅠ	2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅡ	2・3後	2								1	
通訳・ガイドⅢ	2・3前	2								1	
通訳・ガイドⅣ	2・3後	2								1	
日本紹介の英語	2・3前	2							1		
ボランティア英語	2・3後	2							1	1	
Japan Studies I	2・3前	2							1		
Japan Studies II	2・3後	2							1	1	
海外留学準備	2前	1							1		
6か月留学	2後	22							1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群	英語コミュニケーションゼミⅠ	3前	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅡ	3後	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅢ	4前	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅣ	4後	1			1	2						
	卒業論文	4通		4		1	2						
人間文化学類	日本文化実習	3・4前		1		1							
	仏教文化実習	3・4後		1		1							
	日本文化研修	3・4前		1		1							
	身体文化実習Ⅰ	2・3前		1							1		
	身体文化実習Ⅱ	2・3後		1							1		
	プレゼンテーション実習Ⅰ	2・3前		1		1							
	プレゼンテーション実習Ⅱ	2・3後		1		1							
	チャレンジTOEIC	2・3前		1		1							
	ビジネスインターンシップ	3後		1		2	1						
教育職員養成課程科目	日本語学	2前		2								1	
	日本語学Ⅱ	2後		2								1	
	日本語学Ⅰ	3前		2								1	
	日本語学Ⅱ	3後		2				1					
	国文学	2前		2		1							
	近代文学概論	2前		2		1							
	古典文学Ⅰ(上代・中古)	2・3前		2		1							
	古典文学Ⅱ(中世・近世)	2・3後		2								1	
	日本文学史Ⅰ	2・3・4前		2		1							
	日本文学史Ⅱ	2・3・4後		2								1	
	近現代文学Ⅰ(近代)	2・3前		2		1							
	近現代文学Ⅱ(現代)	2・3後		2		1							
	漢文学	3前		2								1	
	中国文学Ⅱ(漢文学)	3後		2								1	
	書道	3前		1								1	
	書道実習Ⅱ	3後		1								1	
	教科に関する科目	英語学	2・3前		2								1
		英語学Ⅱ	2・3後		2								1
英語音声学Ⅰ		2・3前		2								1	
英語音声学Ⅱ		2・3後		2								1	
アメリカ文学Ⅰ		2・3前		2								1	
アメリカ文学Ⅱ		2・3後		2								1	
イギリス文学Ⅰ		2・3前		2			1						
イギリス文学Ⅱ		2・3後		2			1						
英語コミュニケーション		2・3前		2					1				
Japan StudiesⅠ		2・3前		2					1				
Japan StudiesⅡ		2・3後		2					1				
異文化理解Ⅰ		2・3前		2		1							
異文化理解Ⅱ	2・3後		2		1								
教育職員養成課程科目	日本語教育概論Ⅰ	2前		2								1	
	日本語教育概論Ⅱ	2後		2								1	
	児童文学	3・4前		2		1							
	日本の詩歌	3・4後		2		1							
	介護等の体験	3通			2							1	
	視聴覚教育メディア論	2・3後			2							1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間総合学群	英語コミュニケーションゼミⅠ	3前	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅡ	3後	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅢ	4前	1			1	2						
	英語コミュニケーションゼミⅣ	4後	1			1	2						
	卒業論文	4通		4		1	2						
人間文化学類	日本文化実習	3・4前		1		1							
	仏教文化実習	3・4後		1		1							
	日本文化研修	3・4前		1		1							
	身体文化実習Ⅰ	2・3前		1								1	
	身体文化実習Ⅱ	2・3後		1								1	
	プレゼンテーション実習Ⅰ	2・3前		1		1							
	プレゼンテーション実習Ⅱ	2・3後		1		1							
	チャレンジTOEIC	2・3前		1		1							
	ビジネスインターンシップ	3後		1		2	1						
教育職員養成課程科目	日本語学	2前		2								1	
	日本語学Ⅱ	2後		2								1	
	日本語学Ⅰ	3前		2								1	
	日本語学Ⅱ	3後		2					1				
	国文学	2前		2		1							
	近代文学概論	2前		2		1							
	古典文学Ⅰ(上代・中古)	2・3前		2		1							
	古典文学Ⅱ(中世・近世)	2・3後		2								1	
	日本文学史Ⅰ	2・3・4前		2		1							
	日本文学史Ⅱ	2・3・4後		2								1	
	近現代文学Ⅰ(近代)	2・3前		2		1							
	近現代文学Ⅱ(現代)	2・3後		2		1							
	漢文学	3前		2								1	
	中国文学Ⅱ(漢文学)	3後		2								1	
	書道	3前		1								1	
	書道実習Ⅱ	3後		1								1	
	教科に関する科目	英語学	2・3前		2								1
		英語学Ⅱ	2・3後		2								1
英語音声学Ⅰ		2・3前		2								1	
英語音声学Ⅱ		2・3後		2								1	
アメリカ文学Ⅰ		2・3前		2								1	
アメリカ文学Ⅱ		2・3後		2								1	
イギリス文学Ⅰ		2・3前		2			1						
イギリス文学Ⅱ		2・3後		2			1						
英語コミュニケーション		2・3前		2					1				
Japan StudiesⅠ		2・3前		2					1				
Japan StudiesⅡ		2・3後		2					1				
異文化理解Ⅰ		2・3前		2		1							
異文化理解Ⅱ	2・3後		2		1								
教育職員養成課程科目	日本語教育概論Ⅰ	2前		2								1	
	日本語教育概論Ⅱ	2後		2								1	
	児童文学	3・4前		2		1							
	日本の詩歌	3・4後		2		1							
	介護等の体験	3通			2							1	
	視聴覚教育メディア論	2・3後			2							1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	日本文化専攻(国語) 中一種・高一種免	ボランティア実習Ⅰ	1後	1		2								
		ボランティア実習Ⅱ	2後	2		1								
		生涯学習論Ⅰ	1前	2								1		
		生涯学習論Ⅱ	1後	2								1		
		道德教育の指導法	2・3前	2								1		
	英語コミュニケーション専攻 中一種・高一種免(英語)	英語教育学概論Ⅰ	2前	2									1	
		英語教育学概論Ⅱ	2後	2									1	
		英会話Ⅲ	2前	1									1	
		英会話Ⅳ	2後	1									1	
		アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2									1	
		アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2									1	
		介護等の体験	3通		2								1	
		視聴覚教育メディア論	2・3後		2								1	
		ボランティア実習Ⅰ	1後	1		2								
ボランティア実習Ⅱ		2後	2		1									
生涯学習論Ⅰ	1前	2									1			
生涯学習論Ⅱ	1後	2									1			
道德教育の指導法	2・3前	2									1			
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職入門	1後		2		1								
	教育原理	1・2前		2								1		
	発達心理学	2・3前		2								1		
	教育制度論	2後		2								1		
	教育課程論	2後		2								1		
	国語科教育法Ⅰ	3前		2								1		
	国語科教育法Ⅱ	3後		2								1		
	国語科教育法Ⅲ	3前		2								1		
	国語科教育法Ⅳ	3後		2								1		
	英語科教育法Ⅰ	3前		2	1									
	英語科教育法Ⅱ	3後		2	1									
	英語科教育法Ⅲ	3前		2	1									
	英語科教育法Ⅳ	3後		2	1									
	道德教育の指導法	2・3前		2										
特別活動の指導法	2・3前		2											
教育方法・技術	2・3前		2											
生徒指導等に関する科目及び進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2・3後		2										
	カウンセリング論	2・3後		2								1		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4後		2	3									
教育実習	教育実習指導	3後		1	1									
	教育実習Ⅰ(中学校)	4前		2	1									
	教育実習Ⅱ(高等学校)	4前		2	1									

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教育職員養成課程科目 教科又は教職に関する科目	日本文化専攻(国語) 中一種・高一種免	ボランティア実習Ⅰ	1後	1		2								
		ボランティア実習Ⅱ	2後	2		1								
		生涯学習論Ⅰ	1前	2								1		
		生涯学習論Ⅱ	1後	2								1		
		道德教育の指導法	2・3前	2								1		
	英語コミュニケーション専攻 中一種・高一種免(英語)	英語教育学概論Ⅰ	2前	2									1	
		英語教育学概論Ⅱ	2後	2									1	
		英会話Ⅲ	2前	1									1	
		英会話Ⅳ	2後	1									1	
		アメリカの文化と歴史Ⅰ	2・3前	2									1	
		アメリカの文化と歴史Ⅱ	2・3後	2									1	
		介護等の体験	3通		2								1	
		視聴覚教育メディア論	2・3後		2								1	
		ボランティア実習Ⅰ	1後	1		2								
ボランティア実習Ⅱ		2後	2		1									
生涯学習論Ⅰ	1前	2									1			
生涯学習論Ⅱ	1後	2									1			
道德教育の指導法	2・3前	2									1			
教育職員養成課程科目 教職に関する科目	教職入門	1後		2		1								
	教育原理	1・2前		2								1		
	発達心理学	2・3前		2								1		
	教育制度論	2後		2								1		
	教育課程論	2後		2								1		
	国語科教育法Ⅰ	3前		2								1		
	国語科教育法Ⅱ	3後		2								1		
	国語科教育法Ⅲ	3前		2								1		
	国語科教育法Ⅳ	3後		2								1		
	英語科教育法Ⅰ	3前		2	1									
	英語科教育法Ⅱ	3後		2	1									
	英語科教育法Ⅲ	3前		2	1									
	英語科教育法Ⅳ	3後		2	1									
	道德教育の指導法	2・3前		2										
特別活動の指導法	2・3前		2											
教育方法・技術	2・3前		2											
生徒指導等に関する科目及び進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導を含む)	2・3後		2										
	カウンセリング論	2・3後		2								1		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	4後		2	3									
教育実習	教育実習指導	3後		1	1									
	教育実習Ⅰ(中学校)	4前		2	1									
	教育実習Ⅱ(高等学校)	4前		2	1									

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法 I	1前	2			1							
	日本国憲法 II	1後	2			1							
	体育 I	1・2前	1									3	
	体育 II	1・2後	1									3	
	二外国語コミュニケーション	英会話 I	1前	1									3
	英会話 II	1後	1										3
情報機器の操作	コンピュータ演習 I	1前	1									6	
	コンピュータ演習 II	1後	1									6	
学校図書館司書教諭課程科目	講習規定に定める科目	学校経営と学校図書館	3・4前		2							1	
	学校図書館メディアの構成	3・4後		2								1	
	読書と豊かな人間性	3・4前		2								1	
	学習指導と学校図書館	3・4後		2								1	
	情報メディアの活用	3・4前		2								1	
省令必修科目	生涯学習論 I	1前	2									1	
	博物館概論	1後		2		1							
	博物館資料論	2前		2								1	
	博物館展示論	2後		2								1	
	博物館資料保存論	3前		2								1	
	博物館経営論	3後		2								1	
	博物館教育論	2・3前		2								1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2								1	
	博物館実習A(見学実習)	2通		1		2							
	博物館実習B(実務実習)	3通		1		2							
博物館実習C(館園実習)	4通		1		2								
博物館学芸員養成課程科目	基礎選択必修科目	日本美術史	1前	2								1	
	西洋文化史	1前	2									1	
	日本文化史 I	2前	2									1	
	日本文化史 II	2後	2									1	
	地域文化概論	2前	2									1	
	世界遺産研究	2前	2									1	
	世界のミュージアム	2・3前	2									3	
	日本のミュージアム	2・3後	2									1	
	西洋美術の旅 I	2・3前	2									1	
	西洋美術の旅 II	2・3後	2									1	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前	2									1	
	日本の文化財 II	2・3後	2									1	
	歴史資料論	2・3前	2			1							
	民俗資料論	2・3後	2			1				1			
	歴史考古学	2・3前	2									1	
	歴史地理学	2・3後	2									1	
	文化交流史 I	2・3前	2									1	
	文化交流史 II	2・3後	2									1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法 I	1前	2			1							
	日本国憲法 II	1後	2			1							
	体育 I	1・2前	1									3	
	体育 II	1・2後	1									3	
	二外国語コミュニケーション	英会話 I	1前	1									3
	英会話 II	1後	1										3
情報機器の操作	コンピュータ演習 I	1前	1									6	
	コンピュータ演習 II	1後	1									6	
学校図書館司書教諭課程科目	講習規定に定める科目	学校経営と学校図書館	3・4前		2							1	
	学校図書館メディアの構成	3・4後		2								1	
	読書と豊かな人間性	3・4前		2								1	
	学習指導と学校図書館	3・4後		2								1	
	情報メディアの活用	3・4前		2								1	
省令必修科目	生涯学習論 I	1前	2									1	
	博物館概論	1後		2		1							
	博物館資料論	2前		2								1	
	博物館展示論	2後		2								1	
	博物館資料保存論	3前		2								1	
	博物館経営論	3後		2								1	
	博物館教育論	2・3前		2								1	
	博物館情報・メディア論	2・3後		2								1	
	博物館実習A(見学実習)	2通		1		2		1	1				
	博物館実習B(実務実習)	3通		1		2		1	1				
博物館実習C(館園実習)	4通		1		2		1	1					
博物館学芸員養成課程科目	基礎選択必修科目	日本美術史	1前	2								1	
	西洋文化史	1前	2									1	
	日本文化史 I	2前	2									1	
	日本文化史 II	2後	2									1	
	地域文化概論	2前	2									1	
	世界遺産研究	2前	2									1	
	世界のミュージアム	2・3前	2									3	
	日本のミュージアム	2・3後	2									1	
	西洋美術の旅 I	2・3前	2									1	
	西洋美術の旅 II	2・3後	2									1	
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前	2									1	
	日本の文化財 II	2・3後	2									1	
	歴史資料論	2・3前	2			1							
	民俗資料論	2・3後	2			1			1				
	歴史考古学	2・3前	2									1	
	歴史地理学	2・3後	2									1	
	文化交流史 I	2・3前	2									1	
	文化交流史 II	2・3後	2									1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・昇格の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「5」、准教授「2」、講師「3」から、教授「5」、准教授「4」、講師「1」に、兼任講師体調不良の理由により、兼任・兼任教員を、「11」から「10」に変更。
- ・昇格の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「5」、准教授「2」、講師「3」から、教授「5」、准教授「4」、講師「1」に、兼任講師体調不良の理由により、兼任・兼任教員を、「11」から「10」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「駒沢女子大学入門」の専任教員等の配置を、教授「3」、准教授「1」、講師「1」から、教授「4」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本文化入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「2」から、教授「1」、准教授「1」、講師「1」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「2」、講師「3」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「2」、講師「3」から、教授「2」、准教授「2」、講師「3」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「言語表現演習Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「言語表現演習Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「23」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「22」から「13」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「22」から「13」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」(兼任1人分の担当コマ数増)に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅰ」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅱ」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅲ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本の文化と歴史Ⅳ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」から、教授「2」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本語学Ⅱ」(科目区分「人間文化学類日本文化専攻専門教育科目」主幹科目)の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「歴史資料論」(科目区分「人間文化学類日本文化専攻専門教育科目」主幹科目)の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係の基礎」の専任教員等の配置を、教授「3」、准教授「1」、講師「2」から、教授「3」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「コミュニケーションの社会学」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「文化社会学Ⅰ」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「文化社会学Ⅱ」の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「現代社会総合講座Ⅰ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「現代社会総合講座Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅢ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「人間関係ゼミⅣ」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「卒業論文」の専任教員等の配置を、教授「4」、准教授「1」、講師「2」から、教授「4」、准教授「2」、講師「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「日本語学Ⅱ」(科目区分「教育職員養成課程科目」国語学)の専任教員等の配置を、講師「1」から、准教授「1」に変更。
- ・課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習A(見学実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習B(実務実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「博物館実習A(館園実習)」の専任教員等の配置を、准教授「2」から、教授「1」、准教授「1」に変更。
- ・昇格の理由により、「歴史資料論」(科目区分「博物館学芸員養成課程科目」専攻選択必修科目)の専任教員等の配置を、准教授「1」から、教授「1」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
62 科目	320 科目	41 科目	423 科目	62 科目 [0]	320 科目 [0]	41 科目 [0]	423 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{423} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用		
	校舎敷地	0 m ²	140,991.11 m ²	10,639.73 m ²	151,630.84 m ²			
	運動場用地	0 m ²	12,574.38 m ²	0 m ²	12,574.38 m ²			
	小 計	0 m ²	153,565.49 m ²	10,639.73 m ²	164,205.22 m ²			
	そ の 他	0 m ²	36,595.26 m ²	0 m ²	36,595.26 m ²			
合 計	0 m ²	190,160.75 m ²	10,639.73 m ²	200,800.48 m ²				
(2) 校 舎	専 用	7,584.21 m ²	23,803.58 m ²	15,549.03 m ²	46,936.82 m ²	校舎の一部は、駒沢女子短期大学と共用		
	(7,584.21 m ²)	(23,803.58 m ²)	(15,549.03 m ²)	(46,936.82 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	45 室	演 習 室	20 室	実験実習室	37 室	教室等の一部は、駒沢女子短期大学と共用	
	情報処理学習施設	3 室 (補助職員 2人)	語学学習施設	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学群			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30)
	人間総合学群	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
	計	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	4,489 m ²		325席		237,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,726 m ²		テニスコート 3面		屋外プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円	
	共 同 研 究 費 等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円	
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
	1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
日本文化学科	4	—	3年次10	—	学士 (日本文化)	—	平成5年度	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
国際文化学科	4	—	3年次20	—	学士 (国際文化)	—	平成5年度	同上	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成25年度	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群									
人間文化学類	4	170	3年次20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニケーション)	1.16	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、平成32年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次10	260	学士 (観光文化)	1.15	平成30年度	同上	編入は、平成32年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.42	平成30年度	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.28	平成30年度	同上	
人間健康学部									
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.07	平成21年度	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.12	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	
人文科学研究科									
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成14年度	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.44	平成15年度	同上	

大学の名称	駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科	年 2	人 130	年次 人 —	人 260	短期大学士 (保育)	倍 0.91	昭和40年度	東京都稲城市坂浜238番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1)一① 担当教員表

<人間総合学群 人間文化学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月>	専	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ			駒沢女子大学入門 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ
専	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月>	専	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 古典文学概論 古典文学Ⅰ(上代・中古) 日本文学史Ⅰ 日本の詩歌 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)			日本文化入門Ⅱ 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 古典文学概論 古典文学Ⅰ(上代・中古) 日本文学史Ⅰ 日本の詩歌 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)
専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月>	専	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ 情報技術と人間関係 映像広告の研究 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ プレゼンテーション実習Ⅱ			基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ 情報技術と人間関係 映像広告の研究 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ プレゼンテーション実習Ⅰ プレゼンテーション実習Ⅱ
専	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>	専	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ チャレンジTOEIC			英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ 異文化理解Ⅰ 異文化理解Ⅱ チャレンジTOEIC

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		人間関係入門Ⅱ
		戦争と平和の歴史Ⅰ
		戦争と平和の歴史Ⅱ
		ボランティア実習Ⅰ
		ボランティア実習Ⅱ
		人間関係の基礎
		国際社会への誘い
		現代国際社会
		現代社会総合講座Ⅰ
		現代社会総合講座Ⅱ
		人間関係ゼミⅠ
人間関係ゼミⅡ		
人間関係ゼミⅢ		
人間関係ゼミⅣ		
卒業論文		
専	教授	洪谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
		日本語表現Ⅰ
		日本語表現Ⅱ
		日本語表現の実践Ⅰ
		日本語表現の実践Ⅱ
		日本の文化と歴史Ⅲ
		日本の文化と歴史Ⅳ
専	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ
		仏教学Ⅱ
		駒沢女子大学入門
		日本の文化
		仏教文学
		仏教文化実習
		日本文化ゼミⅠ
		日本文化ゼミⅡ
		日本文化ゼミⅢ
		日本文化ゼミⅣ
卒業論文		
専	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		日本の政治
		世界の政治
		政治と市民参加
		日本事情Ⅲ
		日本事情Ⅳ
		日本文化研修
		ビジネスインターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		人間関係入門Ⅱ
		戦争と平和の歴史Ⅰ
		戦争と平和の歴史Ⅱ
		ボランティア実習Ⅰ
		ボランティア実習Ⅱ
		人間関係の基礎
		国際社会への誘い
		現代国際社会
		現代社会総合講座Ⅰ
		現代社会総合講座Ⅱ
		人間関係ゼミⅠ
人間関係ゼミⅡ		
人間関係ゼミⅢ		
人間関係ゼミⅣ		
卒業論文		
専	教授	洪谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
		日本語表現Ⅰ
		日本語表現Ⅱ
		日本語表現の実践Ⅰ
		日本語表現の実践Ⅱ
		日本の文化と歴史Ⅲ
		日本の文化と歴史Ⅳ
専	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ
		仏教学Ⅱ
		駒沢女子大学入門
		日本の文化
		仏教文学
		仏教文化実習
		日本文化ゼミⅠ
		日本文化ゼミⅡ
		日本文化ゼミⅢ
		日本文化ゼミⅣ
卒業論文		
専	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		日本の政治
		世界の政治
		政治と市民参加
		日本事情Ⅲ
		日本事情Ⅳ
		日本文化研修
		ビジネスインターンシップ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>				
		担当授業科目名				
専	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月>				
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ				
		英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ				
		卒業論文 教職入門 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教職実践演習(中・高) 教育実習指導 教育実習Ⅰ(中学校) 教育実習Ⅱ(高等学校)				
		専	教授	松村 良 (55) <平成30年4月>		
				日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 近代文学概論 近現代文学Ⅰ(近代) 近現代文学Ⅱ(現代) 児童文学 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)		
				専	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
						人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B 人間関係の基礎 企画と表現 表現活動とビジネス 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>				
		担当授業科目名				
専	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月>				
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ				
		英語コミュニケーションゼミⅠ 英語コミュニケーションゼミⅡ 英語コミュニケーションゼミⅢ 英語コミュニケーションゼミⅣ				
		卒業論文 教職入門 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ 教職実践演習(中・高) 教育実習指導 教育実習Ⅰ(中学校) 教育実習Ⅱ(高等学校)				
		専	教授	松村 良 (55) <平成30年4月>		
				日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 近代文学概論 近現代文学Ⅰ(近代) 近現代文学Ⅱ(現代) 児童文学 日本文化ゼミⅠ 日本文化ゼミⅡ 日本文化ゼミⅢ 日本文化ゼミⅣ 卒業論文 教職実践演習(中・高)		
				専	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
						人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B 人間関係の基礎 企画と表現 表現活動とビジネス 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ ビジネスインターンシップ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		仏教学 I
		仏教学 II
		駒沢女子大学入門
		日本文化実習
		日本文化ゼミ I
		日本文化ゼミ II
		卒業論文
専	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門 II
		人間関係の基礎
		化粧の文化史
		化粧文化論
		和装の文化 I
		和装の文化 II
		現代社会総合講座 I
		現代社会総合講座 II
		卒業論文
専	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		人権の基礎
		女性の人権
		法学
		法と社会
		日本国憲法 I
		日本国憲法 II
		専
基礎ゼミ I		
基礎ゼミ II		
英語コミュニケーション入門 I		
英語コミュニケーション入門 II		
海外英語研修 I		
海外英語研修 II		
English Workshop I		
English Workshop II		
ライティング・使える英作文Ⅲ		
ライティング・使える英文法Ⅲ		
英語コミュニケーションゼミ I		
英語コミュニケーションゼミ II		
英語コミュニケーションゼミ III		
英語コミュニケーションゼミ IV		
卒業論文		

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		仏教学 I
		仏教学 II
		駒沢女子大学入門
		日本文化実習
		日本文化ゼミ I
		日本文化ゼミ II
		卒業論文
専	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門 II
		人間関係の基礎
		化粧の文化史
		化粧文化論
		和装の文化 I
		和装の文化 II
		現代社会総合講座 I
		現代社会総合講座 II
		卒業論文
専	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		人権の基礎
		女性の人権
		法学
		法と社会
		日本国憲法 I
		日本国憲法 II
		専
基礎ゼミ I		
基礎ゼミ II		
英語コミュニケーション入門 I		
英語コミュニケーション入門 II		
海外英語研修 I		
海外英語研修 II		
English Workshop I		
English Workshop II		
ライティング・使える英作文Ⅲ		
ライティング・使える英文法Ⅲ		
英語コミュニケーションゼミ I		
英語コミュニケーションゼミ II		
英語コミュニケーションゼミ III		
英語コミュニケーションゼミ IV		
卒業論文		

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		
専	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月>		
		基礎ゼミ I		
		基礎ゼミ II		
		人間関係入門 II		
		人間関係の基礎		
		現代社会の論点		
		流行論		
		職業の世界		
		現代社会総合講座 I		
		現代社会総合講座 II		
		ビジネスインターンシップ		
		人間関係ゼミ I		
		人間関係ゼミ II		
人間関係ゼミ III				
人間関係ゼミ IV				
卒業論文				
専	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>		
		駒沢女子大学入門		
		日本文化入門 I		
		日本の文化と歴史 I		
		日本の文化と歴史 II		
		日本の文化と歴史 III		
		日本の文化と歴史 IV		
		歴史資料論		
		博物館実習 A		
		博物館実習 B		
		博物館実習 C		
		専	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
				日本文化入門 II
日本の文化と歴史 I				
日本の文化と歴史 II				
民俗資料論				
博物館概論				
博物館実習 A				
博物館実習 B				
博物館実習 C				
専	准教授			松山 響子 (40) <平成30年4月>
				英語B III
				英語B IV
				英語コミュニケーション入門 I
		英語コミュニケーション入門 II		
		海外英語研修 I		
		海外英語研修 II		
		English Workshop I		
		English Workshop II		
		海外留学準備		
		6か月留学		
		Core Studies(Basic) I		
		イギリス文学 I		
		イギリス文学 II		
		英語コミュニケーションゼミ I		
		英語コミュニケーションゼミ II		
		英語コミュニケーションゼミ III		
		英語コミュニケーションゼミ IV		
		卒業論文		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		
専	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月>		
		基礎ゼミ I		
		基礎ゼミ II		
		人間関係入門 II		
		人間関係の基礎		
		現代社会の論点		
		流行論		
		職業の世界		
		現代社会総合講座 I		
		現代社会総合講座 II		
		ビジネスインターンシップ		
		人間関係ゼミ I		
		人間関係ゼミ II		
人間関係ゼミ III				
人間関係ゼミ IV				
卒業論文				
専	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>		
		駒沢女子大学入門		
		日本文化入門 I		
		日本の文化と歴史 I		
		日本の文化と歴史 II		
		日本の文化と歴史 III		
		日本の文化と歴史 IV		
		歴史資料論		
		博物館実習 A		
		博物館実習 B		
		博物館実習 C		
		専	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
				日本文化入門 II
日本の文化と歴史 I				
日本の文化と歴史 II				
民俗資料論				
博物館概論				
博物館実習 A				
博物館実習 B				
博物館実習 C				
専	准教授			松山 響子 (40) <平成30年4月>
				英語B III
				英語B IV
				英語コミュニケーション入門 I
		英語コミュニケーション入門 II		
		海外英語研修 I		
		海外英語研修 II		
		English Workshop I		
		English Workshop II		
		海外留学準備		
		6か月留学		
		Core Studies(Basic) I		
		イギリス文学 I		
		イギリス文学 II		
		英語コミュニケーションゼミ I		
		英語コミュニケーションゼミ II		
		英語コミュニケーションゼミ III		
		英語コミュニケーションゼミ IV		
		卒業論文		

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの社会学 文化社会学Ⅰ 文化社会学Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 日本紹介の英語 ボランティア英語 Japan StudiesⅠ Japan StudiesⅡ Core Studies(Basic)Ⅱ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	講師	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 日本語学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ English WorkshopⅢ English WorkshopⅣ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ 人間関係の基礎 コミュニケーションの社会学 文化社会学Ⅰ 文化社会学Ⅱ 現代社会総合講座Ⅰ 現代社会総合講座Ⅱ 人間関係ゼミⅠ 人間関係ゼミⅡ 人間関係ゼミⅢ 人間関係ゼミⅣ 卒業論文
専	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar English WorkshopⅠ English WorkshopⅡ 日本紹介の英語 ボランティア英語 Japan StudiesⅠ Japan StudiesⅡ Core Studies(Basic)Ⅱ Core StudiesⅠ Core StudiesⅡ Core StudiesⅢ Core StudiesⅣ
専	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 日本語学Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 海外英語研修 I 海外英語研修 II 英語B I 英語B II English Workshop I English Workshop II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II
専	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門 I 人間関係の基礎 コミュニケーションの心理学 恋愛の心理学 家族関係の心理学 現代社会総合講座 I 現代社会総合講座 II 人間関係ゼミ I 人間関係ゼミ II 人間関係ゼミ III 人間関係ゼミ IV 卒業論文
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史 I アメリカの文化と歴史 II 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV 世界のミュージアム
兼任	教授	糟谷 恵次 (64) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II 視聴覚教育メディア論 情報メディアの活用

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 海外英語研修 I 海外英語研修 II 英語B I 英語B II English Workshop I English Workshop II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II
専	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門 I 人間関係の基礎 コミュニケーションの心理学 恋愛の心理学 家族関係の心理学 現代社会総合講座 I 現代社会総合講座 II 人間関係ゼミ I 人間関係ゼミ II 人間関係ゼミ III 人間関係ゼミ IV 卒業論文
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史 I アメリカの文化と歴史 II 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV 世界のミュージアム
兼任	教授	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語 III ドイツ語 IV 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II 視聴覚教育メディア論 情報メディアの活用

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月>
		心理学入門 II
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	教授	佐藤 勉 (51) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II コンピュータ演習 III コンピュータ演習 IV
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月>
		心理学入門 II
兼任	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月>
		心理学入門 II
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II コンピュータ演習 III コンピュータ演習 IV
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ 発達心理学
兼任	准教授	田辺 解 (42) <平成30年4月>
		介護等の体験
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ カウンセリング論
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ 発達心理学
兼任	准教授	田辺 解 (42) <平成30年4月>
		介護等の体験
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 教育相談
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学 哲学と思想
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 自己分析の心理学 ビジネスと心理学
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道 報道とメディア

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学 哲学と思想
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 自己分析の心理学 ビジネスと心理学
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (37) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道 報道とメディア

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアアテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康Ⅰ 女性と健康Ⅱ
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアアテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康Ⅰ 女性と健康Ⅱ
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (59) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV		
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		大石 瑤子 (33) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (60) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV		
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		大石 瑤子 (33) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	川上 真巴子 (59) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 映画の英語 I 映画の英語 II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月> 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		Moreau Robert (48) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	川上 真巴子 (59) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		小泉 勇人 (34) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除 映画の英語 I 映画の英語 II
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		佐々木 千恵 (50) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 英語A I 英語A II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV 時事英語 I 時事英語 II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II キャリア・イングリッシュ III キャリア・イングリッシュ IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV 時事英語 I 時事英語 II キャリア・イングリッシュ I キャリア・イングリッシュ II キャリア・イングリッシュ III キャリア・イングリッシュ IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV ライティング・使える英作文 I ライティング・使える英作文 II
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV ライティング・使える英作文 I ライティング・使える英作文 II
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II Academic Reading I Academic Reading II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II Academic Speaking I Academic Speaking II
兼任	講師	
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月>
		中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月>
		中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 文化人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	柏野 和佳子 (50) <平成31年4月> 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ
兼任	講師	浅川 哲也 (55) <平成32年4月> 日本語学Ⅰ
兼任	講師	野中 哲照 (58) <平成31年9月> 古典文学Ⅱ(中世・近世) 日本文学史Ⅱ
兼任	講師	長谷川 清貴 (49) <平成32年4月> 中国文学Ⅰ(漢文学) 中国文学Ⅱ(漢文学)
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月> 日本史Ⅰ(古代) 文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月> 日本史Ⅱ(中世) 歴史考古学
兼任	講師	鍋本 由徳 (50) <平成31年4月> 日本史Ⅲ(近世) 日本史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	萩原 茂 (63) <平成31年4月> 国語教育概論Ⅰ 国語教育概論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 文化人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	柏野 和佳子 (49) <平成31年4月> 日本語学概論Ⅰ 日本語学概論Ⅱ
兼任	講師	浅川 哲也 (53) <平成32年4月> 日本語学Ⅰ
兼任	講師	野中 哲照 (57) <平成31年9月> 古典文学Ⅱ(中世・近世) 日本文学史Ⅱ
兼任	講師	長谷川 清貴 (47) <平成32年4月> 中国文学Ⅰ(漢文学) 中国文学Ⅱ(漢文学)
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月> 日本史Ⅰ(古代) 文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (49) <平成31年4月> 日本史Ⅱ(中世) 歴史考古学
兼任	講師	鍋本 由徳 (49) <平成31年4月> 日本史Ⅲ(近世) 日本史Ⅳ(近現代)
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	萩原 茂 (62) <平成31年4月> 国語教育概論Ⅰ 国語教育概論Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	遠藤 昌弘 (60) <平成32年4月>
		書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月>
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	佐々木 正洋 (64) <平成31年4月>
		身体文化論Ⅰ 身体文化論Ⅱ
兼任	講師	石上 美紀 (55) <平成31年4月>
		服装の美意識Ⅰ 服装の美意識Ⅱ
兼任	講師	渡邊 正人 (63) <平成32年4月>
		セルフプロデュース ビューティービジネス
兼任	講師	郷田 ほづみ (合田 穂積) (61) <平成31年4月>
		自己表現法Ⅰ 自己表現法Ⅱ コミュニケーション実習Ⅰ コミュニケーション実習Ⅱ
		関根 田欣子 (65) <平成31年9月>
		家族と現代社会
兼任	講師	金子 祥之 (34) <平成31年9月>
		環境問題と市民
兼任	講師	長野 慎一 (41) <平成31年4月>
		社会学特論
兼任	講師	黒田 壽祐 (64) <平成31年4月>
		チームビルディング 組織マネジメント
兼任	講師	足立 真理 (54) <平成32年4月>
		経済とビジネスⅠ 経済とビジネスⅡ
兼任	講師	笠原 良太 (28) <平成31年4月>
		アンケート調査法
兼任	講師	高橋 かおり (33) <平成31年9月>
		フィールドワークの技法
兼任	講師	竹村 智子 (54) <平成31年4月>
		人間関係学実習Ⅰ 人間関係学実習Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	遠藤 昌弘 (58) <平成32年4月>
		書道実習Ⅰ 書道実習Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月>
		日本の文化財Ⅰ 日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	佐々木 正洋 (63) <平成31年4月>
		身体文化論Ⅰ 身体文化論Ⅱ
兼任	講師	石上 美紀 (54) <平成31年4月>
		服装の美意識Ⅰ 服装の美意識Ⅱ
兼任	講師	渡邊 正人 (61) <平成32年4月>
		セルフプロデュース ビューティービジネス
兼任	講師	郷田 ほづみ (合田 穂積) (60) <平成31年4月>
		自己表現法Ⅰ 自己表現法Ⅱ コミュニケーション実習Ⅰ コミュニケーション実習Ⅱ
		関根 田欣子 (64) <平成31年9月>
		家族と現代社会
兼任	講師	金子 祥之 (33) <平成31年9月>
		環境問題と市民
兼任	講師	長野 慎一 (40) <平成31年4月>
		社会学特論
兼任	講師	黒田 壽祐 (63) <平成31年4月>
		チームビルディング 組織マネジメント
兼任	講師	足立 真理 (52) <平成32年4月>
		経済とビジネスⅠ 経済とビジネスⅡ
兼任	講師	笠原 良太 (27) <平成31年4月>
		アンケート調査法
兼任	講師	高橋 かおり (32) <平成31年9月>
		フィールドワークの技法
兼任	講師	竹村 智子 (53) <平成31年4月>
		人間関係学実習Ⅰ 人間関係学実習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Rod Caldwell (33) <平成31年4月>
		Academic Reading III Academic Reading IV Academic Speaking III Academic Speaking IV
兼任	講師	神谷 昇 (44) <平成31年4月>
		グラマー-使える英文法 I グラマー-使える英文法 II 英語学概論 I 英語学概論 II 英語音声学 I 英語音声学 II
兼任	講師	大野 真 (58) <平成31年4月>
		アメリカ文学 I アメリカ文学 II
兼任	講師	工藤 洋路 (42) <平成31年4月>
		英語教育学概論 I 英語教育学概論 II
兼任	講師	クレイ・サイモン (53) <平成31年4月>
		通訳・ガイド I 通訳・ガイド II 通訳・ガイド III 通訳・ガイド IV
兼任	講師	別所 るみ子 (58) <平成31年4月>
		身体文化実習 I
兼任	講師	藤間 勤孝女 (近藤 節子) (65) <平成31年4月>
		身体文化実習 II
兼任	講師	田中 正浩 (56) <平成30年4月>
		教育原理 教育制度論 教育課程論 道徳教育の指導法 生徒指導論(進路指導を含む)
兼任	講師	野中 潤 (58) <平成32年4月>
		国語科教育法 I 国語科教育法 II 国語科教育法 III 国語科教育法 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Rod Caldwell (32) <平成31年4月>
		英会話 I 英会話 II Academic Reading III Academic Reading IV Academic Speaking III Academic Speaking IV
兼任	講師	神谷 昇 (43) <平成31年4月>
		グラマー-使える英文法 I グラマー-使える英文法 II 英語学概論 I 英語学概論 II 英語音声学 I 英語音声学 II
兼任	講師	大野 真 (57) <平成31年4月>
		アメリカ文学 I アメリカ文学 II
兼任	講師	工藤 洋路 (41) <平成31年4月>
		英語教育学概論 I 英語教育学概論 II
兼任	講師	クレイ・サイモン (52) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II 通訳・ガイド I 通訳・ガイド II 通訳・ガイド III 通訳・ガイド IV
兼任	講師	別所 るみ子 (57) <平成31年4月>
		身体文化実習 I
兼任	講師	藤間 勤孝女 (近藤 節子) (64) <平成31年4月>
		身体文化実習 II
兼任	講師	田中 正浩 (56) <平成30年4月>
		教育原理 教育制度論 教育課程論 科目削除 生徒指導論(進路指導を含む)
兼任	講師	田中 奈津子 (35) <平成31年4月>
		道徳教育の指導法
兼任	講師	野中 潤 (56) <平成32年4月>
		国語科教育法 I 国語科教育法 II 国語科教育法 III 国語科教育法 IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 浩雄 (44) <平成31年4月>
		特別活動の指導法 教育方法・技術
兼任	講師	松本 美智子 (63) <平成32年4月>
		学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月>
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月>
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <平成31年9月>
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月>
		西洋美術の旅 I
兼任	講師	桑 和沙 (36) <平成31年9月>
		西洋美術の旅 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	八木 浩雄 (43) <平成31年4月>
		科目削除 教育方法・技術
兼任	講師	梅澤 秀監 (63) <平成31年4月>
		道徳教育の指導法
兼任	講師	松本 美智子 (61) <平成32年4月>
		学校経営と学校図書館 読書と豊かな人間性 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館
兼任	講師	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月>
		博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	山口 和美 (62) <平成31年4月>
		博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	鈴木 伸子 (38) <平成31年9月>
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月>
		西洋美術の旅 I
兼任	講師	桑 和沙 (35) <平成31年9月>
		西洋美術の旅 II

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 人間文化学類>

【平成30年度】

- ・中野教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・大貫講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川講師、講師から准教授へ昇格。
- ・糟谷兼担教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・須藤兼担教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼担教授、松岡兼担教授に担当者変更。
- ・鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・綾城兼担講師、課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木専任教授、「仏教学Ⅱ」を千葉専任教授に担当者変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・田中兼任講師、課程認定委員会指摘の理由により、「道德教育の指導法」を削除、田中兼任講師に担当者変更。
- ・八木兼任講師、課程認定委員会指摘の理由により、「特別活動の指導法」を削除、梅澤兼任講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
14	5	6	0	25	15	6	4	0	25	15	6	4	0	25
(15)	(6)	(4)	(0)	(25)						[+1]	[+1]	[Δ 2]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 （平成17年以前の 就任者は70歳）	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
合計			後任補充状況の集計											
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

＜人間総合学群 人間文化学類＞

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし 留意事項	該当なし 未履行	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学群 人間文化学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」、参照）

本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。

1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼
2. 学内公開授業の運営
3. ファカルティ・ディベロップメントの実施
4. 教育研究業績記録の作成

本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。
2. 平成29年度の開催状況を以下に記す。
 - ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
 - ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
 - ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内、等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回、実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD活動分科会を展開させている。現在は、歴史関連科目FD分科会、第二外国語FD分科会等、15の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45
（参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19）

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42
（参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5）

2. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」
参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

3. 教育研究業績記録の作成

人文学部、人間健康学部、専任教員、平成29年度末までに全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度はまた、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を全専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学生確保

人間総合学群の設置届出が受理されてから、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを周知させるように努めた。

本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

2. 新入生オリエンテーション(学群制の周知)

新入生に対して、4月2日から5日の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類教育の目的と特色、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書(駒沢女子大学教科書シリーズ)を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。本年度は、予定より1クラス少ない、20クラスを設けた。ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次に降に所属する学類を再確認する(前年度の12月頃を予定)。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」は、就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。この科目は、建学の精神を学ぶ科目として位置づけられている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・ 「自己点検評価報告書」を平成32年5月1日に公表予定

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開(平成32年5月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成31年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30 年 8 月 1 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

7 その他全般的事項 別添資料1

駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」(以下「委員会」という。)に関する事項について定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

(担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

(事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

- 2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

(定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

(意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

- 2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(カトウ ナツコ) 加藤 ナツ子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間総合学群 観光文化学類 学士(観光文化)	文学関係	4年	60人	10人 年次人	260人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [若干名]	-	-	-	-	-	-	-	1.15倍	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して收容する。
志願者数	184 (-) [2]	- (-) [-]								
受験者数	180 (-) [2]	- (-) [-]								
合格者数	156 (-) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	69 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.15									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	69 [2] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者のうち、人間総合学群一括入試による入学者については、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。						
2年次	/		- [-] (-)						
3年次	/		/		- [-] (-)				
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	69 [2] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	69人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	69人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間総合学群 観光文化学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1				18
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1				18
	仏教学Ⅰ	1前	2								4
	仏教学Ⅱ	1後	2								4
	仏教学Ⅲ	2前		2							1
	仏教学Ⅳ	2後		3							1
	駒沢女子大学入門	1前		4							6
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
	日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
	人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
	人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							6
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2							6
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							1
住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2							3	
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2						3	
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2							1
	女性の人権	1後		2							1
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
生涯学習論Ⅰ	1前		2							1	
	生涯学習論Ⅱ	1後		2						1	
社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2						1	
教養知科目	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	比較文化	1後		2							1
	日本の文化	1後		2							1
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2							1
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1				17
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1				17
	仏教学Ⅰ	1前	2								3
	仏教学Ⅱ	1後	2								3
	仏教学Ⅲ	2前		2							1
	仏教学Ⅳ	2後		3							1
	駒沢女子大学入門	1前		4							1
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
	日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
	人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
	人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							7
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2							7
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							2
住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2							3	
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2						3	
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2							1
	女性の人権	1後		2							1
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
生涯学習論Ⅰ	1前		2							1	
	生涯学習論Ⅱ	1後		2						1	
社会福祉概論Ⅰ	1前		2							1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2						1	
教養知科目	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	比較文化	1後		2							1
	日本の文化	1後		2							1
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2							1
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前		2								1
	世界の政治	1後		2								1
	政治と市民参加	1後		2								1
	日本の経済	1前		2								1
	世界の経済	1前		2								1
	新聞と報道	1後		2								1
	グローバル共生論	1後		2			1					
	社会学	1前		2								1
	法と社会	1後		2								1
	日本国憲法 I	1前		2								1
	日本国憲法 II	1後		2								1
	社会学 I	1前		2								1
	社会学 II	1後		2								1
	数学の世界	1前		2								1
	物理の世界	1後		2								1
	生物と生命	1前		2								1
	地球と宇宙	1後		2								1
	物質と化学	1前		2								1
	情報と科学	1後		2								1
	色彩と科学	1前		2								1
教養教育科目	ボランティア実習 I	1後		1								2
	ボランティア実習 II	2後		2								1
	海外英語研修 I	1後		2								7
	海外英語研修 II	2後		2								7
	国際協力実習	2前		1			1					
	国際協力実習フォローアップ	2後		2			1					
	進路設計	1後	2									3
	社会と教養演習A	2・3前		1								1
	社会と教養演習B	2・3前		1								1
	社会と教養演習C	2・3後		1								1
	社会と教養演習D	2・3後		1								1
	キャリアリテラシー	3前		2								1
	就業への知識と技能A	2・3前		2								1
	就業への知識と技能B	2・3後		2								1
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								3
	スポーツ II	1・2後		1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1								5
	言語表現演習 II	1後		1								5
技法知科目	英語A I	1前		1								25
	英語A II	1後		1								25
	英語A III	2前		1								25
	英語A IV	2後		1								25
	英語B I	1前		1								25
	英語B II	1後		1								25
	英語B III	2前		1								25
	英語B IV	2後		1								25
	英会話 I	1前		1								3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養知科目	日本の政治	1前		2								1
	世界の政治	1後		2								1
	政治と市民参加	1後		2								1
	日本の経済	1前		2								1
	世界の経済	1前		2								1
	新聞と報道	1後		2								1
	グローバル共生論	1後		2			1					
	社会学	1前		2								1
	法と社会	1後		2								1
	日本国憲法 I	1前		2								1
	日本国憲法 II	1後		2								1
	社会学 I	1前		2								1
	社会学 II	1後		2								1
	数学の世界	1前		2								1
	物理の世界	1後		2								1
	生物と生命	1前		2								1
	地球と宇宙	1後		2								1
	物質と化学	1前		2								1
	情報と科学	1後		2								1
	色彩と科学	1前		2								1
教養教育科目	ボランティア実習 I	1後		1								2
	ボランティア実習 II	2後		2								1
	海外英語研修 I	1後		2								7
	海外英語研修 II	2後		2								7
	国際協力実習	2前		1			1					
	国際協力実習フォローアップ	2後		2			1					
	進路設計	1後	2									3
	社会と教養演習A	2・3前		1								1
	社会と教養演習B	2・3前		1								1
	社会と教養演習C	2・3後		1								1
	社会と教養演習D	2・3後		1								1
	キャリアリテラシー	3前		2								1
	就業への知識と技能A	2・3前		2								1
	就業への知識と技能B	2・3後		2								1
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2								1
	女性と健康 II	1後		2								1
	スポーツ I	1・2前		1								3
	スポーツ II	1・2後		1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1								5
	言語表現演習 II	1後		1								5
技法知科目	英語A I	1前		1								15
	英語A II	1後		1								15
	英語A III	2前		1								25
	英語A IV	2後		1								25
	英語B I	1前		1								14
	英語B II	1後		1								14
	英語B III	2前		1								25
	英語B IV	2後		1								25
	英会話 I	1前		1								4

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
技法知科目	英会話Ⅱ	1後	1								3
	英会話Ⅲ	2前	1								1
	英会話Ⅳ	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1								2
	フランス語Ⅰ	1前	1								2
	フランス語Ⅱ	1後	1								2
	フランス語Ⅲ	2前	1								2
	フランス語Ⅳ	2後	1								2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								2
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								2
	ドイツ語Ⅲ	2前	1								2
	ドイツ語Ⅳ	2後	1								2
	スペイン語Ⅰ	1前	1			1					1
	スペイン語Ⅱ	1後	1			1					1
	スペイン語Ⅲ	2前	1			1					1
	スペイン語Ⅳ	2後	1			1					1
中国語Ⅰ	1前	1								2	
中国語Ⅱ	1後	1								2	
中国語Ⅲ	2前	1								2	
中国語Ⅳ	2後	1								2	
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1								6
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1								1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1								1
特設科目	日本語AⅠ	1前	1								1
	日本語BⅠ	1前	1								1
	日本語AⅡ	1後	1								1
	日本語BⅡ	1後	1								1
	日本語AⅢ	2前	1								1
	日本語BⅢ	2前	1								1
	日本語AⅣ	2後	1								1
	日本語BⅣ	2後	1								1
	日本事情Ⅰ	1前	2								1
	日本事情Ⅱ	1後	2								1
	日本事情Ⅲ	2前	2								1
	日本事情Ⅳ	2後	2								1
人間総合学群 観光文化学類 専門教育科目	観光学	2前	2			1					
	観光政策論	2前	2			1					
	観光マーケティング論	2後	2			1					
	観光メディア	2後	2			1					
	ホスピタリティ概論	2前	2			1					
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2								1
	観光社会学	2前	2								1
	観光人類学	2後	2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
技法知科目	英会話Ⅱ	1後	1								4
	英会話Ⅲ	2前	1								1
	英会話Ⅳ	2後	1								1
	Receptive English I	1・2前	1								1
	Receptive English II	1・2後	1								1
	Productive English I	1・2前	1								1
	Productive English II	1・2後	1								1
	English Summer Seminar	2・3前	1								2
	フランス語Ⅰ	1前	1								2
	フランス語Ⅱ	1後	1								2
	フランス語Ⅲ	2前	1								2
	フランス語Ⅳ	2後	1								2
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								1
	ドイツ語Ⅲ	2前	1								2
	ドイツ語Ⅳ	2後	1								2
	スペイン語Ⅰ	1前	1			1					1
	スペイン語Ⅱ	1後	1			1					1
	スペイン語Ⅲ	2前	1			1					1
	スペイン語Ⅳ	2後	1			1					1
中国語Ⅰ	1前	1								2	
中国語Ⅱ	1後	1								2	
中国語Ⅲ	2前	1								2	
中国語Ⅳ	2後	1								2	
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1								6
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1								6
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1								1
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1								1
特設科目	日本語AⅠ	1前	1								1
	日本語BⅠ	1前	1								1
	日本語AⅡ	1後	1								1
	日本語BⅡ	1後	1								1
	日本語AⅢ	2前	1								1
	日本語BⅢ	2前	1								1
	日本語AⅣ	2後	1								1
	日本語BⅣ	2後	1								1
	日本事情Ⅰ	1前	2								1
	日本事情Ⅱ	1後	2								1
	日本事情Ⅲ	2前	2								1
	日本事情Ⅳ	2後	2								1
人間総合学群 観光文化学類 専門教育科目	観光学	2前	2					1			
	観光政策論	2前	2					1			
	観光マーケティング論	2後	2					1			
	観光メディア	2後	2					1			
	ホスピタリティ概論	2前	2					1			
	ホスピタリティ・マネジメント	2後	2								1
	観光社会学	2前	2								1
	観光人類学	2後	2								1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光実務関連科目	旅行実務論	2・3前	2			1					
	宿泊業・飲食業実務論	2・3前	2							1	
	航空・空港実務論	2・3後	2							1	
	広告・メディア実務論	2・3後	2		1						
	エンターテインメント実務論	2・3後	2							1	
	インターンシップ実習A	2・3後	1			2	2				
	インターンシップ実習B	2・3後	1			2	2				
	インターンシップ実習C	2・3後	1			2	2				
	海外インターンシップ実習	2・3後	1				2				
国内旅行研修	2・3前	1			2						
海外旅行研修	2・3前	1		1	1						
人間総合学群 観光文化学類 専門教育科目	世界遺産研究	2前	2								1
	地域観光資源研究	2・3前	2			1					
	国内観光資源研究A (東京・首都圏)	2後	2								1
	国内観光資源研究B (東日本)	2・3前	2								1
	国内観光資源研究C (西日本)	2・3後	2								1
	海外観光資源研究A (ヨーロッパ1)	3前	2		1						
	海外観光資源研究B (ヨーロッパ2)	3前	2								1
	海外観光資源研究C (アジア1)	3前	2			1					
	海外観光資源研究D (アジア2)	3前	2								1
	海外観光資源研究E (オセアニア)	3前	2								1
	世界のミュージアム	2・3前	2			2					1
	日本のミュージアム	2・3後	2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前	2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後	2								1
	異文化交流 I	2・3前	2			1					
	異文化交流 II	2・3後	2			1					
	文化交流論A (日本とヨーロッパ)	3後	2			1					3
文化交流論B (日本とアメリカ)	3後	2			1						
文化交流論C (日本とアジア)	3後	2				1					
イスラーム文化論	2・3前	2								1	
キリスト教文化論	2・3後	2								1	
国家試験対策科目	旅行法規 I	1後	2			1					
	旅行法規 II	2前	2			1					
	国内旅行実務論 I	1後	2			1					1
	国内旅行実務論 II	2前	2			1					
	海外旅行実務論 I	2後	2			1					
	海外旅行実務論 II	3前	2			1					
	旅行業務取扱管理者試験特講	2・3前	2			1					
	観光の英語 I	2前	1			1					1
観光の英語 II	2後	1			1						
観光の英語 III	3前	1			1						
観光のフランス語	2前	1								1	
観光のドイツ語	2後	1								1	
観光のスペイン語	2前	1		1							
観光の中国語	2後	1								1	
観光の韓国語	2前	1			1						
観光ガイドの英語	2・3前	1			1	1					
ホスピタリティ英語 I	2・3前	1								1	
ホスピタリティ英語 II	2・3後	1								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
観光実務関連科目	旅行実務論	2・3前	2							1	
	宿泊業・飲食業実務論	2・3前	2								1
	航空・空港実務論	2・3後	2								1
	広告・メディア実務論	2・3後	2			1					
	エンターテインメント実務論	2・3後	2								1
	インターンシップ実習A	2・3後	1			2	2				
	インターンシップ実習B	2・3後	1			2	2				
	インターンシップ実習C	2・3後	1			2	2				
	海外インターンシップ実習	2・3後	1				2				
国内旅行研修	2・3前	1			2						
海外旅行研修	2・3前	1		1	1						
人間総合学群 観光文化学類 専門教育科目	世界遺産研究	2前	2								1
	地域観光資源研究	2・3前	2			1					
	国内観光資源研究A (東京・首都圏)	2後	2								1
	国内観光資源研究B (東日本)	2・3前	2								1
	国内観光資源研究C (西日本)	2・3後	2								1
	海外観光資源研究A (ヨーロッパ1)	3前	2		1						
	海外観光資源研究B (ヨーロッパ2)	3前	2								1
	海外観光資源研究C (アジア1)	3前	2			1					
	海外観光資源研究D (アジア2)	3前	2								1
	海外観光資源研究E (オセアニア)	3前	2								1
	世界のミュージアム	2・3前	2			2					1
	日本のミュージアム	2・3後	2								1
	西洋美術の旅 I	2・3前	2								1
	西洋美術の旅 II	2・3後	2								1
	異文化交流 I	2・3前	2			1					
	異文化交流 II	2・3後	2			1					
	文化交流論A (日本とヨーロッパ)	3後	2			1					3
文化交流論B (日本とアメリカ)	3後	2			1						
文化交流論C (日本とアジア)	3後	2				1					
イスラーム文化論	2・3前	2								1	
キリスト教文化論	2・3後	2								1	
国家試験対策科目	旅行法規 I	1後	2							1	
	旅行法規 II	2前	2							1	
	国内旅行実務論 I	1後	2								1
	国内旅行実務論 II	2前	2							1	
	海外旅行実務論 I	2後	2							1	
	海外旅行実務論 II	3前	2							1	
	旅行業務取扱管理者試験特講	2・3前	2							1	
	観光の英語 I	2前	1							1	
観光の英語 II	2後	1							1		
観光の英語 III	3前	1							1		
観光のフランス語	2前	1								1	
観光のドイツ語	2後	1								1	
観光のスペイン語	2前	1		1							
観光の中国語	2後	1								1	
観光の韓国語	2前	1			1						
観光ガイドの英語	2・3前	1			1	1					
ホスピタリティ英語 I	2・3前	1								1	
ホスピタリティ英語 II	2・3後	1								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 観光文化学類 専門ゼミ科目	観光文化ゼミⅠ	3前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅡ	3後	1			4	3					
	観光文化ゼミⅢ	4前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅣ	4後	1			4	3					
	卒業研究	4通		4		4	3					
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							3
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							2
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史Ⅰ	2前		2								1
	日本文化史Ⅱ	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前		2								1
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後		2								1
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前		2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								1
	民俗資料論	2・3後		2								1
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前		2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後		2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人間総合学群 観光文化学類 専門ゼミ科目	観光文化ゼミⅠ	3前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅡ	3後	1			4	3					
	観光文化ゼミⅢ	4前	1			4	3					
	観光文化ゼミⅣ	4後	1			4	3					
	卒業研究	4通		4		4	3					
省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前		2								1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館資料論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2							1
	博物館資料保存論	3前			2							1
	博物館経営論	3後			2							1
	博物館教育論	2・3前			2							1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2							1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1							2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1							3
	博物館実習C(館園実習)	4通			1							2
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2								1
	西洋文化史	1前		2								1
	日本文化史Ⅰ	2前		2								1
	日本文化史Ⅱ	2後		2								1
	地域文化概論	2前		2								1
	世界遺産研究	2前		2								1
	世界のミュージアム	2・3前		2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後		2								1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前		2								1
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後		2								1
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前		2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後		2								1
	歴史資料論	2・3前		2								1
	民俗資料論	2・3後		2								1
	歴史考古学	2・3前		2								1
	歴史地理学	2・3後		2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前		2								1
	文化交流史Ⅱ	2・3後		2								1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「4（内訳兼任2・兼任2）」から「3（内訳兼任1・兼任2）」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「4（内訳兼任2・兼任2）」から「3（内訳兼任1・兼任2）」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」（兼任1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・兼任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を、「2」から「1」（兼任1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「国内旅行実務論Ⅰ」の教員配置を、准教授「1」から兼任・兼任「1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	181 科目	10 科目	226 科目	35 科目 [0]	181 科目 [0]	10 科目 [0]	226 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{226} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用		
	校舎敷地	0 m ²	140,991.11 m ²	10,639.73 m ²	151,630.84 m ²			
	運動場用地	0 m ²	12,574.38 m ²	0 m ²	12,574.38 m ²			
	小 計	0 m ²	153,565.49 m ²	10,639.73 m ²	164,205.22 m ²			
	そ の 他	0 m ²	36,595.26 m ²	0 m ²	36,595.26 m ²			
合 計	0 m ²	190,160.75 m ²	10,639.73 m ²	200,800.48 m ²				
(2) 校 舎	専 用	7,584.21 m ²	23,803.58 m ²	15,549.03 m ²	46,936.82 m ²	校舎の一部は、駒沢女子短期大学と共用		
	(7,584.21 m ²)	(23,803.58 m ²)	(15,549.03 m ²)	(46,936.82 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	45 室	演 習 室	20 室	実験実習室	37 室	教室等の一部は、駒沢女子短期大学と共用	
	情報処理学習施設	3 室 (補助職員 2人)	語学学習施設	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学群			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30)
	人間総合学群	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
	計	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		駒沢女子短期大学と共用	
	4,489 m ²		325席		237,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m ²		テニスコート 3面		屋外プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円
		共 同 研 究 費 等	一千円	一千円	設備購入費	一千円	5,000千円	5,000千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
日本文化学科	4	—	3年次10	—	学士 (日本文化)	—	平成5年度	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
国際文化学科	4	—	3年次20	—	学士 (国際文化)	—	平成5年度	同上	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成25年度	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群									
人間文化学類	4	170	3年次20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニケーション)	1.16	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、平成32年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次10	260	学士 (観光文化)	1.15	平成30年度	同上	編入は、平成32年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.42	平成30年度	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.28	平成30年度	同上	
人間健康学部									
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.07	平成21年度	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.12	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	
人文科学研究科									
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成14年度	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.44	平成15年度	同上	

大学の名称	駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科	年 2	人 130	年次 人 —	人 260	短期大学士 (保育)	倍 0.91	昭和40年度	東京都稲城市坂浜238番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1)ー① 担当教員表

<人間総合学群 観光文化学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月>	専	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史Ⅰ			アメリカの文化と歴史Ⅰ
		アメリカの文化と歴史Ⅱ			アメリカの文化と歴史Ⅱ
		国内旅行研修			国内旅行研修
		世界のミュージアム			世界のミュージアム
		文化交流論B(日本とアメリカ)			文化交流論B(日本とアメリカ)
		異文化交流Ⅰ			異文化交流Ⅰ
		異文化交流Ⅱ			異文化交流Ⅱ
		観光文化ゼミⅠ			観光文化ゼミⅠ
		観光文化ゼミⅡ			観光文化ゼミⅡ
		観光文化ゼミⅢ			観光文化ゼミⅢ
		観光文化ゼミⅣ			観光文化ゼミⅣ
卒業研究	卒業研究				
専	教授	加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月>	専	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ			基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ			基礎ゼミⅡ
		スペイン語Ⅰ			スペイン語Ⅰ
		スペイン語Ⅱ			スペイン語Ⅱ
		スペイン語Ⅲ			スペイン語Ⅲ
		スペイン語Ⅳ			スペイン語Ⅳ
		海外観光資源研究A(ヨーロッパ①)			海外観光資源研究A(ヨーロッパ①)
		世界のミュージアム			世界のミュージアム
		文化交流論A(日本とヨーロッパ)			文化交流論A(日本とヨーロッパ)
		観光のスペイン語			観光のスペイン語
		観光文化ゼミⅠ			観光文化ゼミⅠ
観光文化ゼミⅡ	観光文化ゼミⅡ				
観光文化ゼミⅢ	観光文化ゼミⅢ				
観光文化ゼミⅣ	観光文化ゼミⅣ				
卒業研究	卒業研究				
専	教授	平野 国男 (62) <平成30年4月>	専	教授	平野 国男 (62) <平成30年4月>
		広告・メディア実務論			広告・メディア実務論
		インターンシップ実習A			インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B			インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C			インターンシップ実習C
		国内旅行研修			国内旅行研修
		観光文化ゼミⅠ			観光文化ゼミⅠ
		観光文化ゼミⅡ			観光文化ゼミⅡ
		観光文化ゼミⅢ			観光文化ゼミⅢ
		観光文化ゼミⅣ			観光文化ゼミⅣ
		卒業研究			卒業研究

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		観光メディア
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		海外旅行研修
		地域観光資源研究
		観光ガイドの英語
		観光文化ゼミ I
		観光文化ゼミ II
		観光文化ゼミ III
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		
専	准教授	張 景泰 (45) <平成30年4月>
		観光学
		ホスピタリティ概論
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		海外インターンシップ実習
		海外旅行研修
		海外観光資源研究C(アジア1)
		文化交流論C(日本とアジア)
		観光の韓国語
		観光文化ゼミ I
		観光文化ゼミ II
観光文化ゼミ III		
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		
専	准教授	鮫島 卓 (44) <平成30年4月>
		観光政策論
		観光マーケティング論
		旅行業実務論
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		旅行法規 I
		旅行法規 II
		国内旅行実務論 I
		国内旅行実務論 II
		海外旅行実務論 I
		海外旅行実務論 II
旅行業取扱管理者試験特講		
観光文化ゼミ I		
観光文化ゼミ II		
観光文化ゼミ III		
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I
		基礎ゼミ II
		観光メディア
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		海外旅行研修
		地域観光資源研究
		観光ガイドの英語
		観光文化ゼミ I
		観光文化ゼミ II
		観光文化ゼミ III
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		
専	教授	張 景泰 (45) <平成30年4月>
		観光学
		ホスピタリティ概論
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		海外インターンシップ実習
		海外旅行研修
		海外観光資源研究C(アジア1)
		文化交流論C(日本とアジア)
		観光の韓国語
		観光文化ゼミ I
		観光文化ゼミ II
観光文化ゼミ III		
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		
専	准教授	鮫島 卓 (44) <平成30年4月>
		観光政策論
		観光マーケティング論
		旅行業実務論
		インターンシップ実習A
		インターンシップ実習B
		インターンシップ実習C
		旅行法規 I
		旅行法規 II
		国内旅行実務論 II
		海外旅行実務論 I
		海外旅行実務論 II
		旅行業取扱管理者試験特講
観光文化ゼミ I		
観光文化ゼミ II		
観光文化ゼミ III		
観光文化ゼミ IV		
卒業研究		
兼任	講師	山田 政博 (67) <平成30年4月>
		国内旅行実務論 I

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ 海外インターンシップ実習 観光の英語Ⅰ 観光の英語Ⅱ 観光の英語Ⅲ 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
		光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
		井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
		糟谷 恵次 (64) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
		安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ 海外インターンシップ実習 観光の英語Ⅰ 観光の英語Ⅱ 観光の英語Ⅲ 観光ガイドの英語 観光文化ゼミⅠ 観光文化ゼミⅡ 観光文化ゼミⅢ 観光文化ゼミⅣ 卒業研究
		光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
		井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
		糟谷 恵次 (65) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 世界のミュージアム
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
		安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月> 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 海外観光資源研究D(アジア2) 観光の中国語
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月> 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月> 心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月> 情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月> 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 海外観光資源研究D(アジア2) 観光の中国語
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼担	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		フランス語Ⅰ
		フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼担	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼担	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅱ
兼担	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼担	教授	佐藤 勉 (51) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼担	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		日本文化入門Ⅰ
		博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼担	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		フランス語Ⅰ
		フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼担	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼担	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅱ
兼担	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼担	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	橋田 布佐子 (60) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼担	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		日本文化入門Ⅰ
		博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼担	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼担	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ
兼担	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼担	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 海外観光資源研究E(オセアニア)
兼担	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼担	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼担	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼担	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼担	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ
兼担	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼担	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 海外観光資源研究E(オセアニア)
兼担	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼担	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ
兼担	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 駒沢女子大学入門 言語表現演習 I 言語表現演習 II
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 海外英語研修 I 海外英語研修 II 英語B I 英語B II
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門 I
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論 I 生涯学習論 II
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学 I 仏教学 II
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月>
		仏教学 I 仏教学 II
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学 III 仏教学 IV

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 住空間デザイン入門 I 住空間デザイン入門 II
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 駒沢女子大学入門 言語表現演習 I 言語表現演習 II
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 海外英語研修 I 海外英語研修 II 英語B I 英語B II
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門 I
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論 I 生涯学習論 II
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学 I 仏教学 II
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学 III 仏教学 IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究 ホスピタリティ・マネジメント
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月> 数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアアテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康Ⅰ 女性と健康Ⅱ
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月> 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアアテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康Ⅰ 女性と健康Ⅱ
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツⅠ スポーツⅡ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (59) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV		
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		大石 瑤子 (33) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
		境 希里子 (60) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
		池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV		
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
		大石 瑤子 (33) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	川上 真巴子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月>
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	川上 真巴子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
		Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Rod Caldwell (32) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV <small>海外観光資源研究B(ヨーロッパ)</small> 観光のドイツ語
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月>
		中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月>
		コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II 観光社会学 観光人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhonvanich (61)
		コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	黒沢 直樹 (68) <平成31年4月>
		宿泊業・飲食業実務論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
兼任	講師	クレイ・サイモン (52) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV <small>海外観光資源研究B(ヨーロッパ)</small> 観光のドイツ語
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月>
		中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月>
		コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II 観光社会学 観光人類学
兼任	講師	Suwat Charoennibhonvanich (61)
		コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	黒沢 直樹 (67) <平成31年4月>
		宿泊業・飲食業実務論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	林 亜美 (45) <平成31年9月> 航空・空港実務論
兼任	講師	小堀 貴亮 (46) <平成31年4月> エンターテインメント実務論 国内観光資源研究B(東日本) 国内観光資源研究C(西日本)
兼任	講師	太田 亮吾 (41) <平成31年9月> 国内観光資源研究A(東京・首都圏)
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <平成31年9月> 日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (36) <平成31年9月> 西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成31年4月> イスラーム文化論 キリスト教文化論
兼任	講師	万木 男也 (60) <平成31年4月> ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	林 亜美 (44) <平成31年9月> 航空・空港実務論
兼任	講師	小堀 貴亮 (45) <平成31年4月> エンターテインメント実務論 国内観光資源研究B(東日本) 国内観光資源研究C(西日本)
兼任	講師	太田 亮吾 (40) <平成31年9月> 国内観光資源研究A(東京・首都圏)
兼任	講師	鈴木 伸子 (39) <平成31年9月> 日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (35) <平成31年9月> 西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成31年4月> イスラーム文化論 キリスト教文化論
兼任	講師	万木 男也 (59) <平成31年4月> ホスピタリティ英語Ⅰ ホスピタリティ英語Ⅱ
兼任	講師	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (62) <平成31年4月> 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 日本文化史Ⅰ 日本文化史Ⅱ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月>
		日本の文化財 I 日本の文化財 II
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月>
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月>
		文化交流史 I 文化交流史 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月>
		日本の文化財 I 日本の文化財 II
兼任	講師	今野 慶信 (49) <平成31年4月>
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月>
		文化交流史 I 文化交流史 II

- (注)
- 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 観光文化学類>

【平成30年度】

- ・ 鮫島准教授、科目調整の理由により、「国内旅行実務論Ⅰ」を山田兼任講師に担当者変更。
- ・ 糟谷兼担教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・ 篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・ 須藤兼担教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼担教授、松岡兼担教授に担当者変更。
- ・ 中野兼担教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・ 皆川兼担准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・ 鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・ 大貫兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・ 石川兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・ 小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・ 龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼担教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼担教授に担当者変更。
- ・ 船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・ 滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・ 大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・ 小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・ 木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・ 佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・ Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・ 吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・ 杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・ 砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・ 田ノロ兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・ 加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・ メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・ 木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・ 神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・ Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・ Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・ クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・ 津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
4	3	0	0	7	4	3	0	0	7	4	3	0	0	7
(4)	(3)	(0)	(0)	(7)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 (平成17年以前の 就任者は70歳) 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

<人間総合学群 観光文化学類>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし 留意事項	該当なし 未履行	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学群 観光文化学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」、参照）
 本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。

1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼
2. 学内公開授業の運営
3. ファカルティ・ディベロップメントの実施
4. 教育研究業績記録の作成

本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。
2. 平成29年度の開催状況を以下に記す。
 - ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
 - ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
 - ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内、等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回、実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD活動分科会を展開させている。現在は、歴史関連科目FD分科会、第二外国語FD分科会等、15の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45
(参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19)

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42
(参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5)

2. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」
参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

3. 教育研究業績記録の作成

人文学部、人間健康学部、専任教員、平成29年度末までに全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度はまた、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学生確保

人間総合学群の設置届出が受理されてから、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを周知させるように努めた。

本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

2. 新入生オリエンテーション（学群制の周知）

新入生に対して、4月2日から5日の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類教育の目的と特色、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。本年度は、予定より1クラス少ない、20クラスを設けた。ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する（前年度の12月頃を予定）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」は、就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。この科目は、建学の精神を学ぶ科目として位置づけられている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・「自己点検評価報告書」を平成32年5月1日に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成32年5月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成30年8月1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

7 その他全般的事項 別添資料1

駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

(担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

(事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

(定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

(意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(マツオカ ツトム) 松岡 努 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間総合学群 心理学類 学士(心理学)	文学関係	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [若干名]	-	-	-	-	-	-	-	1.42倍	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して收容する。
志願者数	334 (-) [5]	- (-) [-]								
受験者数	328 (-) [4]	- (-) [-]								
合格者数	256 (-) [4]	- (-) [-]								
B 入学者数	114 (-) [3]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.42									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	114 [3] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者のうち、人間総合学群一括入試による入学者については、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。						
2年次	/		- [-] (-)						
3年次	/		/		- [-] (-)				
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	114 [3] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	114 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	114 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{114} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間総合学群 心理学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1	1				17	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1	1				17	
	仏教学Ⅰ	1前	2									4	
	仏教学Ⅱ	1後	2									4	
	仏教学Ⅲ	2前		2								1	
	仏教学Ⅳ	2後		3								1	
	駒沢女子大学入門	1前		4								6	
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2								2	
	日本文化入門Ⅱ	1後		2								2	
	人間関係入門Ⅰ	1前		2								3	
	人間関係入門Ⅱ	1後		2								3	
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2								6	
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2								6	
	観光文化入門Ⅰ	1前		2								1	
	観光文化入門Ⅱ	1後		2								1	
	心理学入門Ⅰ	1前		2			1						
	心理学入門Ⅱ	1後		2		1							
住空間デザイン入門Ⅰ	住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2								3	
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2								3	
	人間と思想Ⅰ	人間と思想Ⅰ	1前		2								1
		人間と思想Ⅱ	1後		2								1
		人間と文化Ⅰ	1前		2								1
		人間と文化Ⅱ	1後		2								1
		生命の科学	1前		2								1
	人間を学ぶ科目	倫理学	1後		2								1
		人権の基礎	1前		2								1
		女性の人権	1後		2								1
心理学Ⅰ		1前		2								2	
心理学Ⅱ		1後		2								2	
生涯学習Ⅰ	生涯学習Ⅰ	1前		2								1	
	生涯学習Ⅱ	1後		2								1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2								1	
	文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2								1
世界の歴史		1後		2								1	
戦争と平和の歴史Ⅰ		1前		2								1	
戦争と平和の歴史Ⅱ		1後		2								1	
西洋文化史		1前		2								1	
日本美術史		1前		2								1	
比較文化		1後		2								1	
日本の文化		1後		2								1	
観光地理(日本)		1前		2								1	
観光地理(世界)		1後		2								1	
日本の文学		1前		2								1	
ヨーロッパの文学		1後		2		1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			2	1	1				16	
	基礎ゼミⅡ	1後	1			2	1	1				16	
	仏教学Ⅰ	1前	2									3	
	仏教学Ⅱ	1後	2									3	
	仏教学Ⅲ	2前		2								1	
	仏教学Ⅳ	2後		3								1	
	駒沢女子大学入門	1前		4								1	
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2								2	
	日本文化入門Ⅱ	1後		2								2	
	人間関係入門Ⅰ	1前		2								3	
	人間関係入門Ⅱ	1後		2								3	
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2								7	
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2								7	
	観光文化入門Ⅰ	1前		2								1	
	観光文化入門Ⅱ	1後		2								1	
	心理学入門Ⅰ	1前		2			1						
	心理学入門Ⅱ	1後		2				2					
住空間デザイン入門Ⅰ	住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2								3	
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2								3	
	人間と思想Ⅰ	人間と思想Ⅰ	1前		2								1
		人間と思想Ⅱ	1後		2								1
		人間と文化Ⅰ	1前		2								1
人間と文化Ⅱ		1後		2								1	
生命の科学		1前		2								1	
人間を学ぶ科目	倫理学	1後		2								1	
	人権の基礎	1前		2								1	
	女性の人権	1後		2								1	
	心理学Ⅰ	1前		2								2	
	心理学Ⅱ	1後		2								2	
生涯学習Ⅰ	生涯学習Ⅰ	1前		2								1	
	生涯学習Ⅱ	1後		2								1	
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1	
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2								1	
	文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2								1
世界の歴史		1後		2								1	
戦争と平和の歴史Ⅰ		1前		2								1	
戦争と平和の歴史Ⅱ		1後		2								1	
西洋文化史		1前		2								1	
日本美術史		1前		2								1	
比較文化		1後		2								1	
日本の文化		1後		2								1	
観光地理(日本)		1前		2								1	
観光地理(世界)		1後		2								1	
日本の文学		1前		2								1	
ヨーロッパの文学		1後		2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前		2							1
	世界の政治	1後		2							1
	政治と市民参加	1後		2							1
	日本の経済	1前		2							1
	世界の経済	1前		2							1
	新聞と報道	1後		2							1
	グローバル共生論	1後		2							1
	社会学	1前		2							1
	法と社会	1後		2							1
	日本国憲法 I	1前		2							1
	日本国憲法 II	1後		2							1
	社会学 I	1前		2							1
	社会学 II	1後		2							1
	数学の世界	1前		2							1
	物理の世界	1後		2							1
	生物と生命	1前		2							1
	地球と宇宙	1後		2							1
	物質と化学	1前		2							1
	情報と科学	1後		2							1
	色彩と科学	1前		2							1
実習科目	ボランティア実習 I	1後		1							2
	ボランティア実習 II	2後		2							1
	海外英語研修 I	1後		2							7
	海外英語研修 II	2後		2							7
	国際協力実習	2前		1							1
	国際協力実習フォローアップ	2後		2							1
	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前		1							1
	社会と教養演習B	2・3前		1							1
	社会と教養演習C	2・3後		1							1
実践知科目	社会と教養演習D	2・3後		1							1
	キャリアリテラシー	3前		2							1
	就業への知識と技能A	2・3前		2							1
	就業への知識と技能B	2・3後		2							1
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2							1
	女性と健康 II	1後		2							1
	スポーツ I	1・2前		1							3
	スポーツ II	1・2後		1							3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1							5
	言語表現演習 II	1後		1							5
外国語育成科目	英語A I	1前		1							25
	英語A II	1後		1							25
	英語A III	2前		1							25
	英語A IV	2後		1							25
	英語B I	1前		1							25
	英語B II	1後		1							25
	英語B III	2前		1							25
	英語B IV	2後		1							25
	英会話 I	1前		1							3
	英会話 II	1後		1							3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前		2							1
	世界の政治	1後		2							1
	政治と市民参加	1後		2							1
	日本の経済	1前		2							1
	世界の経済	1前		2							1
	新聞と報道	1後		2							1
	グローバル共生論	1後		2							1
	社会学	1前		2							1
	法と社会	1後		2							1
	日本国憲法 I	1前		2							1
	日本国憲法 II	1後		2							1
	社会学 I	1前		2							1
	社会学 II	1後		2							1
	数学の世界	1前		2							1
	物理の世界	1後		2							1
	生物と生命	1前		2							1
	地球と宇宙	1後		2							1
	物質と化学	1前		2							1
	情報と科学	1後		2							1
	色彩と科学	1前		2							1
実習科目	ボランティア実習 I	1後		1							2
	ボランティア実習 II	2後		2							1
	海外英語研修 I	1後		2							7
	海外英語研修 II	2後		2							7
	国際協力実習	2前		1							1
	国際協力実習フォローアップ	2後		2							1
	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前		1							1
	社会と教養演習B	2・3前		1							1
	社会と教養演習C	2・3後		1							1
実践知科目	社会と教養演習D	2・3後		1							1
	キャリアリテラシー	3前		2							1
	就業への知識と技能A	2・3前		2							1
	就業への知識と技能B	2・3後		2							1
健康体育科目	女性と健康 I	1前		2							1
	女性と健康 II	1後		2							1
	スポーツ I	1・2前		1							3
	スポーツ II	1・2後		1							3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前		1							5
	言語表現演習 II	1後		1							5
外国語育成科目	英語A I	1前		1							15
	英語A II	1後		1							15
	英語A III	2前		1							25
	英語A IV	2後		1							25
	英語B I	1前		1							14
	英語B II	1後		1							14
	英語B III	2前		1							25
	英語B IV	2後		1							25
	英会話 I	1前		1							4
	英会話 II	1後		1							4

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語教育科目	英会話Ⅲ	2前	1							1
		英会話Ⅳ	2後	1							1
		Receptive English I	1・2前	1							1
		Receptive English II	1・2後	1							1
		Productive English I	1・2前	1							1
		Productive English II	1・2後	1							1
		English Summer Seminar	2・3前	1							2
		フランス語Ⅰ	1前	1			1				1
		フランス語Ⅱ	1後	1			1				1
		フランス語Ⅲ	2前	1			1				1
		フランス語Ⅳ	2後	1			1				1
		ドイツ語Ⅰ	1前	1			1				1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			1				1
		ドイツ語Ⅲ	2前	1			1				1
		ドイツ語Ⅳ	2後	1			1				1
		スペイン語Ⅰ	1前	1							2
	スペイン語Ⅱ	1後	1							2	
	スペイン語Ⅲ	2前	1							2	
	スペイン語Ⅳ	2後	1							2	
	中国語Ⅰ	1前	1			1				1	
中国語Ⅱ	1後	1			1				1		
中国語Ⅲ	2前	1			1				1		
中国語Ⅳ	2後	1			1				1		
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1			1				5	
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1			1				5	
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1			1					
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1			1					
特設科目	日本語AⅠ	1前	1							1	
	日本語BⅠ	1前	1							1	
	日本語AⅡ	1後	1							1	
	日本語BⅡ	1後	1							1	
	日本語AⅢ	2前	1							1	
	日本語BⅢ	2前	1							1	
	日本語AⅣ	2後	1							1	
	日本語BⅣ	2後	1							1	
	日本事情Ⅰ	1前	2							1	
	日本事情Ⅱ	1後	2							1	
	日本事情Ⅲ	2前	2							1	
	日本事情Ⅳ	2後	2							1	
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	基本科目	心理学の基礎	2前	2			3	2			3
		心理学実験実習Ⅰ	2前	2			1				3
		心理学実験実習Ⅱ	2後	2			1				3
		心理学研究法Ⅰ	3前	2			1				
		心理学研究法Ⅱ	3後	2			1				
		臨床心理学Ⅰ	2前	2			1				
		臨床心理学Ⅱ	2後	2			1				
		心理統計法Ⅰ	2前	2							1
		心理統計法Ⅱ	2後	2							1
		心理学英語講読	3後	2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語教育科目	英会話Ⅲ	2前	1							1
		英会話Ⅳ	2後	1							1
		Receptive English I	1・2前	1							1
		Receptive English II	1・2後	1							1
		Productive English I	1・2前	1							1
		Productive English II	1・2後	1							1
		English Summer Seminar	2・3前	1							2
		フランス語Ⅰ	1前	1			1				1
		フランス語Ⅱ	1後	1			1				1
		フランス語Ⅲ	2前	1			1				1
		フランス語Ⅳ	2後	1			1				1
		ドイツ語Ⅰ	1前	1			1				1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1			1				1
		ドイツ語Ⅲ	2前	1			1				1
		ドイツ語Ⅳ	2後	1			1				1
		スペイン語Ⅰ	1前	1							2
	スペイン語Ⅱ	1後	1							2	
	スペイン語Ⅲ	2前	1							2	
	スペイン語Ⅳ	2後	1							2	
	中国語Ⅰ	1前	1			1				1	
中国語Ⅱ	1後	1			1				1		
中国語Ⅲ	2前	1			1				1		
中国語Ⅳ	2後	1			1				1		
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1			1				5	
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1			1				5	
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1			1					
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1			1					
特設科目	日本語AⅠ	1前	1							1	
	日本語BⅠ	1前	1							1	
	日本語AⅡ	1後	1							1	
	日本語BⅡ	1後	1							1	
	日本語AⅢ	2前	1							1	
	日本語BⅢ	2前	1							1	
	日本語AⅣ	2後	1							1	
	日本語BⅣ	2後	1							1	
	日本事情Ⅰ	1前	2							1	
	日本事情Ⅱ	1後	2							1	
	日本事情Ⅲ	2前	2							1	
	日本事情Ⅳ	2後	2							1	
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	基本科目	心理学の基礎	2前	2			3	2			3
		心理学実験Ⅰ	2前	2			1				3
		心理学実験Ⅱ	2後	2			1				3
		心理学研究法Ⅰ	3前	2			1				
		心理学研究法Ⅱ	3後	2			1				
		心理学概論	2前	2			1				
		臨床心理学概論	2前	2			1				
		廃止									
		心理学統計法	2前	2							1
		心理データ解析法	2後	2							1
心理学英語講読	3後	2							1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代心理学関連科目	認知心理学	2・3前	2								1	
	言語心理学	2・3・4後	2								1	
	人格心理学Ⅰ	2前	2			1						
	人格心理学Ⅱ	2後	2			1						
	神経心理学	2・3・4前	2								1	
	社会心理学Ⅰ	2前	2								1	
	家族心理学	2・3後	2			1						
	教育心理学	2・3・4前	2					1				
	発達心理学Ⅰ	2前	2			1						
	発達心理学Ⅱ	2後	2			1						
	高齢者心理学	2・3・4後	2								1	
	障害者援助論	2・3・4前	2								1	
	比較行動学	2・3・4後	2								1	
	発達臨床	2・3・4後	2								1	
	社会心理学Ⅱ	2後	2								1	
現代心理学実習	3前	2			1	1						
人間総合学群 心理学類 臨床心理学関連科目	心理検査法Ⅰ	3・4前	2								1	
	心理検査法Ⅱ	3・4後	2								1	
	対人援助論Ⅰ	3・4前	2								1	
	対人援助論Ⅱ	3・4後	2								1	
	心理療法論Ⅰ	3・4前	2			1						
	心理療法論Ⅱ	3・4後	2			1						
	臨床心理学実習	3前・後	2								1	
	健康心理学	2・3・4後	2								1	
	社会福祉援助論	2・3・4後	2								1	
	学校心理学	2・3・4前	2								1	
	犯罪心理学Ⅰ	2・3前	2			1						
	犯罪心理学Ⅱ	2・3後	2			1						
	産業心理学	2・3・4後	2				1					
	消費者心理学	2・3・4前	2								1	
	コミュニティ心理学	2・3・4後	2			1						
スポーツ心理学	2・3・4後	2								1		
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	医療心理学	2・3・4前	2								1	
	精神医学	2・3・4前	2								1	
	精神病学	2・3・4前	2			1						
	カウンセリング論	2・3・4後	2					1				
	文芸と心理	2・3・4前	2			1						
	言葉と心理	2・3・4後	2			2						
	現代心理学ゼミⅠ	3前	1			2	2					
	臨床心理学ゼミⅠ	3前	1			2	2					
	現代心理学ゼミⅡ	3後	1			2	2					
	臨床心理学ゼミⅡ	3後	1			2	2					
専門ゼミ科目	現代心理学ゼミⅢ	4前	1			3		1				
	臨床心理学ゼミⅢ	4前	1			3		1				
	現代心理学ゼミⅣ	4後	1			3		1				
	臨床心理学ゼミⅣ	4後	1			3		1				
	卒業論文	4通	4			5	2	1				
	公認心理師関連科目	公認心理師の職責	3前				2	4	1	1		
		関係行政論	3後				2	4	1	1		
心理演習		4前				2					1	
心理実習		4後				2	5	2	1			
基本科目	学外実習	3後				1	2	2				

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎心理学	知覚・認知心理学	2・3前	2									1	
	学習・言語心理学	2・3後	2									1	
	感情・人格心理学	2・3前	2						1				
	廃止												
	神経・生理心理学	2・3前	2									1	
	社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2・3前	2									1	
	家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2・3後	2						1				
	廃止												
	発達心理学Ⅰ	2・3前	2						1				
	廃止												
	発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)	2・3後	2									1	
	障害者・障害児心理学	2・3前	2									1	
	比較行動学	2・3後	2									1	
	発達臨床	2・3後	2									1	
	対人関係論	2・3後	2									1	
現代心理学実習	3前	2				1	1						
人間総合学群 心理学類 実践心理学A	心理的アセスメントⅠ	3・4前	2									1	
	心理的アセスメントⅡ	3・4後	2									1	
	心理学的支援法Ⅰ	3・4前	2									1	
	心理学的支援法Ⅱ	3・4後	2									1	
	心理療法論Ⅰ	3・4前	2				1						
	心理療法論Ⅱ	3・4後	2				1						
	臨床心理学実習	3後	2									1	
	人間総合学群 心理学類 実践心理学B	健康・医療心理学	2・3・4後	2									1
		福祉心理学	2・3・4後	2									1
		教育・学校心理学	2・3・4前	2									1
		司法・犯罪心理学	2・3・4前	2				1					
		廃止											
		産業・組織心理学	2・3・4後	2						1			
		消費者心理学	2・3・4前	2									1
		コミュニティ心理学	2・3・4後	2						1			
スポーツ心理学		2・3・4後	2									1	
心理学関連科目		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前	2									1
	精神疾患とその治療	2・3・4前	2									1	
	精神病学	2・3・4前	2				1						
	教育相談	2・3・4後	2						1				
	文芸と心理	2・3・4前	2				1						
	言葉と心理	2・3・4後	2				2						
	専門ゼミ科目	心理学ゼミⅠ	3前	1				5	2	1			
心理学ゼミⅡ		3後	1				5	2	1				
心理学ゼミⅢ		4前	1				5	2	1				
心理学ゼミⅣ		4後	1				5	2	1				
卒業論文		4通	4				5	2	1				
公認心理師関連科目		公認心理師の職責	3前				2	4	1	1			
	関係行政論	3後				2	4	1	1				
	心理演習	4前				2						1	
	心理実習	4後				2	5	2	1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2							1
	博物館概論	1後			2						1
	博物館資料論	2前			2						1
	博物館展示論	2後			2						1
	博物館資料保存論	3前			2						1
	博物館経営論	3後			2						1
	博物館教育論	2・3前			2						1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2						1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1						2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1						3
博物館実習C(館園実習)	4通			1						2	
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本文化史 I	2前		2							1
	日本文化史 II	2後		2							1
	地域文化概論	2前		2							1
	世界遺産研究	2前		2							1
	世界のミュージアム	2・3前		2		1					2
	日本のミュージアム	2・3後		2							1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2							1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2							1
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2							1
	日本の文化財 II	2・3後		2							1
	歴史資料論	2・3前		2							1
	民俗資料論	2・3後		2							1
	歴史考古学	2・3前		2							1
	歴史地理学	2・3後		2							1
	文化交流史 I	2・3前		2							1
	文化交流史 II	2・3後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
省令必修科目	生涯学習論 I	1前		2							1
	博物館概論	1後			2						1
	博物館資料論	2前			2						1
	博物館展示論	2後			2						1
	博物館資料保存論	3前			2						1
	博物館経営論	3後			2						1
	博物館教育論	2・3前			2						1
	博物館情報・メディア論	2・3後			2						1
	博物館実習A(見学実習)	2通			1						2
	博物館実習B(実務実習)	3通			1						3
博物館実習C(館園実習)	4通			1						2	
博物館学芸員養成課程科目 基礎選択必修科目	日本美術史	1前		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本文化史 I	2前		2							1
	日本文化史 II	2後		2							1
	地域文化概論	2前		2							1
	世界遺産研究	2前		2							1
	世界のミュージアム	2・3前		2		1					2
	日本のミュージアム	2・3後		2							1
	西洋美術の旅 I	2・3前		2							1
	西洋美術の旅 II	2・3後		2							1
専攻選択必修科目	日本の文化財 I	2・3前		2							1
	日本の文化財 II	2・3後		2							1
	歴史資料論	2・3前		2							1
	民俗資料論	2・3後		2							1
	歴史考古学	2・3前		2							1
	歴史地理学	2・3後		2							1
	文化交流史 I	2・3前		2							1
	文化交流史 II	2・3後		2							1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任講師体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の兼任・兼任教員を、「17」から「16」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼任「4（内訳兼任2・兼任2）」から「3（内訳兼任1・兼任2）」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼任「4（内訳兼任2・兼任2）」から「3（内訳兼任1・兼任2）」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の専任教員等の配置を、教授「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼任教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼任教員を、「3」から「4」に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」（専任1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の教員配置を、教授「1」、兼任・兼任「1」から、兼任・兼任「1」（専任1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学実験実習Ⅰ」を「心理学実験Ⅰ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学実験実習Ⅱ」を「心理学実験Ⅱ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学概論」（配当年次「2前」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「1」）の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「臨床心理学Ⅰ」を「臨床心理学概論」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理統計法Ⅰ」を「心理学統計法」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理統計法Ⅱ」を「心理データ解析法」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「認知心理学」を「知覚・認知心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「言語心理学」を「学習・言語心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「人格心理学Ⅰ」を「感情・人格心理学」に科目名称変更、配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「神経心理学」を「神経・生理心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会心理学Ⅰ」を「社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学Ⅰ）」に科目名称変更、配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「家族心理学」を「家族心理学（社会・集団・家族心理学Ⅱ）」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「発達心理学Ⅰ」の配当年次を「2前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「高齢者心理学」を「発達心理学Ⅱ（高齢者心理学）」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「障害者援助論」を「障害者・障害児心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3・4前」から「2・3前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「比較行動学」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「発達臨床」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会心理学Ⅱ」を「対人関係論」に科目名称変更、配当年次を「2後」から「2・3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分を「現代心理学関連科目」から「基礎心理学」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理検査法Ⅰ」を「心理的アセスメントⅠ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理検査法Ⅱ」を「心理的アセスメントⅡ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「対人援助論Ⅰ」を「心理学的支援法Ⅰ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「対人援助論Ⅱ」を「心理学的支援法Ⅱ」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「臨床心理学実習」の配当年次を「3前・後」から「3後」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「健康心理学」を「健康・医療心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「社会福祉援助論」を「福祉心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「学校心理学」を「教育・学校心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「犯罪心理学Ⅰ」を「司法・犯罪心理学」に科目名称変更、配当年次を「2・3前」から「2・3・4前」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「産業心理学」を「産業・組織心理学」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「医療心理学」を「人体の構造と機能及び疾病」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「精神医学」を「精神疾患とその治療」に科目名称変更。
- ・課程認定委員会指摘の理由により、「カウンセリング論」を「教育相談」に科目名称変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分を「臨床心理学関連科目」から「実践心理学A」「実践心理学B」「心理学関連科目」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅠ」「臨床心理学ゼミⅠ」を科目統合し「心理学ゼミⅠ」（配当年次「3前」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」）に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅡ」「臨床心理学ゼミⅡ」を科目統合し「心理学ゼミⅡ」（配当年次「3後」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」）に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅢ」「臨床心理学ゼミⅢ」を科目統合し「心理学ゼミⅢ」（配当年次「4前」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」）に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「現代心理学ゼミⅣ」「臨床心理学ゼミⅣ」を科目統合し「心理学ゼミⅣ」（配当年次「4後」、単位数必修「1」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」）に変更。

- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「公認心理師の職責」（配当年次「3前」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「4」、准教授「1」、講師「1」）の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「関係行政論」（配当年次「3後」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「4」、准教授「1」、講師「1」）の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理演習」（配当年次「4前」、単位数選択「2」、兼任・兼任「1」）の科目追加。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「学外実習」（配当年次「3後」、単位数選択「1」、専任教員等の配置、教授「2」、准教授「2」）を「心理実習」（配当年次「4後」、単位数選択「2」、専任教員等の配置、教授「5」、准教授「2」、講師「1」）に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、科目区分「公認心理師関連科目」を追加。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「発達心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「臨床心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「犯罪心理学Ⅱ」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「教育心理学」の科目廃止。
- ・公認心理師法施行規則制定に伴い、「人格心理学Ⅱ」の科目廃止。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	177 科目	10 科目	221 科目	38 科目 [+4]	168 科目 [Δ9]	10 科目 [0]	216 科目 [Δ5]	公認心理師法施行規則制定に伴う変更

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	発達心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
2	臨床心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
3	人格心理学Ⅱ	2	2後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
4	犯罪心理学Ⅱ	2	2・3後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止
5	教育心理学	2	2・3・4後	専門	選択	公認心理師法施行規則制定に伴う廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

公認心理師法が平成29年9月15日に全面施行され、これに伴い、公認心理師法施行令、及び公認心理師法施行規則が制定され、同日より施行された。本学においては、届出済であった心理学類の専門教育科目の名称等を上記法令に則り改め、また、科目の追加、廃止等を行い、公認心理師の受験資格が得られるようにカリキュラムを改訂した。変更した科目は、全て、平成31年度以降に開講予定であり、学生の履修への影響はない。学生へは、ホームページを通じて、周知を図る。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{221} = \boxed{2.26}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用		
	校舎敷地	0 m ²	140,991.11 m ²	10,639.73 m ²	151,630.84 m ²			
	運動場用地	0 m ²	12,574.38 m ²	0 m ²	12,574.38 m ²			
	小 計	0 m ²	153,565.49 m ²	10,639.73 m ²	164,205.22 m ²			
	そ の 他	0 m ²	36,595.26 m ²	0 m ²	36,595.26 m ²			
合 計	0 m ²	190,160.75 m ²	10,639.73 m ²	200,800.48 m ²				
(2) 校 舎	専 用	7,584.21 m ²	23,803.58 m ²	15,549.03 m ²	46,936.82 m ²	校舎の一部は、駒沢女子短期大学と共用		
	(7,584.21 m ²)	(23,803.58 m ²)	(15,549.03 m ²)	(46,936.82 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	45 室	演 習 室	20 室	実験実習室	37 室	教室等の一部は、駒沢女子短期大学と共用	
	情報処理学習施設	3 室 (補助職員 2人)	語学学習施設	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学群			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30)
	人間総合学群	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
	計	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		駒沢女子短期大学と共用	
	4,489 m ²		325席		237,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m ²		テニスコート 3面		屋外プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円
		共 同 研 究 費 等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
日本文化学科	4	—	3年次10	—	学士 (日本文化)	—	平成5年度	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
国際文化学科	4	—	3年次20	—	学士 (国際文化)	—	平成5年度	同上	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成25年度	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群									
人間文化学類	4	170	3年次20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニケーション)	1.16	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、平成32年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次10	260	学士 (観光文化)	1.15	平成30年度	同上	編入は、平成32年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.42	平成30年度	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.28	平成30年度	同上	
人間健康学部									
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.07	平成21年度	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.12	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	
人文科学研究科									
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成14年度	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.44	平成15年度	同上	

大学の名称	駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科	年 2	人 130	年次 人 —	人 260	短期大学士 (保育)	倍 0.91	昭和40年度	東京都稲城市坂浜238番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1)一① 担当教員表

<人間総合学群 心理学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月>	富士原 光洋 (58) <平成30年4月>
		心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 学外実習 現代心理学実習 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文	心理学入門Ⅱ 心理学概論 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学研究法Ⅰ 心理学研究法Ⅱ 心理実習 現代心理学実習 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月>	松岡 努 (49) <平成30年4月>
		精神病跡学 臨床心理学Ⅱ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文	心理学入門Ⅱ 精神病跡学 科目廃止 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習
専	教授	糟谷 恵次 (64) <平成30年4月>	糟谷 恵次 (65) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 心理学の基礎 文芸と心理 世界のミュージアム	ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ 心理学の基礎 文芸と心理 世界のミュージアム
専	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月>	須藤 明 (59) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅱ 学外実習 犯罪心理学Ⅰ 犯罪心理学Ⅱ 家族心理学 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文	科目削除 心理実習 司法・犯罪心理学 科目廃止 家族心理学(社会・集団・家族心理学Ⅱ) 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	藤城 有美子 (50) <平成30年4月>
		臨床心理学Ⅰ 心理療法論Ⅱ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	教授	藤川 麗 (45) <平成30年4月>
		コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ 心理学の基礎

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ 心理学の基礎 言葉と心理
専	教授	藤城 有美子 (50) <平成30年4月>
		臨床心理学概論 心理療法論Ⅱ 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習
専	教授	藤川 麗 (45) <平成30年4月>
		コミュニティ心理学 心理療法論Ⅰ 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習
専	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ 心理学の基礎

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ 心理学の基礎 学外実習 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 発達心理学 現代心理学実習 現代心理学ゼミⅠ 現代心理学ゼミⅡ 現代心理学ゼミⅢ 現代心理学ゼミⅣ 卒業論文
専	准教授	石津 和子 (41) <平成30年4月>
		学外実習 産業心理学 人格心理学Ⅰ 人格心理学Ⅱ 現代心理学ゼミCⅠ 現代心理学ゼミCⅡ 現代心理学ゼミCⅢ 現代心理学ゼミCⅣ 卒業論文
専	講師	綾城 初穂 (35)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 教育心理学 カウンセリング論 臨床心理学ゼミⅠ 臨床心理学ゼミⅡ 臨床心理学ゼミⅢ 臨床心理学ゼミⅣ 卒業論文
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	羽鳥 修 (63) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ 心理学の基礎 心理実習 発達心理学Ⅰ 科目廃止 発達心理学 現代心理学実習 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 心理実習
専	准教授	石津 和子 (41) <平成30年4月>
		心理実習 産業・組織心理学 感情・人格心理学 科目廃止 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論
専	講師	綾城 初穂 (35)
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 科目廃止 教育相談 心理学ゼミⅠ 心理学ゼミⅡ 心理学ゼミⅢ 心理学ゼミⅣ 卒業論文 公認心理師の職責 関係行政論 心理実習
兼任	教授	光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	羽鳥 修 (62) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史Ⅰ アメリカの文化と歴史Ⅱ 世界のミュージアム
兼任	教授	加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語Ⅲ スペイン語Ⅳ 世界のミュージアム

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ ボランティア実習Ⅰ
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 比較文化 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ
兼担	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月>
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼担	教授	松村 良 (55) <平成30年4月>
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼担	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼担	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼担	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅱ
兼担	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼担	教授	佐藤 勉 (51) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	橘田 布佐子 (60) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ
兼担	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月>
		海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼担	教授	松村 良 (55) <平成30年4月>
		日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼担	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼担	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼担	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅱ
兼担	教授	福王 守 (52) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼担	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼担	准教授	橘田 布佐子 (60) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 住空間デザイン入門Ⅰ 住空間デザイン入門Ⅱ
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除
兼任	助教	山崎 陽菜 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 学校心理学 心理学英語講読
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ 対人援助論Ⅰ 対人援助論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 教育・学校心理学 科目削除
兼任	講師	大谷 華 (58) <平成30年4月>
		心理学英語講読
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 心理学的支援法Ⅰ 心理学的支援法Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月>
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月>
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月>
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月>
		物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月>
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月>
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わかな (38) <平成30年4月>
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月>
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月>
		言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月>
		キャリアリテラシー

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月>
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月>
		数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月>
		地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月>
		物質と化学
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月>
		色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月>
		進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わかな (38) <平成30年4月>
		進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月>
		進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月>
		言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月>
		キャリアリテラシー

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月>
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語 A I 日本語 A II 日本語 A III 日本語 A IV
兼任	講師	境 希里子 (59) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語 B I 日本語 B II 日本語 B III 日本語 B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II 英語 A III 英語 A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II 英語 A III 英語 A IV
兼任	講師	大石 瑠子 (33) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II 英語 A III 英語 A IV

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月>
		女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月>
		スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語 A I 日本語 A II 日本語 A III 日本語 A IV
兼任	講師	境 希里子 (60) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語 B I 日本語 B II 日本語 B III 日本語 B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II 英語 A III 英語 A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II 英語 A III 英語 A IV
兼任	講師	
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月>
		英語 B I 英語 B II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月>
		英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 科目削除 科目削除
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 英語A I 英語A II
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月> 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月> 英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月> 英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月> 科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月> 科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Rod Caldwell (32) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Jason Takada (49) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
兼任	講師	クレイ・サイモン (52) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月>
		フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月>
		ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月>
		スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	奥野 真之 (40) <平成31年4月> 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ
兼任	講師	杉原光雄 (56) <平成31年4月> 心理学実験実習Ⅰ 心理学実験実習Ⅱ 心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ 認知心理学 言語心理学
兼任	講師	永房 典之 (46) <平成31年4月> 社会心理学Ⅰ 社会心理学Ⅱ 消費者心理学 発達臨床
兼任	講師	岸 太一 (48) <平成31年9月> 健康心理学
兼任	講師	木村 駿介 (29) <平成31年9月> スポーツ心理学
兼任	講師	石原 房子 (37) <平成31年9月> 高齢者心理学
兼任	講師	落合 舞子 (34) <平成31年4月> 心理検査法Ⅰ 心理検査法Ⅱ 医療心理学
兼任	講師	藤村 敬二 (66) <平成31年4月> 精神医学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	講師	奥野 真之 (39) <平成31年4月> 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	杉原光雄 (55) <平成31年4月> 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学統計法 心理データ解析法 知覚・認知心理学 学習・言語心理学
兼任	講師	永房 典之 (45) <平成31年4月> 社会・集団心理学(社会・集団・家族心理学Ⅰ) 対人関係論 消費者心理学 発達臨床
兼任	講師	岸 太一 (47) <平成31年9月> 健康・医療心理学
兼任	講師	小松 陽香 (26) <平成31年9月> スポーツ心理学
兼任	講師	石原 房子 (36) <平成31年9月> 発達心理学Ⅱ(高齢者心理学)
兼任	講師	落合 舞子 (33) <平成31年4月> 心理的アセスメントⅠ 心理的アセスメントⅡ 人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	藤村 敬二 (65) <平成31年4月> 精神疾患とその治療

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	玉木 宗久 (47) <平成31年4月> 神経心理学
兼任	講師	石島 このみ (32) <平成31年9月> 比較行動学
兼任	講師	乙幡 美佐江 (48) <平成31年4月> 社会福祉援助論 障害者援助論
兼任	講師	平野 真理 (35) <平成32年4月> 臨床心理学実習
兼任	講師	滝澤 雅史 (43) <平成31年4月> 博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (45) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63) <平成31年4月> 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	津曲 真一 (47) <平成31年4月> 日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (40) <平成31年9月> 日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42) <平成31年4月> 西洋美術の旅 I
兼任	講師	衆 和沙 (36) <平成31年9月> 西洋美術の旅 II
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月> 日本の文化財 I 日本の文化財 II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	玉木 宗久 (46) <平成31年4月> 神経・生理心理学
兼任	講師	平田 修三 (33) <平成31年9月> 比較行動学
兼任	講師	乙幡 美佐江 (47) <平成31年4月> 福祉心理学 障害者・障害児心理学
兼任	講師	平野 真理 (33) <平成32年4月> 臨床心理学実習 心理演習
兼任	講師	滝澤 雅史 (42) <平成31年4月> 博物館資料論 博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (44) <平成31年4月> 地域文化概論 歴史地理学 博物館展示論 博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (62) <平成31年4月> 博物館教育論 博物館情報・メディア論 博物館実習B
兼任	講師	長谷川 幸一 (36) <平成31年4月> 日本文化史 I 日本文化史 II
兼任	講師	鈴木 伸子 (38) <平成31年9月> 日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (41) <平成31年4月> 西洋美術の旅 I
兼任	講師	衆 和沙 (35) <平成31年9月> 西洋美術の旅 II
兼任	講師	加島 勝 (62) <平成31年4月> 日本の文化財 I 日本の文化財 II

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	今野 慶信 (50) <平成31年4月>
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月>
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	今野 慶信 (49) <平成31年4月>
		歴史考古学
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月>
		文化交流史Ⅰ 文化交流史Ⅱ

- (注)
- ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

<人間総合学群 心理学類>

【平成30年度】

- ・富士原教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・松岡教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加、科目廃止。
- ・糟谷教授、科目調整のため、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・須藤教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目削除、科目廃止、科目追加。削除科目「心理学入門Ⅱ」は富士原教授、松岡教授に担当者変更。
- ・藤城教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・藤川教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目追加。
- ・丸山准教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加。
- ・石津准教授、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加。
- ・綾城講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、科目廃止、科目追加、課程認定委員会指摘の理由により、科目名称変更（「教育相談」）。
- ・篠兼担教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木兼担准教授に担当者変更。
- ・中野兼担教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川兼担准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・鈴木兼担准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加。
- ・大貫兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川兼担講師、講師から准教授へ昇格。
- ・小久保兼担助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼担教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼担教授に担当者変更。
- ・田中兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・竹田兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更、本人都合の理由により、「心理学英語講読」を削除、大谷兼任講師に担当者変更。
- ・森脇兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、就任辞退の理由により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノロ兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・奥野兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・杉原兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・永房兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・岸兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・木村兼任講師、就任辞退の理由により、「スポーツ心理学」を小松兼任講師に担当者変更。
- ・石原兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・落合兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・藤村専任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・玉木専任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・石島兼任講師、就任辞退の理由により、「比較行動学」を平田兼任講師に担当者変更。
- ・乙幡兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目名称変更。
- ・平野兼任講師、公認心理師法施行規則制定の理由による、科目追加。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
8	3	1	0	12	8	3	1	0	12	8	3	1	0	12
(8)	(3)	(1)	(0)	(12)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 （平成17年以前の 就任者は70歳） 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

<人間総合学群 心理学類>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし 留意事項	該当なし 未履行	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学群 心理学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 届出時の心理学類の卒業要件及び履修方法</p> <p>・人間総合学群 教養教育科目（全学類共通）：必修科目20単位（初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目）、選択必修科目16単位（入門科目、教養知科目）を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・心理学類 専門教育科目：必修科目10単位（基本科目）、選択必修科目14単位（現代心理学関連科目、臨床心理学関連科目、専門ゼミ科目）を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目（36単位以上）、専門教育科目（62単位以上）、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位（年間）</p>	<p>① 公認心理師法が平成29年9月15日に施行され、それに伴い、公認心理師法施行令、及び公認心理師法施行規則が制定され、同日より施行された。上記の理由により、届出時の心理学類の卒業要件及び履修方法を以下のように変更した。</p> <p>・人間総合学群 教養教育科目（全学類共通）：必修科目20単位（初年次教育科目、建学の精神を学ぶ科目、就業力育成科目、日本語育成科目、外国語育成科目、情報力育成科目および特設科目）、選択必修科目16単位（入門科目、教養知科目）を含め教養教育科目から36単位以上履修すること</p> <p>・心理学類 専門教育科目：必修科目14単位（基本科目、専門ゼミ科目）を含め62単位以上履修すること</p> <p>・以上、教養教育科目（36単位以上）、専門教育科目（62単位以上）、他学類専門教育科目をあわせて計124単位以上履修すること</p> <p>・履修科目の登録上限46単位（年間）</p> <p>今後、変更内容に沿って、専門教育科目を運用していく。詳細は、別添資料2、3、参照</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」、参照）</p> <p>本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼 2. 学内公開授業の運営 3. ファカルティ・ディベロップメントの実施 4. 教育研究業績記録の作成 <p>本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。</p>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。
2. 平成29年度の開催状況を以下に記す。
 - ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
 - ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
 - ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内、等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業
本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。
2. ファカルティ・ディベロップメント
本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回、実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD活動分科会を展開させている。現在は、歴史関連科目FD分科会、第二外国語FD分科会等、15の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。
3. 教育研究業績記録の作成
本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45
(参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19)

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42
(参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5)

2. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」

参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」

田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」

参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」

田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」

参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出

人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出

再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

3. 教育研究業績記録の作成

人文学部、人間健康学部、専任教員、平成29年度末までに全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度はまた、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学生確保

人間総合学群の設置届出が受理されてから、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを周知させるように努めた。

本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

2. 新入生オリエンテーション（学群制の周知）

新入生に対して、4月2日から5日の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類教育の目的と特色、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学力テスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書（駒沢女子大学教科書シリーズ）を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。本年度は、予定より1クラス少ない、20クラスを設けた。ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次に降所に所属する学類を再確認する（前年度の12月頃を予定）。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」は、就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。この科目は、建学の精神を学ぶ科目として位置づけられている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・「自己点検評価報告書」を平成32年5月1日に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成32年5月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成31年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30 年 8 月 1 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

7 その他全般的事項 別添資料 1

駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

(担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

(事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じてこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

(定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

(意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

- 附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。
- 附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。
- 附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものととして、平成16年7月1日から施行する。
- 附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。
- 附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。
- 附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。

7 その他全般的事項 別添資料2

人間総合学群 心理学類 専門教育科目新旧対照表 (平成29年4月設置届出内容からの変更状況)

【設置届出内容 平成29年4月提出】

【変更後】 (平成30年4月より)

(人間総合学群 心理学類)

(人間総合学群 心理学類)

赤字：変更箇所

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			対応記号	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			変更内容	大学における必要科目
			必修	選択	自由					必修	選択	自由		
人間総合学群 心理学類 専門教育科目	基本科目	心理学の基礎	2前	2		d	(基本科目)	心理学の基礎	2前	2				
		心理学実験実習 I	2前	2			心理学の基礎	2前	2			名称変更	6	
		心理学実験実習 II	2後	2			心理学実験 I	2後	2			名称変更	6	
		心理学研究法 I	3前	2			心理学実験 II	2後	2				4	
		心理学研究法 II	3後	2			心理学研究法 I	3前	2				4	
							心理学研究法 II	3後	2					2
							心理学概論	2前	2	2			追加	3
							臨床心理学概論	2前	2	2			名称変更	2
							心理学統計法	2前	2	2			名称変更	5
							心理データ解析法	2後	2	2			名称変更	
							心理学英語講読	3後	2	2				
					心理統計法 I	2前	2							
					心理統計法 II	2後	2							
					心理学英語講読	3後	2							
					文芸と心理	2・3・4前	2							
					言葉と心理	2・3・4後	2							
					学外実習	3後	1							
		小計 (11科目)	-	10	11	0		小計 (10科目)	-	10	10	0		
		現代心理学関連科目	認知心理学	2・3前	2		人間総合学群 心理学類 専門教育科目	(基礎心理学)	知覚・認知心理学	2・3前	2		名称変更	7
	社会心理学 I		2前	2		知覚・認知心理学		2・3前	2			名称・配当変更	8	
	家族心理学		2・3後	2		学習・言語心理学		2・3後	2			名称・配当変更	9	
	発達心理学 I		2前	2		感情・人格心理学		2・3前	2			名称・配当変更	10	
	高齢者心理学		2・3・4後	2		神経・生理心理学		2・3前	2			名称・配当変更	11	
						社会・集団心理学 (社会・集団・家族心理学 I)		2・3前	2			名称・配当変更	11	
						家族心理学 (社会・集団・家族心理学 II)		2・3後	2			名称変更	12	
						発達心理学 I		2・3前	2			配当変更	12	
						発達心理学 II (高齢者心理学)		2・3後	2			名称・配当変更	12	
						障害者・障害児心理学		2・3前	2			名称・配当変更	13	
						比較行動学		2・3後	2			配当変更		
						発達臨床		2・3後	2			配当変更		
						対人関係論		2・3後	2			名称・配当変更		
						現代心理学実習		3前	2					
						社会心理学 II		2後	2					
						現代心理学実習		3前	2					
						対人援助論 I		3・4前	2					
						対人援助論 II		3・4後	2					
					(実践心理学A)	心理的アセスメント I	3・4前	2		名称変更	14			
					心理的アセスメント II	3・4後	2			名称変更	14			
					心理学的支援法 I	3・4前	2			名称変更	15			
					心理学的支援法 II	3・4後	2			名称変更	15			
					心理療法論 I	3・4前	2							
					心理療法論 II	3・4後	2							
					臨床心理学実習	3後	2			配当変更				
					(実践心理学B)	健康・医療心理学	2・3・4後	2		名称変更	16			
					福祉心理学	2・3・4後	2			名称変更	17			
					教育・学校心理学	2・3・4前	2			名称変更	18			
					司法・犯罪心理学	2・3・4前	2			名称・配当変更	19			
					産業・組織心理学	2・3・4後	2			名称変更	20			
					消費者心理学	2・3・4前	2							
					コミュニティ心理学	2・3・4後	2							
					スポーツ心理学	2・3・4後	2							
					(心理学関連科目)	人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前	2		名称変更	21			
					精神疾患とその治療	2・3・4前	2			名称変更	22			
					精神病跡学	2・3・4前	2							
					教育相談	2・3・4後	2			名称変更				
					文芸と心理	2・3・4前	2							
					言葉と心理	2・3・4後	2							
					発達心理学 II	2後	2			廃止				
					犯罪心理学 II	2・3後	2			廃止				
					教育心理学	2・3・4前	2			廃止				
	小計 (19科目)	-	0	38	0		小計 (34科目)	-	0	68	0			

7 その他全般的事項 別添資料3

人間総合学群 心理学類 専門教育科目（教養教育科目1科目を含む） 授業科目の概要（新旧対照表）						
(人間総合学群 心理学類)						
科目区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）			
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
基本科目	心理学の基礎	心理学のさまざまな領域に関わる専門的なテーマについて理解を深め、2年次以降に配当されるより専門性の高い講義および専門ゼミを受講する準備段階として必要な知識習得を行う。具体的には「学習」、「発達」、「思考・言語」、「動機づけ」、「知能とパーソナリティ」、「社会的行動」、「心理学史」といったテーマを取り上げ、心理学というものが個人の内的世界だけでなく、対人相互的、社会相互的な視点から捉えられるべきものであることを知り、様々な応用が可能な学問であることを理解できるようにする。	心理学の基礎	変更無し		
	心理学実験実習Ⅰ	心理学実験実習では、実証的科学である心理学の実験研究を理解し、心理学実験の遂行上必要となる基礎的な実験技術を習得する。実習内容は、実験心理学として総称される感覚・知覚、学習、記憶、思考領域の基礎的実験であり、複数の実験課題を心理学実験室において行う。そして、問題（仮説）の設定から実験手続きの実施、資料（データ）分析、レポート作成に至る、一連の心理学実験の進め方を学ぶ。	心理学実験Ⅰ	心理学実験Ⅰでは、実証的科学である心理学の実験研究を理解し、心理学実験の遂行上必要となる基礎的な実験技術を習得する。実習内容は、実験心理学として総称される感覚・知覚、学習、記憶、思考領域の基礎的実験であり、複数の実験課題を心理学実験室において行う。そして、実験の計画立案から実験手続きの実施、統計に関する基礎的な知識を用いた資料（データ）分析、レポート作成に至る、一連の心理学実験の進め方を学ぶ。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更	
	心理学実験実習Ⅱ	心理学実験実習Ⅰに引き続きⅡでは、実証的科学である心理学の実験研究を理解し、心理学実験の遂行上必要となる基礎的な実験技術を習得する。実習内容は、実験心理学として総称される学習、記憶、思考、社会、性格領域の基礎的実験であり、複数の実験課題を心理学実験室において行う。そして、問題（仮説）の設定から実験手続きの実施、資料（データ）分析、レポート作成に至る、一連の心理学実験の進め方を学ぶ。	心理学実験Ⅱ	心理学実験実習Ⅰに引き続きⅡでは、実証的科学である心理学の実験研究を理解し、心理学実験の遂行上必要となる基礎的な実験技術を習得する。実習内容は、実験心理学として総称される学習、記憶、思考、社会、性格領域の基礎的実験であり、複数の実験課題を心理学実験室において行う。そして、実験の計画立案から実験手続きの実施、統計に関する基礎的な知識を用いた資料（データ）分析、レポート作成に至る、一連の心理学実験の進め方を学ぶ。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更	
	心理学研究法Ⅰ	心理学の研究手法について、基本的な考えから、具体的実施方法や研究資料の分析方法を解説する。本講義では、実験法、調査法、さらに近年日常生活の心理研究が注目される中で多く用いられている観察法について、その方法論と手続きを解説する。次にそれぞれの手法が使われた具体的研究例を検討することにより、手法の利点や問題点を考察する。なお、研究によって得られた心理学データ（資料）の分析について、統計的な理解を含め、その分析手続きも論議する。	心理学研究法Ⅰ	心理学における実証的研究方法（量的研究及び質的研究）について、基本的な考えから、具体的実施方法や研究資料の分析方法を解説する。本科目では、実験法、調査法、観察法について、その方法論と手続きを解説する。次にそれぞれの手法が使われた具体的研究例を検討することにより、手法の利点や問題点を考察する。なお、研究によって得られた心理学データ（資料）の分析を行うことを通じて、データを用いた実証的な思考方法を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による講義等内容一部変更	
	心理学研究法Ⅱ	心理学研究の重要なデータ分析方法のひとつである、質的研究法の入門授業である。質的研究法は、調査の際だけではなく、カウンセリングや心理療法などの実践活動の過程を分析するためにも必要である。本科目では、グラウンデッド・セオリー・アプローチ、テキスト解釈や現象学的アプローチ、エスノグラフィ、会話分析などの研究法の概説と研究例の紹介を通じて、質的研究法の基礎を理解する。また、実際に質的分析法を用いた課題の実施を通して、方法の習得を目指す。	心理学研究法Ⅱ	心理学における実証的研究方法（量的研究及び質的研究）について、質的研究法に焦点をあてた授業である。グラウンデッド・セオリー・アプローチ、テキスト解釈や現象学的アプローチ、エスノグラフィ、会話分析などの研究法の概説と研究例の紹介を通じて、質的研究法の基礎を理解する。また、実際に質的分析法を用いた課題を行うことを通じて、データを用いた実証的な思考方法を身につける。また、研究における倫理についても取り上げる。	公認心理師法施行規則制定の理由による講義等内容一部変更	
				心理学概論	心理学とは何を対象として、どのようなことを解明しようとしている学問領域なのかというような、心理学の成り立ちについて、心理学の歴史も踏まえながら概略を理解するのが目的である。また、人の心の基本的な仕組み及び働きについての主要な理論を学び、心がどのように機能しているのか全体像をつかむ。さらに、人の誕生から死に至るまで、心がどのように発達、変化していくかについても全体的な視点から学ぶ。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目追加
	臨床心理学Ⅰ	臨床心理学の基礎として、人の心の構造や機能に関する理論を学ぶ。日常生活で何もなくやり過ごしている些細な失敗などの錯誤行為や睡眠時に見る夢、昔話や小説といった文学作品に描かれている人物像などの具体的な素材を題材にして、人の心の中では意識的に制御している合理的な領域と無意識的に働いている非合理的な領域が相互作用しているという力動的な見方を理解するのが目的である。あわせてS.フロイトやO.G.ユングなどの力動的心理学の創始者たちが人の心をどのように考えていたのか、その歴史的意義についても学ぶ。	臨床心理学概論	臨床心理学がどのように形成されてきたのか、臨床心理学の研究史を踏まえながらその成り立ちについて学ぶことを目的とする。特に、精神分析理論、認知行動理論、人間学的理論など臨床心理学の代表的な理論を取り上げて、その意義や狙い、長所と短所などについて学び、援助を必要とする者のパーソナリティや生活環境などから広い視点でアセスメントし、ニーズに応じた適切な支援の方法を実施していくための基礎的な知識を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更	
	心理統計法Ⅰ	人間の心を研究対象とする心理学も実証的科学の一領域として、観察・実験・調査などによって得られた実際の研究資料（観測データ）が必要であり、これに基づいて実証的に研究をすすめるなければならない。本講義では、「観測データをどのように整理し、分析し、推論し、結論づけていくかに関する方法（統計法）」の習得を目的として、統計法習得のはじめの一步を踏み出す学生向けの内容を扱う。	心理学統計法	明確にとらえることが困難な人間の心を研究対象とする心理学は、実証的科学の一領域として、観察・実験・調査などによって得られた実際の研究資料（観測データ）が必要であり、これに基づいて実証的に研究をすすめるなければならない。本講義では、「観測データをどのように整理し、分析し、推論し、結論づけていくか、統計に関する基礎的な知識の習得を目的とし、心理学で用いられる統計手法を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更	
	心理統計法Ⅱ	心理学の研究を進める上で必要とされる「データの処理と解析」の統計的理解を深めることが、本授業の目標である。まずコンピュータを使ったデータの入力・加工・統計処理を説明し、基礎計算量、カイ2乗検定、平均値の差の検定、分散分析、回帰分析など統計分析を解説する。基本的な統計的考え方を理解するとともに、各自が統計解析ソフトを使って確認することを望む。	心理データ解析法	変更無し	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更	

科目 区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
	心理学英語講読	心理学英語講読は、英語をとおりて心理学を理解する能力を高めることをと目的とする。このため次の心理学において基礎的なトピックス（英文）を教材として講読演習を行う。「1. Introduction to background of psychology」「2. Nature vs. Nurture」「3. Conditioning」「4. The Developing Child」「5. Language Development」「6. Health, Mind and Behavior」「7. Intellectual and Social Development」「8. Personality, Adjustment and Stress」「9. Defense Mechanisms」「10. Adolescence」「11. Mental Disorders」「12. Psychotherapies」「13. The Life Cycle」「14. Testing and Measurements」。	心理学英語講読	変更無し	
基礎 心理 学	認知心理学	人間の認知機能の解明を目指す認知心理学について、その歴史的背景から成立、さらに現代までの発展を概観し、その方法論的特徴を講義する。次に、人間の主要な認知機能である視覚、記憶、学習、問題解決、思考等をテーマとした代表的研究について論じ、認知心理学のアプローチにより新しく解明された事実と、事実から構成された人間の認知機能に関するモデルについて考察する。また、実社会への応用例として、教育場面、産業場面での実例を示し、認知心理学的知見がどのように実社会に具体化され、生かされているかを検討し、今後の応用可能性について考察する。	知覚・認知心理学	人間の知覚及び認知機能の解明を目指す知覚及び認知心理学について、その歴史的背景から成立、さらに現代までの発展を概観し、その方法論的特徴を講義する。人の感覚・知覚等の機序及びその障害について学ぶ。また、実社会への応用例として、教育場面、産業場面での実例を示し、知覚及び認知心理学的知見がどのように実社会に具体化され、生かされているかを検討し、今後の応用可能性について考察する。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	言語心理学	人間と動物と分ける最も大きな違いは、その卓越した思考・言語能力に求められる。人は、考えることで、適応的な行動を選び、ことばを使って複雑な情報を伝達することができる。人はどのようにして考え、ことばを操ることができるのか、またそうした能力は、どのような性質を持ち、どのように発達するのか、といった言語能力のさまざまな側面について、認知心理学、発達心理学、動物心理学、神経心理学などの知見を交えながら、思考・言語の性質とその基盤についての理解を深めることを目的とする。	学習・言語心理学	人間と動物と分ける最も大きな違いは、その卓越した学習及び言語能力に求められる。人は、考えることで、適応的な行動を選び、ことばを使って複雑な情報を伝達することができる。人の行動が変化する過程や、言語の習得における機序について、認知心理学、発達心理学、動物心理学、神経心理学などの知見を交えながら、学習・言語の性質とその基盤についての理解を深めることを目的とする。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	人格心理学Ⅰ	人間理解の基礎となる、人格心理学の諸理論について学ぶ。パーソナリティとはどのような概念か、パーソナリティを捉える視点としての類型論と特性論の特徴、パーソナリティの測定法、パーソナリティの発達、対人関係とパーソナリティ、文化や社会のパーソナリティへの影響など、さまざまな角度からパーソナリティの成り立ちを理解する。また、臨床心理学的援助の基礎となる、精神分析等の人格構造論についても学ぶ。	感情・人格心理学	人間理解の基礎となる、感情及び人格心理学の諸理論について学ぶ。感情に関する理論及び感情喚起の機序、そして感情が行動に及ぼす影響について理解を深める。また、人格の概念及び形成過程、そして人格の類型、特性等、さまざまな角度からパーソナリティの成り立ちを理解する。また、臨床心理学的援助の基礎となる、精神分析等の人格構造論についても学ぶ。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	神経心理学	本講義は、「こころ」をつくりだしている脳について生理学的理解を高めると共に、脳を解明する脳科学の現状を理解することを目的とする。授業では、「神経細胞と脳の構造」「機能の局在」「視覚と脳」「言語と脳」「記憶と脳」「脳研究の現状」について説明を行う。また、臨床的な神経心理学の古典的研究である「分離脳患者の研究」「失語症の研究」などについても説明し、言語に係わる最近のトピックスを紹介する。	神経・生理心理学	本科目は、「こころ」をつくりだしている脳神経系の構造及び機能を理解することを目的とする。授業では、記憶、感情等の生理学的反応の機序を含めて、神経細胞と脳の構造、機能の局在、視覚と脳、言語と脳、脳研究の現状等についても説明を行う。また、高次脳機能障害の概要などについても説明し、脳神経系の障害と症状との関係について理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	社会心理学Ⅰ	社会と個人、あるいは個人間の相互作用を解明する社会心理学の視点から、「社会化」の問題を解説し、「社会と個人との関係のあり方」について理解を高める。本講義では、「個人はどのような発達課題を経て社会化していくのか」、「社会化の過程にはどのような人間が関わっているのか」、「社会化が阻害されるとどのような問題が生じるのか」をテーマとし、その現象と、家族・学校・地域社会など社会と個人との関係のあり方について論ずる。	社会・集団心理学（社会・集団・家族心理学Ⅰ）	社会と個人、あるいは個人間の相互作用を解明する社会心理学の視点から、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程について学ぶことを目的とする。本講義では、「個人はどのような発達課題を経て社会化していくのか」、「社会化の過程にはどのような人間が関わっているのか」、「社会化が阻害されるとどのような問題が生じるのか」などのテーマを取り上げながら、人の態度及び行動について理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	家族心理学	非婚化、少子高齢化、離婚の増加、家庭内暴力、児童虐待など諸問題を抱えている現代の家族の形態、機能、役割について理解を深める。こうした理解を踏まえて家庭構成員の発達課題及び家族内の人間関係や社会とのかわりについて、家族ライフサイクルとの関連で考察する。また、離婚や家庭内暴力、虐待などの家族内の人間関係における葛藤を理解し、そうした諸問題への援助方法について学ぶ。	家族心理学（社会・集団・家族心理学Ⅱ）	非婚化、少子高齢化、離婚の増加、家庭内暴力、児童虐待など諸問題を抱えている現代の家族の形態、機能、役割について学ぶことを通じて、家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について学ぶことを目的とする。また、離婚や家庭内暴力、虐待などの家族内の人間関係における葛藤を理解し、そうした諸問題への援助方法について学ぶ。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	発達心理学Ⅰ	発達心理学Ⅰでは、ピアジェやコールバーグの発達理論を参考にしつつ発達心理学的視点から、誕生から児童期に至る子供の心理過程について解説する。また講義のなかでは、発達の連続性、すなわち「成人の精神構造は子供のそれを基礎として発展的に構築される」ことを理解し、大人の内なる幼子との対話は、自分自身の精神をより深く理解することにつながることを学んでいく。	発達心理学Ⅰ	発達心理学Ⅰでは、認知機能の発達及び感情・社会性の発達について学ぶことを目的とする。講義のなかでは、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について理解を深めていく。また、発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方についても学び、適切な支援についての基礎的な知識を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による講義等内容一部変更
	高齢者心理学	中年期以降の高齢者の心理を学ぶ。加齢にともなう生理的な変化や心理的な変化について学び、高齢期における社会的な生活環境や典型的なライフイベントが与える影響などを考慮しながら、高齢期をいかに豊かに生きるかということを考える。また、認知症など高齢期に顕著な精神的な疾患を学び、その心理的・社会的サポートのあり方について理解を深める。	発達心理学Ⅱ（高齢者心理学）	発達心理学Ⅱ（高齢者心理学）では、中年期以降の高齢者の心理を学ぶ。加齢にともなう生理的な変化や心理的な変化について学び、高齢期における社会的な生活環境や典型的なライフイベントが与える影響などを考慮しながら、高齢期をいかに豊かに生きるかということを考える。また、認知症など高齢期に顕著な精神的な疾患を学び、その心理的・社会的サポートのあり方について理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	障害者援助論	身体障害者福祉を中心として基本資料および福祉制度を概説する。具体的には、自立生活運動、介助論、ボランティア論、施設福祉と地域福祉、家族支援・生活支援、障害者文化と障害学などのトピックスを紹介しながら近年のサービス提供・利用に関する動向に触れる。この科目では明日の自分問題になるかもしれない、あるいは家族や知人が抱えている問題かもしれないという視点から、障害者の問題を身近で具体的な課題として考えていきたい。	障害者・障害児心理学	本科目は、身体障害、知的障害及び精神障害の概要について学ぶことを目的とする。具体的には、自立生活運動、介助論・ボランティア論、施設福祉と地域福祉、家族支援・生活支援、障害者文化と障害学などのトピックスを紹介しながら近年のサービス提供・利用に関する動向に触れる。また、障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援についても理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更

科目 区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
	比較行動学	人間の行動を理解するために、動物の行動と比較しながら検討する。動物の進化や生態について学ぶことにより、動物の種としての人間が進化の過程における位置づけやその特殊性についての理解を深める。とりわけ言語の問題、自己意識の問題など、人間を他の動物から際立たせている側面について学ぶ。また、攻撃性についても動物との比較において学び、人間の攻撃性や道徳性などについて理解を深める。	比較行動学	変更無し	
	発達臨床	乳幼児期から児童期にかけて子どもが示すさまざまな問題を発達の視点からとらえる。乳幼児における授乳・摂食障害や睡眠障害、排泄障害などの生活習慣上の諸問題について、その実態や生起メカニズムについて学ぶ。とりわけ母子のコミュニケーションの様相について焦点をあてて、良好な母子関係がどのようなものなのかということについて理解を深める。また、過度のしつけや虐待などの母子関係の問題についても学ぶ。	発達臨床	変更無し	
	社会心理学Ⅱ	この講義では、初対面の人の印象や偏見、友人や恋人など親しい人との関係の成立・維持・崩壊といった「他者」、学校や会社などの「組織」、うわさや流行などの集合現象である「集団」、東洋文化や西洋文化といった「文化」まで幅広い心理を対象にし、社会心理学の中でも、「他者」・「集団」・「組織」・「文化」の心理への関心と理解の幅を深めることを目的とする。	対人関係論	本科目は、初対面の人の印象や偏見、友人や恋人など親しい人との関係の成立・維持・崩壊といった「他者」、学校や会社などの「組織」、うわさや流行などの集合現象である「集団」、東洋文化や西洋文化といった「文化」まで幅広い心理を対象にし、対人関係の心理への関心と理解の幅を深めることを目的とする。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	現代心理学実習	心理学の基礎的な実験技術をもとに、より実践的な事象を科学的に分析するための方法を習得する。実習内容は、行動観察、協同的問題解決、質問紙調査の実際、コミュニケーション行動の記録と分析、生理的指標を用いた実験の構想と実施である。問題・仮説の設定から実験・調査の実施、取得データの分析、レポート作成、プレゼンテーションに至る、一連の心理学実験の進め方に従って授業を展開する。毎回授業に積極的に参加して実験・調査を実施に携わり、取得データの分析方法や結果について思考する姿勢を身につけてもらいたい。	現代心理学実習	変更無し	
実践心理学 A	心理検査法Ⅰ	本講義では、心理検査法の基礎と心理検査法を利用するにあたって必要とされる種々の知識を学ぶ。また、心理検査法の歴史、目的、種類、特に質問紙法を中心に、統計的技法の基礎、心理検査法の作成・標準化過程について概観し、客観的、実証的に心理検査法を活用する姿勢を身につける。実際に心理検査法を体験し、その有用性と限界について実践的に理解し、さらに、実際の心理援助の場における検査の活用例から、心理検査の意義と役割に関する理解を深めることを目指したい。	心理的アセスメントⅠ	本科目は、心理的アセスメントの目的及び倫理について学ぶことを目的とする。心理的アセスメントの観点及び展開について理解を深める。また、心理検査法の歴史、目的、種類について学び、特に質問紙法を中心に、統計的技法の基礎、心理検査法の作成・標準化過程について概観的、実証的に心理検査法を活用する姿勢を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	心理検査法Ⅱ	本講義では、投映法を中心に、知能検査・発達検査などについて詳しい説明を行う。臨床心理学の領域では、パーソナリティのアセスメントが重要である。心理検査を通して精神状態を査定し行動を分析する方法、及び検査法を心理学研究法の一つとして用いる方法について教授したい。投映法検査の被験者としての体験、検査者としての体験を通して、投映法に対する理解を深め、検査としての投映法だけでなく、心理援助における投映法の役割を考察する。	心理的アセスメントⅡ	本科目は、心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査）について学ぶことを目的とする。観察、面接及び心理検査を通して精神状態を査定し行動を分析する方法について理解を深め、また、適切な記録及び報告の仕方を身につける。特に、投映法検査の被験者としての体験、検査者としての体験を通して、投映法に対する理解を深め、心理援助における投映法の役割を考察する。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	対人援助論Ⅰ	「人が人を助ける・支える」とはどのようなことか。対人援助論では、ソーシャルワークの視点に立ち、対人援助に関する知識や技術を学習する。Ⅰでは、個別援助技術の定義、原則、過程について押さえてから、対人援助で用いられる基本的な理論・アプローチを学ぶ。それぞれに短い事例を紹介しながら、発表、討議を行い、理解を深めていく。対人援助に関する知識と技術を習得し、社会福祉援助活動に活用できる能力と態度を育てることを目標とする。	心理学的支援法Ⅰ	本科目は、代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界について学ぶことを目的とする。良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法を習得し、心理学的支援活動に活用できる能力と態度を育てる。また、来談者に対して個別に支援を行う従来型の活動のみならず、訪問による支援や地域支援の意義についても理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	対人援助論Ⅱ	「人が人を助ける・支える」とはどのようなことか。対人援助論では、ソーシャルワークの視点に立ち、対人援助に関する知識や技術を学習する。Ⅱでは、Ⅰで学んだエコロジカルアプローチ、行動アプローチ、ナラティブアプローチの理解を深めるため、長い事例を用いて、グループディスカッション等により参加型の学習を図り、対人援助を実践的に学んでいく。対人援助論について、実践的、主体的に考えられるようになることを目標とする。	心理学的支援法Ⅱ	本科目は、心理学的支援法Ⅰで学んだ代表的な心理療法並びにカウンセリングの理解を深めるため、比較的長い事例を用いたグループディスカッション等の参加型の学習方法を通して、対人援助を実践的に学んでいく。特に、プライバシーへの配慮や心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援なども取り上げる。また、予防的・啓蒙的な活動として、心の健康教育の意義や方法についても理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	心理療法論Ⅰ	本科目は、認知行動療法の理論と臨床的援助の方法の基礎を学ぶことを目標とする。まず、認知行動理論の特色、認知行動理論が成立した歴史的背景や他の理論との違いについて学ぶ。次に、認知行動モデルについて学んだ上で、事例検討を通して、認知の変容が行動の変容を生じさせるという認知行動療法の実態を理解する。また、日誌法や認知再構成法などの、認知行動療法のみならずさまざまな技法を自ら課題として実施してみることを通して、体験的にその有効性や限界について考察し、理解を深める。	心理療法論Ⅰ	変更無し	
	心理療法論Ⅱ	精神分析の創始者S.フロイトの業績について学び、無意識についての理解を深める。人間の心を自我、エス、超自我という構造から考え、心理的な問題をそれらの葛藤からとらえるという精神分析の基本的な理論を学ぶ。そして治療としての精神分析の設定とその目的について考察し、具体的な症例を通してその意義を理解できるようにする。とりわけ転移という精神分析的な治療のもっとも特徴的な現象やその取り扱いはについて理解を深める。	心理療法論Ⅱ	変更無し	
	臨床心理学実習	臨床心理学では、セラピストとクライアントの関係性が非常に重要となる。そのため、他者だけではなく、自分自身にも目を向けていくことがとても大切である。本授業は、幾つかの心理療法の技法や心理検査を通して、普段はあまり気にすることのない自分の諸側面に意識を向ける体験を得ることを目的とする。この際、自分ひとりでの気づきではなく、他者との関係の中で体験される気づきにも目を向ける。また、カウンセリングの基本である「話を聴く・聴いてもらう」ことの相互作用を体験的に学ぶ。	臨床心理学実習	変更無し	

科目区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人間総合学群 心理学類 専門教育科目 実践心理学B	健康心理学	本科目は、現代に生きる人々の健康の維持・増進や疾病の予防・治療、機能回復、健康管理システムなどの諸問題に対して、人のこころの健康的な側面に注目して考察することによって、健康心理学の基本知識と健康問題に関する見方・考え方を身につけることを目的とする。ストレスとストレスへの対処や、健康に対する価値観、態度、行動や健康回復・健康づくりへの支援について理解を深める。	健康・医療心理学	本科目は、ストレスと心身の疾病との関係、医療現場における心理社会的課題及び必要な支援、保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な支援、災害時等に必要となる心理に関する支援、などを学び、現代に生きる人々の健康の維持・増進や疾病の予防・治療、機能回復、健康管理システムなど健康・医療心理学の基本知識を身につけることを目的とする。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	社会福祉援助論	本科目は、臨床心理学的援助と社会福祉学的援助の近接領域について学ぶ。発達障害・適応障害・心身症など、生物学的・心理的・社会的に重複した問題を抱える人々に対して、心理学的に支援すると同時に、適切な社会的資源や医療的援助を導入して、対象者の生活の質を向上させていくサポートのあり方を学ぶ。また、精神障害者・身体障害者のリハビリテーションや児童福祉臨床の現状と課題について、実際の取り組み例を交えて学び、理解を深める。	福祉心理学	本科目は、福祉現場において生じる問題及びその背景、福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援について学ぶことを目的とする。発達障害・適応障害・心身症など、生物学的・心理的・社会的に重複した問題を抱える人々に対して心理学的に支援すると同時に、適切な社会的資源や医療的援助を導入して、対象者の生活の質を向上させていくサポートのあり方を学ぶ。また、虐待についての基本的知識を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	学校心理学	スクールカウンセリングに代表される、教育の分野における臨床心理学について学ぶ。学校というコミュニティの制度や組織の特徴、関連する法律、風土や文化など、児童・生徒を取り巻く環境について理解する。また、児童期・思春期の心理的発達と臨床的に生じやすい問題について理解する。そして、不登校やいじめなどの、実際に起こっている問題への対応法について、事例を交えて具体的に考察し、理解を深める。	教育・学校心理学	本科目は、教育現場において生じる問題及びその背景、教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について学ぶことを目的とする。学校というコミュニティの制度や組織の特徴、関連する法律、風土や文化など、児童・生徒を取り巻く環境について理解を深める。また、児童期・思春期の心理的発達と臨床的に生じやすい問題について理解を深める。そして、不登校やいじめなどの問題への対応法について、事例を交えて具体的に考察し、適切な支援につなげる実践力を養う。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	犯罪心理学Ⅰ	非行は社会を映す鏡と言われるように社会状況と無縁ではない。子どもの発達、家族関係、学校や地域社会といった多様な要因が絡み合って非行は発生する。本講義では臨床心理学的な観点から発生メカニズムや処遇を考察していくため、精神分析的視点（主に対象関係論、自己心理学）、認知行動論的視点等を学ぶ。また、地域社会、学校、仲間集団などのかかわりなども視野に入れていく。	司法・犯罪心理学	非行や犯罪は社会を映す鏡と言われるように社会状況と無縁ではない。子どもの発達、家族関係、学校や地域社会といった多様な要因が絡み合って非行は発生する。本科目では、犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識を学び、司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援の力を身につけることを目的とする。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	産業心理学	企業とそこで働く人々が抱えるさまざまな問題を心理学的に理解することを目標とする。また、心理学的方法を用いて、それらの問題を解決できるように援助する産業カウンセリングの方法について学ぶ。作業効率と安全、職業適性、モチベーションとリーダーシップ、メンタルヘルス対策、働く人たちのキャリア開発、職場におけるより良い人間関係や職場環境を作るための働きかけや援助など、実際の企業の取り組み例を踏まえて理解を深める。	産業・組織心理学	本科目は、職場における問題（キャリア形成に関することを含む。）に対して必要な心理に関する支援の力を身につけることを目的とする。組織における人の行動についての知識を学び、作業効率と安全、職業適性、モチベーションとリーダーシップ、メンタルヘルス対策、働く人たちのキャリア開発、職場におけるより良い人間関係や職場環境を作るための働きかけや援助など、実際の企業の取り組み例を踏まえて理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	消費者心理学	本科目では、消費者行動を心理学的に理解し、自らが「ユーザー側」として適切な消費行動を行うことと、「メーカー側」として消費者の心理を把握し、効果的にアピールする方法を身につけることを目標とする。消費者心理を捉えるマーケティングの方法、消費者心理に訴える商品企画とプレゼンテーションの手法、広告が消費者に与える心理的影響、接客サービスにおける効果的なコミュニケーションの方法、などについて学ぶ。	消費者心理学	変更無し	
	コミュニティ心理学	コミュニティ心理学の目標は、人の心の問題を、個人とその個人を取り巻くコミュニティ（集団）との関係という視点から理解することである。まず、危機理論など、コミュニティ心理学的な問題理解のための理論を学ぶ。そして、コンサルテーションやコラボレーションなど、実際に問題を予防するための方法や対応法について、事例を通して学ぶ。また、学校現場における支援、精神障害者に対する支援、虐待問題への支援など、さまざまなコミュニティの問題への支援方法について学んでいく。	コミュニティ心理学	変更無し	
	スポーツ心理学	現代社会では、競技としてのスポーツをはじめとして、教育としてのスポーツ、心身の健康増進のためのスポーツ、レクリエーションとしてのスポーツ、スポーツ観戦など、すべての人々がスポーツとのかかわりを持っている。本科目の目標は、スポーツのパフォーマンスに心がどのように関わっているのか、スポーツをすることが人の心にどのような影響を与えるか理解することである。スポーツと心の健康の関係、メンタル面の競技への影響、チームワークなどについて学ぶ。	スポーツ心理学	変更無し	
	医療心理学	医療の分野において、患者の心理を理解し、異職種や家族と協力しながら患者を支援するための臨床心理学的知識を学ぶことを目標とする。まず、身体と心の関係について、健康心理学の観点から学び、慢性疾患や成人病、依存症などの治療における心理学的アプローチの重要性を理解する。また、気分障害や統合失調症、不安障害に代表されるような各種の精神疾患の特徴と、それらの心理学的な査定方法と援助方法の基礎についても、事例を通じて学ぶ。	人体の構造と機能及び疾病	医療の分野において患者の心理を理解し、他職種や家族と協力しながら患者を支援するための臨床心理学的知識を学ぶことを目的とする。そのために、心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害について学び、がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病について理解を深める。また、そうした疾病に罹患した患者に対する心理学的アプローチの重要性を理解し、適切に支援する力を身につける。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	精神医学	統合失調症やうつ病などの気分障害、あるいは神経症と呼ばれていた種々の身体症状や不安症状、また人格障害など、精神医学が対象とする疾患の歴史的な変遷から現在もっとも多く使われている診断マニュアルであるDSMまでを総括的に学ぶ。主だった疾患の状態像を知り、鑑別のための基本的な視点を身につける。また、治療について、抗精神病薬や抗うつ薬、抗不安薬など精神科で使われている薬物についての基本的な理解を得ると同時に、薬物療法以外の精神科における治療的な関与について学ぶ。	精神疾患とその治療	精神疾患総論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。）を学ぶことを目的とする。統合失調症やうつ病などの気分障害、あるいは種々の身体症状や不安症状、また人格障害など、精神医学が対象とする疾患の歴史的な変遷から現在もっとも多く使われている診断マニュアルであるDSMまでを総括的に学ぶ。また、治療について、抗精神病薬をはじめとする薬物による心身の変化について学ぶ。さらに、心理療法をはじめとする薬物療法以外の精神科における治療的関わりや、医療機関との連携などについても理解を深める。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
精神病理学	絵画や文学作品などを通して、当該作家の精神状態、とりわけ精神疾患の特徴について学ぶ。作品だけでなく伝記的な資料などをあわせて、作品だけでなく多面的に見ることによって、その作家の生き方についての理解を深め、人間にとっての精神の病が持つ意味について考える機会を与える。また作品や資料からどのようなことが言えるのか、病跡学的なアプローチを学ぶことによって、各自が任意の作家や作品について検討できるようになることも目標のひとつとしたい。	精神病理学	変更無し		

科目 区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	備考
心理学 関連科目	カウンセリング論	本授業はカウンセリングの基礎知識を学ぶことが目的である。具体的には、①カウンセリングの定義と意義、②カウンセリングの歴史、③カウンセリング法、④カウンセリングの理論、⑤カウンセラーの資質と姿勢などについて理解を深めたい。教育現場における教育相談の目的・体制・機会等についても修得していく。	教育相談	本授業は、教育相談に必要なカウンセリングの基礎知識を学ぶことが目的である。具体的には、①カウンセリングの定義と意義、②カウンセリングの歴史、③カウンセリング法、④カウンセリングの理論、⑤カウンセラーの資質と姿勢などについて理解を深めたい。教育現場における教育相談の目的・体制・機会等についても修得していく。	課程認定申請の理由による科目名称変更、講義等内容一部変更
	文芸と心理	文芸とは、言語を媒介とした芸術の総称であるが、本講義では、ソフォクレスの『オイディプス王』に描かれる、いわゆるエディプス・コンプレクスの意味を、言語芸術作品である原作を通じて理解・確認することから始め、さらにいくつかの文学作品を題材として、文芸における種々の心理学的テーマを検証する。特に、フロイトとユングの心理学的アプローチを紹介しながら、童話における心理学的解釈のさまざまな手法を『グリム童話』の何冊かを実際に読み解き考察していく。	文芸と心理	変更無し	
	言葉と心理	（概要）ある一つの文を発話するには、必ず、心理が作用する。講義では、「社会言語学」「ディスコース分析」「語用論」「相互作用的分析」「言語心理学」などを手がかりに、「言葉と心理」について考察する。 （オムニバス方式／全15回） （5 米金孝雄/8回）話し手（発話者）と聞き手（受信者）の間には一定の儀礼的なディスコースが存在するとともに、他方では、発話者の使用する語彙（あなた、君、お前）や表現（謙譲語、尊敬語、俗語）、声の調子、抑揚や表情などが、両者の心的作用に多大な影響を及ぼすのである。講義では、「言語運用」に焦点を絞り、「言葉と心理」のメカニズムについて考察する。 （4 保坂律子/7回）私たちが意思疎通を行う上で、言葉は大切な手段である。しかし言葉で思いを表現する際、自分の意図が上手く相手に伝わらない場合がある。何故なら、同じ内容の発言であっても、言葉の受け止め方は聞き手の心理に左右されるからである。この授業では感謝と謝罪の言葉に焦点をあて、様々な実例から「言葉と心理」について考察する。	言葉と心理	変更無し	
専門ゼミ 科目	現代心理学ゼミⅠ	私たち人間は、誕生直後からめまぐるしい変化に満ちた環境に適応し、社会的な存在として他者とコミュニケーションをとりながら、高度な身体的・認知的スキルを発達させていく。現代心理学ゼミⅠでは、こうした「発達」を駆動している基礎について、発達心理学、認知心理学、そして新しい理論的立場である生態心理学という領域を横断しながら学習する。卒業論文のテーマ設定にも役立てられるように、幅広い視野から心理学の現代的な意義とその方法について理解を深める。	心理学ゼミⅠ	心理学ゼミⅠからⅣでは、心理学に関連するテーマを取り上げ、先行研究を踏まえながら問題や目的を明確にし、それについて適切な研究方法を吟味し、実験や調査を実施してデータを集めて、問題を明確にするために適切な分析を行い考察するという一連の研究プロセスを、段階的かつ体験的に身に付けることが目的である。心理学ゼミⅠにおいてはテーマに関する文献を集め、先行研究を踏まえるということが目標になる。また、研究のプロセスにおいて、他のゼミ生とディスカッションを行い、相互交流的なコミュニケーションの力を伸ばしていく。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目統合、科目名称変更、講義等内容一部変更
	臨床心理学ゼミⅠ	学術論文や各省庁が出している資料などを用いて、メンタルヘルスの対象となっているテーマをゼミで手分けして調べる。この場合のメンタルヘルスは、狭義の「精神保健」でも広義の「心の健康」でもよい。調べたテーマについて、まずはその実態を把握し、今、そのテーマについては何が問題となっているのか、それはどの程度の数が生じているのか、どんな支援策がとられているのかなど、理解を深める。			
	現代心理学ゼミⅡ	現代心理学ゼミⅠで取り上げた人間の身体的・認知的スキルの発達に関するさまざまなトピックのなかから、学生各自で興味や関心があるものを選択し、関連する論文の講読、レポートの作成、プレゼンテーションおよびディスカッションを行う。こうした実践的な作業を通して、自ら問題を調査・探求し、その内容を的確に表現する能力を身に付けることを目標とする。	心理学ゼミⅡ	心理学ゼミⅠからⅣでは、心理学に関連するテーマを取り上げ、先行研究を踏まえながら問題や目的を明確にし、それについて適切な研究方法を吟味し、実験や調査を実施してデータを集めて、問題を明確にするために適切な分析を行い考察するという一連の研究プロセスを、段階的かつ体験的に身に付けることが目的である。心理学ゼミⅡにおいては研究の目的にかかった適切な方法を吟味し、実施するということが目標になる。また、研究のプロセスにおいて、他のゼミ生とディスカッションを行い、相互交流的なコミュニケーションの力を伸ばしていく。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目統合、科目名称変更、講義等内容一部変更
	臨床心理学ゼミⅡ	臨床心理学ゼミⅠで調べた内容をもとに、グループごとにメンタルヘルスに関わるテーマを1つ選び、そのテーマに潜む問題を参加型グループワークにより抽出する。次に、その問題を解決するための方略を自分たちなりに検討し、そのうえで、臨床心理の立場からはそこにどのように関わられるかを考えてみる。最終成果物については、PowerPointを用いたグループ発表会を行う。			
	現代心理学ゼミⅢ	人間の身体的・認知的スキルの発達に関する理論・研究およびその方法を確実に理解することを目標とする一方、現代心理学ゼミⅢでは、卒業論文の執筆を見据えた具体的な準備も進めていく。人間の発達に関するテーマは多岐にわたり、実はそれが日常生活の中にふと見出されることもある。そこで学生各自が研究対象にできそうな事例やトピックを身近なところで探し出し、そのアイデアについてディスカッションをしながら、その事例に対してどのような心理学的アプローチが可能なのかを考察していく。	心理学ゼミⅢ	心理学ゼミⅠからⅣでは、心理学に関連するテーマを取り上げ、先行研究を踏まえながら問題や目的を明確にし、それについて適切な研究方法を吟味し、実験や調査を実施してデータを集めて、問題を明確にするために適切な分析を行い考察するという一連の研究プロセスを、段階的かつ体験的に身に付けることが目的である。心理学ゼミⅢにおいては得られたデータを適切な手法を用いて分析するということが目標になる。また、研究のプロセスにおいて、他のゼミ生とディスカッションを行い、相互交流的なコミュニケーションの力を伸ばしていく。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目統合、科目名称変更、講義等内容一部変更
臨床心理学ゼミⅢ	文献のクリティカル・リーディングについて数回の演習を行った後、具体的な研究計画を立て、ゼミ論文・卒業論文の準備に取りかかる。取り上げるテーマは、メンタルヘルスに関わるものであれば、基本的に自由である。研究目的を書くときは、できるだけ具体的に焦点を絞り、何を明らかにしたいかを明確にしておくことが、良い研究を導く。目的が漠然としていると、話の筋がぼやっと広がって、ただ素材を並べ立てただけのような成果になってしまいがちである。よい研究プロトコルの立て方を身につけていく。				

科目 区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
	現代心理学ゼミⅣ	現代心理学ゼミⅢで学習した理論的な枠組みと、学生各自が関心を抱いている研究テーマとの接点を改めて精査する。研究テーマに沿った実験・観察・分析を進め、卒業論文を執筆し、その内容についてプレゼンテーションを行う。学生が主体性を持って取り組むようになり、大学生活における学術的活動の成果をしっかりとした形にすることを目標とする。	心理学ゼミⅣ	心理学ゼミⅠからⅣでは、心理学に関連するテーマを取り上げ、先行研究を踏まえながら問題や目的を明確にし、それについて適切な研究方法を吟味し、実験や調査を実施してデータを集めて、問題を明確にするために適切な分析を行い考察するという一連の研究プロセスを、段階的かつ体験的に身に付けることが目的である。心理学ゼミⅣにおいては分析結果について考察すること、そして一連の研究を卒業論文もしくはゼミ論文の形にまとめることが目標になる。また、研究のプロセスにおいて、他のゼミ生とディスカッションを行い、相互交流的なコミュニケーションの力を伸ばしていく。	公認心理師法施行規則制定の理由による科目統合、科目名称変更、講義等内容一部変更
	臨床心理学ゼミⅣ	臨床心理学ゼミⅢで立てた研究計画に基づき、実際に研究を行う。研究の手法は、量的研究でも質的研究でもよい。研究の成果は、ゼミ論文・卒業論文としてまとめ上げる。最後は、PowerPointを用いた研究発表会で、自分の研究を他人にも分かるようにプレゼンテーションする。研究発表は、人が聞いて分かるものにするのが、聴き手に対する誠意であり、かつ、科学としての公共性となる。			
	卒業論文	大学で学んだこと、そのなかで特に自分が興味をいだいた事柄を研究対象として選び、専門的な知識の修得をふまえたうえで、自らの分析の視点と問題意識を明確にしつつ、適切な方法を用いて深く追求していく。その結果を、体系的、論理的に文章化して卒業論文としてまとめる。	卒業論文	変更無し	
公認心理師関連科目			公認心理師の職責	<p>（概要）国家資格としての公認心理師に求められる職責について、以下の内容の理解を深め、公認心理師としての自覚を高めることを目的とする。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（12 綾城初穂/1回）公認心理師の役割 （11 石津和子/1回）公認心理師の法的義務及び倫理 （4 須藤明/1回）心理に関する支援を要する者等の安全の確保 （8 藤川麗/1回）情報の適切な取扱い （12 綾城初穂・11 石津和子・4 須藤明・8 藤川麗・7 藤城有美子・2 松岡努/5回）保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務 （7 藤城有美子/1回）自己課題発見・解決能力 （2 松岡努/1回）生涯学習への準備 （12 綾城初穂・11 石津和子・4 須藤明・8 藤川麗・7 藤城有美子・2 松岡努/4回）多職種連携及び地域連携</p>	公認心理師法施行規則制定の理由による科目追加
			関係行政論	<p>（概要）公認心理師が活躍することが想定されている5分野（保健・医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働）に関する法律や制度について理解を深めることを目的とする。</p> <p>（オムニバス方式／15回）</p> <p>（7 藤城有美子/3回）保健医療分野に關係する制度 （2 松岡努/3回）福祉分野に關係する制度 （12 綾城初穂・8 藤川麗/3回）教育分野に關係する制度 （4 須藤明/3回）司法・犯罪分野に關係する制度 （11 石津和子/3回）産業・労働分野に關係する制度</p>	公認心理師法施行規則制定の理由による科目追加
			心理演習	<p>以下に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、事例検討で取り上げることを通じて、基本的な水準の知識及び技能の習得を目的とする。（ア）心理に関する支援を必要とする者等に関する以下の知識及び技能の習得（1）コミュニケーション、（2）心理検査、（3）心理面接、（4）地域支援等、（イ）心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成、（ウ）心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ、（エ）多職種連携及び地域連携、（オ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解</p>	公認心理師法施行規則制定の理由による科目追加
	学外実習	3年次の夏季休暇中に、社会的活動団体や公的機関等の職場において、報酬を伴わない勤務実習を行う。インターンシップ的な活動であるが、就職活動の一環としてのインターンシップとは異なり、就職に直接結びつくものではない。実習体験を通して社会生活と職業生活の現場感覚を養い、自らの進路について意識を高め、今後の勉学意欲に結びつくことを目的とする。	心理実習	<p>保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野の施設において、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者または教員による指導をうける。実習により身につける事項は、（ア）心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ、（イ）多職種連携及び地域連携、（ウ）公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解、である。</p>	公認心理師法施行規則制定の理由による科目名称変更、単位数変更、講義等内容一部変更
	発達心理学Ⅱ	発達心理学Ⅱでは、青年期から老人期に焦点を当て、エリクソンの発達段階論を中心に解説をする。青年期から成人期にかけては「若者の今日的な状況」について理解を深めるとし、若年期の延長といわゆる「モラトリアム」の長期化や「一人前」意識の喪失といった問題が、一若年層のみならず中高年齢層の疎外感とも深くかかわっていることを考察する。それ以降のいわゆる中年期から老人期にかけては、超高齢化社会を迎える現代社会の一員として一人前が精神的に充足した豊かな老後を過ごす人生を終えるとはどのようなことかを心理学的な観点から見つめ直していく。			公認心理師法施行規則制定の理由による科目廃止

科目 区分	旧（届出時）		新（平成30年5月1日時点）		備考
	授業科目の名称	講義等の内容	授業科目の名称	講義等の内容	
廃止 科目	臨床心理学Ⅱ	臨床心理学の基礎として、一人の心の構造や機能に関する理論を学ぶ。後期の臨床心理学Ⅱでは、人の心や行動の問題を理解する理論として、①個人の認知と行動の特徴から理解する認知行動理論、②個人と家族や周囲の人間との対人関係との関係の観点から理解するシステム理論、③個人の所属するコミュニティや環境との関係の観点から理解するコミュニケーションアプローチの3つを取り上げる。それぞれの理論の歴史的背景と基本的モデルについて理解を深めることを目的とする。			公認心理師法施行規則制定の理由による科目廃止
	犯罪心理学Ⅱ	犯罪・非行に関する諸理論及び現状を概観し、非行や犯罪についての理解を深める。その上で、性犯罪、薬物犯罪、女性の犯罪、高齢の者犯罪などを取り上げ、具体的に考察していく。また、犯罪被害者の支援、裁判員制度などの新しい流れについても触れる。さらに、米国やカナダの司法制度や実証的な研究に基づくアセスメントと介入といった実践（evidence-based-practice）についても紹介する。			公認心理師法施行規則制定の理由による科目廃止
	教育心理学	教育心理学の知見に基づき、教授・学習場面を理解し、個に応じた教育を考える能力を高めることを目的とする。本講義では、学習意欲・動機づけ、学習行動・知識獲得・問題解決過程、自己学習力、授業と学級のはたらき、測定と評価などをとりあげる。また、教師の生徒理解の上では、子どもの心身の発達的特徴を知り、子どもの行動を理解することが必要である。授業の中で学習→発達→教授法などを具体例をあげて説明する。			公認心理師法施行規則制定の理由による科目廃止
	人格心理学Ⅱ	本講義は、精神医学的疾患や発達障害、不適応行動などのこころの病やこころの発達の障害について理解を進め、基礎知識を得ることを目的とする。また、こころの病を抱えた方への関わりという点から人間関係の影響について、理解を深める。実際に、傾聴やアサーションの実践を行い、良好な人間関係を築くための心理学的な基礎知識と実践力を身につける。人格理論や測定方法を元に、人格を病むということとその変容をもたらす方法について考えていく。			公認心理師法施行規則制定の理由による科目廃止
教養 人間 教理 総合 教育学 学類 科目 群	心理学入門Ⅱ	心理学の基礎Ⅰで学んだ基礎的知識を踏まえた上で、心理学が社会生活の中でどのように生かされているのか、教育・医療・福祉・司法・産業などの領域に焦点を当てる。出来る限り具体例を交えながら解説するとともに適宜レポートを課していく。また、心理学の研究領域は学際的であり、隣接する他の学問との相互連携が不可欠であるため、必要な知識や心構えなどについても言及する。	心理学入門Ⅱ	<p>（概要）前期の心理学入門Ⅰに引き続き、心理学の基礎的知識の習得を目的とする。心理学は個人の内界ばかりでなく、対人相互的、社会相互的にとらえることが重要であり、そのような視点を持つことによって、様々な応用が可能であることを理解する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>授業は2名の教員によるオムニバス形式で進められる。割振りは以下の通りである。</p> <p>(1 富士原光洋／前半7回) 思考・言語、動機付けと感情</p> <p>(2 松岡努／後半8回) 知能とパーソナリティ、社会的行動</p>	公認心理師法施行規則制定の理由による担当者変更、講義等内容、講義方法（オムニバス）変更

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人駒澤学園

(2) 大学名

駒沢女子大学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成28年6月)		
学長	(ミツダ マサヨシ) 光田 督良 (平成23年4月)		
学群長	(ハトリ オサム) 羽鳥 修 (平成30年4月)		
学類長	(サトウ ツトム) 佐藤 勉 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
 平成30年度に報告する内容 → (30)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間総合学群 住空間デザイン学類	工学関係	年	人	年次人	人	
学士 (住空間デザイン)	美術関係	4	60	—	240	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [若干名]	-	-	-	-	-	-	-	1.28倍	入学者のうち、人間総合学群一括入試による者は、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して收容する。
志願者数	284 (-) [2]	- (-) [-]								
受験者数	272 (-) [2]	- (-) [-]								
合格者数	126 (-) [1]	- (-) [-]								
B 入学者数	77 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.28									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	77 [0] (-)	- [-] (-)	1年次の在学者のうち、人間総合学群一括入試による入学者については、各学類に按分して記載しており、全学生は、2年次進学時に学類を決定して収容する。						
2年次	/		- [-] (-)						
3年次	/		/		- [-] (-)				
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	77 [0] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	77人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	77人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1			1		1	2		17
	基礎ゼミⅡ	1後	1			1		1	2		17
	仏教学Ⅰ	1前	2								4
	仏教学Ⅱ	1後	2								4
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	3								1
	駒沢女子大学入門	1前	4								6
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
	日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
	人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
	人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							6
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2							6
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							1
住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2			1	1	1			3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2		1	1	1			3
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2							1
	女性の人権	1後		2							1
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
生涯学習Ⅰ	1前		2								1
	生涯学習Ⅱ	1後		2							1
社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	比較文化	1後		2							1
	日本の文化	1後		2							1
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2							1
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神を学ぶ科目	基礎ゼミⅠ	1前	1				1	1	1		17
	基礎ゼミⅡ	1後	1				1	1	1		17
	仏教学Ⅰ	1前	2								3
	仏教学Ⅱ	1後	2								3
	仏教学Ⅲ	2前	2								1
	仏教学Ⅳ	2後	3								1
	駒沢女子大学入門	1前	4								1
入門科目	日本文化入門Ⅰ	1前		2							2
	日本文化入門Ⅱ	1後		2							2
	人間関係入門Ⅰ	1前		2							3
	人間関係入門Ⅱ	1後		2							3
	英語コミュニケーション入門Ⅰ	1前		2							7
	英語コミュニケーション入門Ⅱ	1後		2							7
	観光文化入門Ⅰ	1前		2							1
	観光文化入門Ⅱ	1後		2							1
	心理学入門Ⅰ	1前		2							1
	心理学入門Ⅱ	1後		2							2
住空間デザイン入門Ⅰ	1前		2			1	1	1			3
	住空間デザイン入門Ⅱ	1後		2		1	1	1			3
教養教育科目	人間と思想Ⅰ	1前		2							1
	人間と思想Ⅱ	1後		2							1
	人間と文化Ⅰ	1前		2							1
	人間と文化Ⅱ	1後		2							1
	生命の科学	1前		2							1
	倫理学	1後		2							1
	人権の基礎	1前		2							1
	女性の人権	1後		2							1
	心理学Ⅰ	1前		2							2
	心理学Ⅱ	1後		2							2
生涯学習Ⅰ	1前		2								1
	生涯学習Ⅱ	1後		2							1
社会福祉概論Ⅰ	1前		2								1
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2							1
文化と歴史を学ぶ科目	日本の歴史	1後		2							1
	世界の歴史	1後		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅰ	1前		2							1
	戦争と平和の歴史Ⅱ	1後		2							1
	西洋文化史	1前		2							1
	日本美術史	1前		2							1
	比較文化	1後		2							1
	日本の文化	1後		2							1
	観光地理(日本)	1前		2							1
	観光地理(世界)	1後		2							1
	日本の文学	1前		2							1
	ヨーロッパの文学	1後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
色彩と科学	1前	2								1	
実習科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
社会と教養演習D	2・3後	1								1	
キャリアリテラシー	3前	2								1	
就業への知識と技能A	2・3前	2								1	
就業への知識と技能B	2・3後	2								1	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
外国語育成科目	英語A I	1前	1								25
	英語A II	1後	1								25
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								25
	英語B II	1後	1								25
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								3
	英会話 II	1後	1								3
	英会話 III	2前	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養知科目	日本の政治	1前	2								1
	世界の政治	1後	2								1
	政治と市民参加	1後	2								1
	日本の経済	1前	2								1
	世界の経済	1前	2								1
	新聞と報道	1後	2								1
	グローバル共生論	1後	2								1
	社会学	1前	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法 I	1前	2								1
	日本国憲法 II	1後	2								1
	社会学 I	1前	2								1
	社会学 II	1後	2								1
	数学の世界	1前	2								1
	物理の世界	1後	2								1
	生物と生命	1前	2								1
	地球と宇宙	1後	2								1
	物質と化学	1前	2								1
	情報と科学	1後	2								1
色彩と科学	1前	2								1	
実習科目	ボランティア実習 I	1後	1								2
	ボランティア実習 II	2後	2								1
	海外英語研修 I	1後	2								7
	海外英語研修 II	2後	2								7
	国際協力実習	2前	1								1
	国際協力実習フォローアップ	2後	2								1
	進路設計	1後	2								3
	社会と教養演習A	2・3前	1								1
	社会と教養演習B	2・3前	1								1
	社会と教養演習C	2・3後	1								1
社会と教養演習D	2・3後	1								1	
キャリアリテラシー	3前	2								1	
就業への知識と技能A	2・3前	2								1	
就業への知識と技能B	2・3後	2								1	
健康体育科目	女性と健康 I	1前	2								1
	女性と健康 II	1後	2								1
	スポーツ I	1・2前	1								3
	スポーツ II	1・2後	1								3
日本語育成科目	言語表現演習 I	1前	1								5
	言語表現演習 II	1後	1								5
外国語育成科目	英語A I	1前	1								15
	英語A II	1後	1								15
	英語A III	2前	1								25
	英語A IV	2後	1								25
	英語B I	1前	1								14
	英語B II	1後	1								14
	英語B III	2前	1								25
	英語B IV	2後	1								25
	英会話 I	1前	1								4
	英会話 II	1後	1								4
	英会話 III	2前	1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語育成科目 技法知科目	英会話Ⅳ	2後	1							1
		Receptive English I	1-2前	1							1
		Receptive English II	1-2後	1							1
		Productive English I	1-2前	1							1
		Productive English II	1-2後	1							1
		English Summer Seminar	2-3前	1							2
		フランス語Ⅰ	1前	1							2
		フランス語Ⅱ	1後	1							2
		フランス語Ⅲ	2前	1							2
		フランス語Ⅳ	2後	1							2
		ドイツ語Ⅰ	1前	1							2
		ドイツ語Ⅱ	1後	1							2
		ドイツ語Ⅲ	2前	1							2
		ドイツ語Ⅳ	2後	1							2
		スペイン語Ⅰ	1前	1							2
	スペイン語Ⅱ	1後	1							2	
	スペイン語Ⅲ	2前	1							2	
	スペイン語Ⅳ	2後	1							2	
	中国語Ⅰ	1前	1							2	
	中国語Ⅱ	1後	1							2	
中国語Ⅲ	2前	1							2		
中国語Ⅳ	2後	1							2		
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1		1	1				4	
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1		1	1				4	
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1							1	
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1							1	
特設科目	日本語AⅠ	1前	1							1	
	日本語BⅠ	1前	1							1	
	日本語AⅡ	1後	1							1	
	日本語BⅡ	1後	1							1	
	日本語AⅢ	2前	1							1	
	日本語BⅢ	2前	1							1	
	日本語AⅣ	2後	1							1	
	日本語BⅣ	2後	1							1	
	日本事情Ⅰ	1前	2							1	
	日本事情Ⅱ	1後	2							1	
	日本事情Ⅲ	2前	2							1	
	日本事情Ⅳ	2後	2							1	
人間総合学群 住空間デザイン学類 基本科目 専門教育科目	住空間デザインの基礎Ⅰ	2前	2		3	1					
	住空間デザインの基礎Ⅱ	2後	2		3	1					
	平面と立体表現の基礎	1前	2			1				1	
	製図の基礎	1前	2				1	1			
	図学と透視画の基礎	1後	2		1					1	
	建築・インテリアデザイン入門	1後	2		1	1		1			
	プロダクトデザイン入門	1後	2		2					1	
	設計製図Ⅰ	2前	2		2					2	
	設計製図Ⅱ	2後	2		1	1				4	
	住空間とライフスタイル	2-3-4後	2							1	
	住空間とインテリアプロダクト	2-3-4前	2		1						
	福祉住環境デザイン	2-3-4後	2			1				1	
	環境デザイン	2-3-4後	2							1	
色彩デザイン	2-3-4前	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語育成科目 技法知科目	英会話Ⅳ	2後	1							1
		Receptive English I	1-2前	1							1
		Receptive English II	1-2後	1							1
		Productive English I	1-2前	1							1
		Productive English II	1-2後	1							1
		English Summer Seminar	2-3前	1							2
		フランス語Ⅰ	1前	1							2
		フランス語Ⅱ	1後	1							2
		フランス語Ⅲ	2前	1							2
		フランス語Ⅳ	2後	1							2
		ドイツ語Ⅰ	1前	1							2
		ドイツ語Ⅱ	1後	1							2
		ドイツ語Ⅲ	2前	1							2
		ドイツ語Ⅳ	2後	1							2
		スペイン語Ⅰ	1前	1							2
	スペイン語Ⅱ	1後	1							2	
	スペイン語Ⅲ	2前	1							2	
	スペイン語Ⅳ	2後	1							2	
	中国語Ⅰ	1前	1							2	
	中国語Ⅱ	1後	1							2	
中国語Ⅲ	2前	1							2		
中国語Ⅳ	2後	1							2		
情報力育成科目	コンピュータ演習Ⅰ	1前	1			1	1			4	
	コンピュータ演習Ⅱ	1後	1			1	1			4	
	コンピュータ演習Ⅲ	2前	1							1	
	コンピュータ演習Ⅳ	2後	1							1	
特設科目	日本語AⅠ	1前	1							1	
	日本語BⅠ	1前	1							1	
	日本語AⅡ	1後	1							1	
	日本語BⅡ	1後	1							1	
	日本語AⅢ	2前	1							1	
	日本語BⅢ	2前	1							1	
	日本語AⅣ	2後	1							1	
	日本語BⅣ	2後	1							1	
	日本事情Ⅰ	1前	2							1	
	日本事情Ⅱ	1後	2							1	
	日本事情Ⅲ	2前	2							1	
	日本事情Ⅳ	2後	2							1	
人間総合学群 住空間デザイン学類 基本科目 専門教育科目	住空間デザインの基礎Ⅰ	2前	2			3	1				
	住空間デザインの基礎Ⅱ	2後	2			3	1				
	平面と立体表現の基礎	1前	2				1			1	
	製図の基礎	1前	2					1	1		
	図学と透視画の基礎	1後	2		1					1	
	建築・インテリアデザイン入門	1後	2		1	1		1			
	プロダクトデザイン入門	1後	2		2					2	
	設計製図Ⅰ	2前	2		2					2	
	設計製図Ⅱ	2後	2		1	1				4	
	住空間とライフスタイル	2-3-4後	2							1	
	住空間とインテリアプロダクト	2-3-4前	2		1						
	福祉住環境デザイン	2-3-4後	2				1			1	
	環境デザイン	2-3-4後	2							1	
色彩デザイン	2-3-4前	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	CAD I	1後	1			1	1					
	CAD II	2前	1						2			
	CAD III	2後		1				1				1
	プレゼンテーション技法	3前	1			1	1					
	学外実習	3・4前	1				1		2			
	フィールドワーク	2・3・4前	1			5	2	1	2			
	インテリアデザイン I	3前	2			1						1
インテリアデザイン II	3後	2			1						1	
インテリアデザイン論	2前	2			1							
インテリアデザイン計画A	2後	2			1							
インテリアデザイン計画B	3前	2									1	
インテリアデザイン計画C	3後	2									1	
家具デザイン I	2前	2			1						1	
家具デザイン II	2後	2			1						1	
家具デザイン III	3前	2			1							
家具デザイン研究	2・3・4後	2			1							
陶芸デザイン I	2前	2			1						1	
陶芸デザイン II	2後	2			1						1	
陶芸デザイン III	3前	2			1						1	
陶芸デザイン研究	2・3・4後	2			1							
立体織デザイン I	2前	2									1	
立体織デザイン II	2後	2									1	
立体織デザイン III	3前	2									1	
加工・材料学	2・3・4前	2			1							
芸術論	2・3・4前	2									1	
工芸デザイン論	2・3・4後	2									1	
空間演出A	3前	2			1				1		1	
空間演出B	3後	2			1				1		1	
インテリアの知識と技術 I	2・3・4後	2									1	
インテリアの知識と技術 II	3・4前	2									1	
建築デザイン I	3前	2				1	1					
建築デザイン II	3後	2			1		1					
建築デザイン論	2後	2					1					
建築計画A	2前	2			1							
建築計画B	3前	2				1						
建築計画C	3後	2			1							
建築計画D	4前	2									1	
構造力学 I	2前	2							1			
構造力学 II	2後	2							1			
建築構造 I	2前	2									1	
建築構造 II	2後	2									1	
日本建築史	2・3・4前	2									1	
西洋建築史	2・3・4後	2									1	
ランドスケープ論	2・3・4後	2									1	
建築環境設備	3後	2									1	
環境工学	3前	2									1	
建築材料	3前	2							1			
建築生産	3後	2									1	
建築法規 I	3・4前	2									1	
建築法規 II	3・4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基本科目	CAD I	1後	1			1						
	CAD II	2前	1						2			
	CAD III	2後		1				1				1
	プレゼンテーション技法	3前	1			1	1					
	学外実習	3・4前	1				1		2			
	フィールドワーク	2・3・4前	1			5	2	1	2			
	インテリアデザイン I	3前	2			1						1
インテリアデザイン II	3後	2			1						1	
インテリアデザイン論	2前	2			1							
インテリアデザイン計画A	2後	2			1							
インテリアデザイン計画B	3前	2									1	
インテリアデザイン計画C	3後	2									1	
家具デザイン I	2前	2			1						1	
家具デザイン II	2後	2			1						1	
家具デザイン III	3前	2			1							
家具デザイン研究	2・3・4後	2			1							
陶芸デザイン I	2前	2			1						1	
陶芸デザイン II	2後	2			1						1	
陶芸デザイン III	3前	2			1						1	
陶芸デザイン研究	2・3・4後	2			1							
立体織デザイン I	2前	2									1	
立体織デザイン II	2後	2									1	
立体織デザイン III	3前	2									1	
加工・材料学	2・3・4前	2			1							
芸術論	2・3・4前	2									1	
工芸デザイン論	2・3・4後	2									1	
空間演出A	3前	2			1				1		1	
空間演出B	3後	2			1				1		1	
インテリアの知識と技術 I	2・3・4後	2									1	
インテリアの知識と技術 II	3・4前	2									1	
建築デザイン I	3前	2				1	1					
建築デザイン II	3後	2			1		1					
建築デザイン論	2後	2					1					
建築計画A	2前	2			1							
建築計画B	3前	2				1						
建築計画C	3後	2			1							
建築計画D	4前	2									1	
構造力学 I	2前	2									1	
構造力学 II	2後	2									1	
建築構造 I	2前	2									1	
建築構造 II	2後	2									1	
日本建築史	2・3・4前	2									1	
西洋建築史	2・3・4後	2									1	
ランドスケープ論	2・3・4後	2									1	
建築環境設備	3後	2									1	
環境工学	3前	2									1	
建築材料	3前	2							1			
建築生産	3後	2									1	
建築法規 I	3・4前	2									1	
建築法規 II	3・4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門教育科目	インテリアデザインスタジオⅠ	3前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅡ	3後	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅢ	4前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅣ	4後	1		5			1			
	建築デザインスタジオⅠ	3前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅡ	3後	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅢ	4前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅣ	4後	1	1	1	1	1	1			
	卒業研究	4通	4		6	1	1	2			
	省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前	2							
博物館概論		1後		2							1
博物館資料論		2前		2							1
博物館展示論		2後		2							1
博物館資料保存論		3前		2							1
博物館経営論		3後		2							1
博物館教育論		2・3前		2							1
博物館情報・メディア論		2・3後		2							1
博物館実習A（見学実習）		2通		1							2
博物館実習B（実務実習）		3通		1							3
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前	2								1
	西洋文化史	1前	2								1
	日本文化史Ⅰ	2前	2								1
	日本文化史Ⅱ	2後	2								1
	地域文化概論	2前	2								1
	世界遺産研究	2前	2								1
	世界のミュージアム	2・3前	2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後	2								1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前	2								1
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後	2								1
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前	2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後	2								1
	歴史資料論	2・3前	2								1
	民俗資料論	2・3後	2								1
	歴史考古学	2・3前	2								1
	歴史地理学	2・3後	2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前	2								1
文化交流史Ⅱ	2・3後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間総合学群 住空間デザイン学類 専門ゼミ科目	インテリアデザインスタジオⅠ	3前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅡ	3後	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅢ	4前	1		5			1			
	インテリアデザインスタジオⅣ	4後	1		5			1			
	建築デザインスタジオⅠ	3前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅡ	3後	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅢ	4前	1	1	1	1	1	1			
	建築デザインスタジオⅣ	4後	1	1	1	1	1	1			
	卒業研究	4通	4		6	1	1	2			
	省令必修科目	生涯学習論Ⅰ	1前	2							
博物館概論		1後		2							1
博物館資料論		2前		2							1
博物館展示論		2後		2							1
博物館資料保存論		3前		2							1
博物館経営論		3後		2							1
博物館教育論		2・3前		2							1
博物館情報・メディア論		2・3後		2							1
博物館実習A（見学実習）		2通		1							2
博物館実習B（実務実習）		3通		1							3
博物館学芸員養成課程科目	日本美術史	1前	2								1
	西洋文化史	1前	2								1
	日本文化史Ⅰ	2前	2								1
	日本文化史Ⅱ	2後	2								1
	地域文化概論	2前	2								1
	世界遺産研究	2前	2								1
	世界のミュージアム	2・3前	2		2						1
	日本のミュージアム	2・3後	2								1
	西洋美術の旅Ⅰ	2・3前	2								1
	西洋美術の旅Ⅱ	2・3後	2								1
専攻選択必修科目	日本の文化財Ⅰ	2・3前	2								1
	日本の文化財Ⅱ	2・3後	2								1
	歴史資料論	2・3前	2								1
	民俗資料論	2・3後	2								1
	歴史考古学	2・3前	2								1
	歴史地理学	2・3後	2								1
	文化交流史Ⅰ	2・3前	2								1
文化交流史Ⅱ	2・3後	2								1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・専任教員科目調整と専任教員体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」、助教「2」から、准教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・専任教員科目調整と専任教員体調不良の理由により、「基礎ゼミⅡ」の専任教員等の配置を、教授「1」、講師「1」、助教「2」から、准教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」の教員配置を、兼任・兼担「4（内訳兼任2・兼担2）」から「3（内訳兼任1・兼担2）」に変更。
- ・兼任教員1名就任辞退の理由により、「仏教学Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼担「4（内訳兼任2・兼担2）」から「3（内訳兼任1・兼担2）」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」の兼担教員を1名追加し、兼任・兼担「6」から「7」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅱ」の兼担教員を1名追加し、兼任・兼担「6」から「7」に変更。
- ・公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」の教員配置を、兼任・兼担「1」から「2」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅠ」の兼任・兼担教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語AⅡ」の兼任・兼担教員を、「25」から「15」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅠ」の兼任・兼担教員を、「25」から「14」に変更。
- ・兼任教員就任辞退等の理由により、「英語BⅡ」の兼任・兼担教員を、「25」から「14」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼担教員を、「3」から「4」に変更。
- ・教育課程充実のため、「英会話Ⅱ」の兼任教員を1名追加し、兼任・兼担教員を、「3」から「4」に変更。
- ・兼担教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼担教員を、「2」から「1」（兼担1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・兼担教員科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼担教員を、「2」から「1」（兼担1人分の担当コマ数増）に変更。
- ・専任教員科目調整の理由により、「CADⅠ」の専任教員等の配置を、教授「1」、准教授「1」、助教「1」から、教授「1」、講師「1」、助教「1」に変更。
- ・専任教員病気治療予定の理由により、「プロダクトデザイン入門」の教員配置を、教授「2」、兼任・兼担「1」から、教授「1」、兼任・兼担「2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
36 科目	190 科目	10 科目	236 科目	36 科目 [0]	190 科目 [0]	10 科目 [0]	236 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{236} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地等の一部は駒沢女子短期大学と共用		
	校舎敷地	0 m ²	140,991.11 m ²	10,639.73 m ²	151,630.84 m ²			
	運動場用地	0 m ²	12,574.38 m ²	0 m ²	12,574.38 m ²			
	小 計	0 m ²	153,565.49 m ²	10,639.73 m ²	164,205.22 m ²			
	そ の 他	0 m ²	36,595.26 m ²	0 m ²	36,595.26 m ²			
合 計	0 m ²	190,160.75 m ²	10,639.73 m ²	200,800.48 m ²				
(2) 校 舎	専 用	7,584.21 m ²	23,803.58 m ²	15,549.03 m ²	46,936.82 m ²	校舎の一部は、駒沢女子短期大学と共用		
	(7,584.21 m ²)	(23,803.58 m ²)	(15,549.03 m ²)	(46,936.82 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	45 室	演 習 室	20 室	実験実習室	37 室	教室等の一部は、駒沢女子短期大学と共用	
	情報処理学習施設	3 室 (補助職員 2人)	語学学習施設	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	人間総合学群			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書 22,559冊 購入による変更のため (30)
	人間総合学群	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
	計	137,285 [31,204] (132,480 [29,861]) (129,885 [30,354])	231 [101] (236 [103]) (- 231 [101])	6 [3] (6 [3])	5,332 (5,239) (-4,962)	40,774 40,069 (-39,974)	50 (33)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		駒沢女子短期大学と共用	
	4,489 m ²		325席		237,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				駒沢女子短期大学と共用	
	1,726 m ²		テニスコート 3面		屋外プール			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	360千円	360千円	図書購入費	500千円	500千円	100千円
		共 同 研 究 費 等	—千円	—千円	設備購入費	—千円	5,000千円	5,000千円
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,336千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	1,036千円 1,066千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	駒沢女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
日本文化学科	4	—	3年次10	—	学士 (日本文化)	—	平成5年度	東京都稲城市坂浜238番地	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
国際文化学科	4	—	3年次20	—	学士 (国際文化)	—	平成5年度	同上	平成30年度より学生募集停止(編入学は平成32年度より)
人間関係学科	4	—	—	—	学士 (人間関係)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成25年度	同上	平成30年度より学生募集停止
住空間デザイン学科	4	—	—	—	学士 (住空間デザイン)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア表現学科	4	—	—	—	学士 (メディア表現)	—	平成14年度	同上	平成30年度より学生募集停止
人間総合学群									
人間文化学類	4	170	3年次20	720	学士 (日本文化) (人間関係) (英語コミュニケーション)	1.16	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	編入は、平成32年度より学生募集
観光文化学類	4	60	3年次10	260	学士 (観光文化)	1.15	平成30年度	同上	編入は、平成32年度より学生募集
心理学類	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.42	平成30年度	同上	
住空間デザイン学類	4	60	—	240	学士 (住空間デザイン)	1.28	平成30年度	同上	
人間健康学部									
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (健康栄養)	1.07	平成21年度	東京都稲城市坂浜238番地	
看護学部									
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	1.12	平成30年度	東京都稲城市坂浜238番地	
人文科学研究科									
仏教文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.10	平成14年度	東京都稲城市坂浜238番地	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士 (心理学)	0.44	平成15年度	同上	

大学の名称	駒 沢 女 子 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科	年 2	人 130	年次 人 —	人 260	短期大学士 (保育)	倍 0.91	昭和40年度	東京都稲城市坂浜238番地	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

(1)ー① 担当教員表

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	佐藤 勉 (51) <平成30年4月>	専	教授	佐藤 勉 (52) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門 I			住空間デザイン入門 I
		住空間デザイン入門 II			住空間デザイン入門 II
		図学と透視画の基礎			図学と透視画の基礎
		建築・インテリアデザイン入門			建築・インテリアデザイン入門
		設計製図 I			設計製図 I
		フィールドワーク			フィールドワーク
		インテリアデザイン I			インテリアデザイン I
		インテリアデザイン論			インテリアデザイン論
		インテリアデザインスタジオ I			インテリアデザインスタジオ I
		インテリアデザインスタジオ II			インテリアデザインスタジオ II
		インテリアデザインスタジオ III			インテリアデザインスタジオ III
		インテリアデザインスタジオ IV			インテリアデザインスタジオ IV
卒業研究	卒業研究				
専	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>	専	教授	篠 政行 (64) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I			科目削除
		基礎ゼミ II			科目削除
		コンピュータ演習 I			コンピュータ演習 I
コンピュータ演習 II	コンピュータ演習 II				
専	教授	榎本 文夫 (61) <平成30年4月>	専	教授	榎本 文夫 (61) <平成30年4月>
		プロダクトデザイン入門			プロダクトデザイン入門
		家具デザイン I			家具デザイン I
		家具デザイン II			家具デザイン II
		家具デザイン III			家具デザイン III
		家具デザイン研究			家具デザイン研究
		加工・材料学			加工・材料学
		インテリアデザインスタジオ I			インテリアデザインスタジオ I
		インテリアデザインスタジオ II			インテリアデザインスタジオ II
		インテリアデザインスタジオ III			インテリアデザインスタジオ III
		インテリアデザインスタジオ IV			インテリアデザインスタジオ IV
		卒業研究			卒業研究
		専			教授
プロダクトデザイン入門	科目削除				
フィールドワーク	フィールドワーク				
陶芸デザイン I	陶芸デザイン I				
陶芸デザイン II	陶芸デザイン II				
陶芸デザイン III	陶芸デザイン III				
陶芸デザイン研究	陶芸デザイン研究				
インテリアデザインスタジオ I	インテリアデザインスタジオ I				
インテリアデザインスタジオ II	インテリアデザインスタジオ II				
インテリアデザインスタジオ III	インテリアデザインスタジオ III				
インテリアデザインスタジオ IV	インテリアデザインスタジオ IV				
卒業研究	卒業研究				

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	橋田 洋子 (54) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 住空間とインテリアプロダクト フィールドワーク インテリアデザイン計画A 空間演出A 空間演出B インテリアデザインスタジオⅠ インテリアデザインスタジオⅡ インテリアデザインスタジオⅢ インテリアデザインスタジオⅣ 卒業研究
専	教授	神村 真由美 (53) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 設計製図Ⅱ プレゼンテーション技法 フィールドワーク インテリアデザインⅡ インテリアデザインスタジオⅠ インテリアデザインスタジオⅡ インテリアデザインスタジオⅢ インテリアデザインスタジオⅣ 卒業研究
専	教授	三戸 美代子 (49) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 設計製図Ⅰ CADⅠ フィールドワーク 建築デザインⅡ 建築計画A 建築計画C 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
専	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 平面と立体表現の基礎 CADⅠ プレゼンテーション技法 フィールドワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	久野 真尋 (35) <平成30年4月> プロダクトデザイン入門
専	教授	橋田 洋子 (54) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 住空間とインテリアプロダクト フィールドワーク インテリアデザイン計画A 空間演出A 空間演出B インテリアデザインスタジオⅠ インテリアデザインスタジオⅡ インテリアデザインスタジオⅢ インテリアデザインスタジオⅣ 卒業研究
専	教授	神村 真由美 (53) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 設計製図Ⅱ プレゼンテーション技法 フィールドワーク インテリアデザインⅡ インテリアデザインスタジオⅠ インテリアデザインスタジオⅡ インテリアデザインスタジオⅢ インテリアデザインスタジオⅣ 卒業研究
専	教授	三戸 美代子 (49) <平成30年4月> 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 設計製図Ⅰ CADⅠ フィールドワーク 建築デザインⅡ 建築計画A 建築計画C 建築デザインスタジオⅠ 建築デザインスタジオⅡ 建築デザインスタジオⅢ 建築デザインスタジオⅣ 卒業研究
専	准教授	鈴木 利彦 (47) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ 住空間デザインの基礎Ⅰ 住空間デザインの基礎Ⅱ 平面と立体表現の基礎 科目削除 プレゼンテーション技法 フィールドワーク

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ
		住空間デザイン入門Ⅱ
		建築・インテリアデザイン入門
		設計製図Ⅱ
		福祉住環境デザイン
		学外実習
		フィールドワーク
		建築デザインⅠ
		建築計画B
		建築デザインスタジオⅠ
		建築デザインスタジオⅡ
		建築デザインスタジオⅢ
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		住空間デザイン入門Ⅰ
		住空間デザイン入門Ⅱ
		製図の基礎
		CADⅢ
		フィールドワーク
		建築デザインⅠ
		建築デザインⅡ
		建築デザイン論
		建築デザインスタジオⅠ
		建築デザインスタジオⅡ
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		CADⅠ
		CADⅡ
		学外実習
		フィールドワーク
		構造力学Ⅰ
		構造力学Ⅱ
		建築構造Ⅰ
		建築構造Ⅱ
		建築材料
		建築生産
建築デザインスタジオⅠ		
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	茂木 弥生子 (43) <平成30年4月>
		住空間デザイン入門Ⅰ
		住空間デザイン入門Ⅱ
		建築・インテリアデザイン入門
		設計製図Ⅱ
		福祉住環境デザイン
		学外実習
		フィールドワーク
		建築デザインⅠ
		建築計画B
		建築デザインスタジオⅠ
		建築デザインスタジオⅡ
		建築デザインスタジオⅢ
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	講師	小川 弾 (36) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ
		基礎ゼミⅡ
		住空間デザイン入門Ⅰ
		住空間デザイン入門Ⅱ
		製図の基礎
		CADⅠ
		CADⅢ
		フィールドワーク
		建築デザインⅠ
		建築デザインⅡ
		建築デザイン論
		建築デザインスタジオⅠ
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		
専	助教	小久保 彰 (47) <平成30年4月>
		科目削除
		科目削除
		CADⅠ
		CADⅡ
		学外実習
		フィールドワーク
		構造力学Ⅰ
		構造力学Ⅱ
		建築構造Ⅰ
		建築構造Ⅱ
		建築材料
		建築生産
建築デザインスタジオⅠ		
建築デザインスタジオⅡ		
建築デザインスタジオⅢ		
建築デザインスタジオⅣ		
卒業研究		

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	山崎 陽菜 (34)
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 製図の基礎 建築・インテリアデザイン入門 CAD II 学外実習 フィールドワーク 空間演出A 空間演出B インテリアの知識と技術 I インテリアの知識と技術 II インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究
		光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		羽鳥 修 (63) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史 I アメリカの文化と歴史 II 世界のミュージアム
		加藤 ナツ子 (66) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV 世界のミュージアム
		小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II ボランティア実習 I
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 比較文化 海外英語研修 I 海外英語研修 II
		糟谷 恵次 (64) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV 世界のミュージアム

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	山崎 陽菜 (34)
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II 製図の基礎 建築・インテリアデザイン入門 CAD II 学外実習 フィールドワーク 空間演出A 空間演出B インテリアの知識と技術 I インテリアの知識と技術 II インテリアデザインスタジオ I インテリアデザインスタジオ II インテリアデザインスタジオ III インテリアデザインスタジオ IV 卒業研究
		光田 督良 (65) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
		羽鳥 修 (63) <平成30年4月>
		アメリカの文化と歴史 I アメリカの文化と歴史 II 世界のミュージアム
		加藤 ナツ子 (67) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV 世界のミュージアム
		小林 憲夫 (65) <平成30年4月>
		基礎ゼミ I 基礎ゼミ II ボランティア実習 I
兼任	教授	井戸 桂子 (64) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門 I 英語コミュニケーション入門 II 比較文化 海外英語研修 I 海外英語研修 II
		糟谷 恵次 (65) <平成30年4月>
		ヨーロッパの文学 科目削除 科目削除 ドイツ語 III ドイツ語 IV 世界のミュージアム

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	須藤 明 (59) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	臼井 実穂子 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ 戦争と平和の歴史Ⅰ 戦争と平和の歴史Ⅱ ボランティア実習Ⅰ ボランティア実習Ⅱ
兼任	教授	渡邊 光章 (61) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	教授	安藤 嘉則 (60) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門
兼任	教授	渋谷 香織 (60) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅰ
兼任	教授	富士原 光洋 (58) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	松岡 努 (49) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅱ
兼任	教授	末木 俊之 (59) <平成30年4月>
		情報と科学 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ
兼任	教授	佐々木 俊道 (58) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門 日本の文化
兼任	教授	保坂 律子 (58) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	教授	弥久保 宏 (57) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 日本の政治 世界の政治 政治と市民参加 日本事情Ⅲ 日本事情Ⅳ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月> 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	准教授	橘田 布佐子 (60) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	三田 誠司 (56) <平成30年4月> 日本文化入門Ⅱ
兼任	教授	中野 達也 (56) <平成30年4月> 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ
兼任	教授	松村 良 (55) <平成30年4月> 日本の文学 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	教授	田澤 秀司 (55) <平成30年4月> 人間関係入門Ⅰ 就業への知識と技能A 就業への知識と技能B
兼任	教授	米金 孝雄 (56) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	教授	千葉 公慈 (53) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ 駒沢女子大学入門
兼任	教授	石田 かおり (53) <平成30年4月> 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	福王 守 (52) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人権の基礎 女性の人権 法学 法と社会 日本国憲法Ⅰ 日本国憲法Ⅱ
兼任	准教授	橘田 布佐子 (60) <平成30年4月> 基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	榎本 環 (53) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	准教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	榎本 環 (54) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅱ
兼任	教授	皆川 義孝 (50) <平成30年4月>
		駒沢女子大学入門 日本文化入門Ⅰ 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C
兼任	准教授	明田川 紀彦 (48) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ コンピュータ演習Ⅲ コンピュータ演習Ⅳ
兼任	准教授	丸山 慎 (45) <平成30年4月>
		心理学入門Ⅰ
兼任	准教授	下川 雅弘 (43) <平成30年4月>
		日本文化入門Ⅱ 博物館概論 博物館実習A 博物館実習B 博物館実習C 民俗資料論
兼任	准教授	杉野 知恵 (44) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ グローバル共生論 国際協力実習 国際協力実習フォローアップ
兼任	准教授	松山 響子 (40) <平成30年4月>
		英語BⅢ 英語BⅣ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ
兼任	講師	Plaza Taron (48) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	大貫 恵佳 (39) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 人間関係入門Ⅰ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	講師	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (34) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	龍谷 孝道 (34) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	Morris Jonathan (39) <平成30年4月>
		英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ English Summer Seminar
兼任	准教授	石川 創 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 駒沢女子大学入門 言語表現演習Ⅰ 言語表現演習Ⅱ
兼任	講師	工藤 俊 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 英語コミュニケーション入門Ⅰ 英語コミュニケーション入門Ⅱ 海外英語研修Ⅰ 海外英語研修Ⅱ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	綾城 初穂 (35) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	倉住 友恵 (34) <平成30年4月>
		人間関係入門Ⅰ
兼任	講師	古屋 真 (33) <平成30年4月>
		生涯学習論Ⅰ 生涯学習論Ⅱ
兼任	講師	小早川 浩大 (50) <平成30年4月>
		仏教学Ⅰ 仏教学Ⅱ
兼任	講師	
兼任	講師	中野 良教 (64) <平成30年4月>
		仏教学Ⅲ 仏教学Ⅳ
兼任	講師	玉本 太平 (64) <平成30年4月>
		観光文化入門Ⅰ 観光文化入門Ⅱ 観光地理(日本) 観光地理(世界) 世界遺産研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		社会福祉概論Ⅰ 社会福祉概論Ⅱ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (38) <平成30年4月>
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	船津 卓馬 (37) <平成30年4月>
		数学の世界 物理の世界

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 由加里 (53) <平成30年4月>
		人間と思想Ⅰ 人間と思想Ⅱ 倫理学
兼任	講師	石田 仁志 (59) <平成30年4月>
		人間と文化Ⅰ 人間と文化Ⅱ
兼任	講師	鞠子 典子 (42) <平成30年4月>
		生命の科学 生物と生命
兼任	講師	田中 規子 (53) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	竹田 葉留美 (50) <平成30年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	森島 由紀子 (49) <平成30年4月>
		基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ
兼任	講師	鈴木 一聲 (51) <平成30年4月>
		日本の歴史
兼任	講師	高草木 邦人 (41) <平成30年4月>
		世界の歴史
兼任	講師	河合 恵実 (52) <平成30年4月>
		西洋文化史
兼任	講師	遠山 元浩 (49) <平成30年4月>
		日本美術史
兼任	講師	斎藤 英明 (38) <平成30年4月>
		日本の経済 世界の経済
兼任	講師	佐々木 竜介 (52) <平成30年4月>
		新聞と報道
兼任	講師	平野 直子 (39) <平成30年4月>
		社会学Ⅰ 社会学Ⅱ
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (56) <平成30年4月> 色彩と科学 色彩デザイン
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	下久保 亘 (47) <平成30年4月> 数学の世界 物理の世界
兼任	講師	鈴木 絢子 (37) <平成30年4月> 地球と宇宙
兼任	講師	臼杵 豊展 (41) <平成30年4月> 物質と化学
兼任	講師	滝沢 真美 (57) <平成31年4月> 科目削除 色彩デザイン
兼任	講師	稲葉 隆 (56) <平成30年4月> 色彩と科学
兼任	講師	野々垣 みどり (48) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習A 社会と教養演習B
兼任	講師	三宮 わか奈 (38) <平成30年4月> 進路設計 社会と教養演習C
兼任	講師	最上 裕司 (41) <平成30年4月> 進路設計
兼任	講師	相ヶ瀬 千草 (41) <平成30年4月> 言語表現演習 I 言語表現演習 II 社会と教養演習D
兼任	講師	永久 理恵 (58) <平成30年4月> キャリアリテラシー
兼任	講師	城川 美佳 (55) <平成30年4月> 女性と健康 I 女性と健康 II
兼任	講師	塩嶋 理恵 (46) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	丸山 麻子 (39) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II
兼任	講師	三辻 浩子 (52) <平成30年4月> スポーツ I スポーツ II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
兼任	講師	境 希里子 (59) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	大石 瑤子 (33) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	中尾 真樹 (54) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語A I 日本語A II 日本語A III 日本語A IV
兼任	講師	境 希里子 (60) <平成30年4月>
		言語表現演習 I 言語表現演習 II 日本語B I 日本語B II 日本語B III 日本語B IV 日本事情 I 日本事情 II
兼任	講師	池上 俊彦 (48) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	江連 成美 (51) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	
兼任	講師	木村 崇是 (26) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II
兼任	講師	小田島 則子 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	川上 真巳子 (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ
兼任	講師	木庭 真美子 (64) <平成30年4月>
		英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	宮脇 裕子 (62) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	Moreau Robert (48) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語BⅠ 英語BⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小泉 勇人 (34) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 科目削除 科目削除
兼任	講師	木庭 真美子 (65) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	佐々木 千恵 (50) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 科目削除 科目削除 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	宮脇 裕子 (63) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ
兼任	講師	
		Burns Kevin Robert (54) <平成30年4月> 英語AⅠ 英語AⅡ
兼任	講師	本村 万喜子 (43) <平成30年4月>
		英語BⅠ 英語BⅡ 英語AⅢ 英語AⅣ
兼任	講師	薬師 英子 (37) <平成30年4月>
		英語AⅠ 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 英語BⅢ 英語BⅣ

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田 明代 (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	メルヴィン・ジョン (43) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 一徳 (29) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II
兼任	講師	杉田 貴瑞 (31) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語A III 英語A IV
兼任	講師	砂田 緑 (29) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	田ノ口 正悟 (30) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	加藤 洋昭 (36) <平成30年4月>
		科目削除 科目削除 英語B I 英語B II 英語A III 英語A IV 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Earl Russell (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	Suthichai Pac Taupradist (35) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	Jeffrey Jones (46) <平成30年4月>
		Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	吉田裕子リナ (59) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV
兼任	講師	マツモト・コンラッド (52) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	谷口 ラケル (54) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語A III 英語A IV 英会話 I 英会話 II 英会話 III 英会話 IV
兼任	講師	木澤 利英子 (37) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 英語B III 英語B IV
兼任	講師	神山 佐文 (55) <平成30年4月>
		英語A I 英語A II 科目削除 科目削除 英語B III 英語B IV
兼任	講師	
兼任	講師	Rod Caldwell (32) <平成30年4月>
		英会話 I 英会話 II
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	堀邊 阿伊子 (38) <平成30年4月> 平面と立体表現の基礎 図学と透視画の基礎 CAD III 建築計画D

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		Jason Takada (49) <平成30年4月> 兼任 講師 Receptive English I Receptive English II Productive English I Productive English II
		クレイ・サイモン (52) <平成30年4月> 兼任 講師 英会話 I 英会話 II
兼任	講師	松村 悠子 (40) <平成30年4月> フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV
兼任	講師	黒瀬 志保 (45) <平成30年4月> ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV
兼任	講師	木下 令子 (62) <平成30年4月> スペイン語 I スペイン語 II スペイン語 III スペイン語 IV
兼任	講師	西端 彩 (36) <平成30年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 III 中国語 IV
兼任	講師	牧野 冬生 (42) <平成30年4月> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	Suwat Charoennibhon vanich (61) <平成30年4月> コンピュータ演習 I コンピュータ演習 II
兼任	講師	堀邊 阿伊子 (38) <平成30年4月> 平面と立体表現の基礎 図学と透視画の基礎 CAD III 建築計画D

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	南雲 理枝 (60) <平成30年4月> プロダクトデザイン入門 立体織デザインⅠ 立体織デザインⅡ 立体織デザインⅢ
兼任	講師	内 美弥子 (40) <平成31年4月> 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	田中 昭成 (47) <平成31年4月> 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	中村 和也 (60) <平成31年9月> 設計製図Ⅱ
兼任	講師	Frank la Riviere (57) <平成31年9月> 設計製図Ⅱ インテリアデザインⅠ
兼任	講師	伊藤 香織 (45) <平成31年9月> 住空間とライフスタイル
兼任	講師	石原 朋子 (54) <平成31年9月> 環境デザイン
兼任	講師	出原 秀仁 (60) <平成32年4月> インテリアデザイン計画B インテリアデザイン計画C
兼任	講師	野田 昇一郎 (50) <平成31年4月> 家具デザインⅠ 家具デザインⅡ
兼任	講師	渡辺 信史 (44) <平成31年4月> 陶芸デザインⅠ 陶芸デザインⅡ 陶芸デザインⅢ
兼任	講師	岩谷 洋子 (55) <平成31年4月> 芸術論 工芸デザイン論 日本建築史 西洋建築史
兼任	講師	堀 伸平 (43) <平成32年4月> 空間演出A 空間演出B
兼任	講師	大林 万里江 (41) <平成31年9月> ランドスケープ論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	南雲 理枝 (60) <平成30年4月> プロダクトデザイン入門 立体織デザインⅠ 立体織デザインⅡ 立体織デザインⅢ
兼任	講師	内 美弥子 (40) <平成31年4月> 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	田中 昭成 (46) <平成31年4月> 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ
兼任	講師	中村 和也 (59) <平成31年9月> 設計製図Ⅱ
兼任	講師	Frank la Riviere (56) <平成31年9月> 設計製図Ⅱ インテリアデザインⅠ
兼任	講師	伊藤 香織 (44) <平成31年9月> 住空間とライフスタイル
兼任	講師	石原 朋子 (53) <平成31年9月> 環境デザイン
兼任	講師	出原 秀仁 (58) <平成32年4月> インテリアデザイン計画B インテリアデザイン計画C
兼任	講師	野田 昇一郎 (50) <平成31年4月> 家具デザインⅠ 家具デザインⅡ
兼任	講師	渡辺 信史 (43) <平成31年4月> 陶芸デザインⅠ 陶芸デザインⅡ 陶芸デザインⅢ
兼任	講師	岩谷 洋子 (55) <平成31年4月> 芸術論 工芸デザイン論 日本建築史 西洋建築史
兼任	講師	堀 伸平 (41) <平成32年4月> 空間演出A 空間演出B
兼任	講師	大林 万里江 (40) <平成31年9月> ランドスケープ論

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	大塚 弘樹 (48)
		＜平成32年9月＞
		建築環境設備
兼任	講師	熊倉 永子 (35)
		＜平成32年4月＞
		環境工学
兼任	講師	関 栄二 (52)
		＜平成32年4月＞
		建築法規Ⅰ
		建築法規Ⅱ
兼任	講師	沖野 俊則 (57)
		＜平成32年9月＞
		インテリアデザインⅡ
兼任	講師	滝澤 雅史 (43)
		＜平成31年4月＞
		博物館資料論
		博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (45)
		＜平成31年4月＞
		地域文化概論
		歴史地理学
		博物館展示論
		博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (63)
		＜平成31年4月＞
		博物館教育論
		博物館情報・メディア論
		博物館実習B
兼任	講師	津曲 真一 (47)
		＜平成31年4月＞
		日本文化史Ⅰ
		日本文化史Ⅱ
兼任	講師	鈴木 伸子 (40)
		＜平成31年9月＞
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (42)
		＜平成31年4月＞
		西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (36)
		＜平成31年9月＞
		西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62)
		＜平成31年4月＞
		日本の文化財Ⅰ
		日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (50)
		＜平成31年4月＞
		歴史考古学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	大塚 弘樹 (46)
		＜平成32年9月＞
		建築環境設備
兼任	講師	熊倉 永子 (33)
		＜平成32年4月＞
		環境工学
兼任	講師	関 栄二 (50)
		＜平成32年4月＞
		建築法規Ⅰ
		建築法規Ⅱ
兼任	講師	沖野 俊則 (55)
		＜平成32年9月＞
		インテリアデザインⅡ
兼任	講師	滝澤 雅史 (42)
		＜平成31年4月＞
		博物館資料論
		博物館資料保存論
兼任	講師	滝口 正哉 (44)
		＜平成31年4月＞
		地域文化概論
		歴史地理学
		博物館展示論
		博物館経営論
兼任	講師	山口 和美 (62)
		＜平成31年4月＞
		博物館教育論
		博物館情報・メディア論
		博物館実習B
兼任	講師	長谷川 幸一 (36)
		＜平成31年4月＞
		日本文化史Ⅰ
		日本文化史Ⅱ
兼任	講師	鈴木 伸子 (38)
		＜平成31年9月＞
		日本のミュージアム
兼任	講師	岩谷 秋美 (41)
		＜平成31年4月＞
		西洋美術の旅Ⅰ
兼任	講師	桑 和沙 (35)
		＜平成31年9月＞
		西洋美術の旅Ⅱ
兼任	講師	加島 勝 (62)
		＜平成31年4月＞
		日本の文化財Ⅰ
		日本の文化財Ⅱ
兼任	講師	今野 慶信 (49)
		＜平成31年4月＞
		歴史考古学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市川 理恵 (47) <平成31年4月>
		文化交流史 I 文化交流史 II

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	市川 理恵 (46) <平成31年4月>
		文化交流史 I 文化交流史 II

- (注)
- ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

＜人間総合学群 住空間デザイン学類＞

【平成30年度】

- ・篠教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除、鈴木准教授に担当者変更。
- ・磯谷教授、病気治療予定の理由により、「プロダクトデザイン入門」を久野兼任講師に担当者変更。
- ・鈴木准教授、科目調整の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を追加、「CADⅠ」を削除、小川講師に担当者変更。
- ・小川講師、科目調整の理由により、「CADⅠ」を追加。
- ・小久保助教、体調不良の理由により、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を削除。
- ・糟谷兼任教授、科目調整の理由により、「ドイツ語Ⅰ」「ドイツ語Ⅱ」を削除、黒瀬兼任講師に担当者変更。
- ・須藤兼任教授、公認心理師法施行規則制定の理由により、「心理学入門Ⅱ」を削除、富士原兼任教授、松岡兼任教授に担当者変更。
- ・中野兼任教授、教育課程充実のため、「英語コミュニケーション入門Ⅰ」「英語コミュニケーション入門Ⅱ」を追加。
- ・皆川兼任准教授、准教授から教授へ昇格。
- ・大貫兼任講師、講師から准教授へ昇格。
- ・石川兼任講師、講師から准教授へ昇格。
- ・龍谷兼任講師、就任辞退の理由により、「仏教学Ⅰ」を佐々木兼任教授、「仏教学Ⅱ」を千葉兼任教授に担当者変更。
- ・船津兼任講師、就任辞退の理由により、「数学の世界」「物理の世界」を下久保兼任講師に担当者変更。
- ・滝沢兼任講師、科目担当辞退により、「色彩と科学」を稲葉兼任講師に担当者変更、それに伴う就任年月変更。
- ・大石兼任講師、就任辞退の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を木村兼任講師に担当者変更。
- ・小泉兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・木庭兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加。
- ・佐々木兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Moreau Robert兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をBurns Kevin Robert兼任講師に担当者変更。
- ・吉田兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を鈴木兼任講師に担当者変更。
- ・杉田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・砂田兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除。
- ・田ノ口兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・加藤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を削除、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・メルヴィン・ジョン兼任講師、就任辞退の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」をEarl Russell兼任講師に担当者変更。
- ・木澤兼任講師、時間割調整の理由により、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を追加。
- ・神山兼任講師、時間割調整の理由により、「英語AⅠ」「英語AⅡ」を追加、「英語BⅠ」「英語BⅡ」を削除。
- ・Suthichai Pac Taupradist兼任講師、就任辞退の理由により、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」をRod Caldwell兼任講師に担当者変更。
- ・Jeffrey Jones兼任講師、就任辞退の理由により、「Receptive EnglishⅠ」「Receptive EnglishⅡ」「Productive EnglishⅠ」「Productive EnglishⅡ」をJason Takada兼任講師に担当者変更。
- ・クレイ・サイモン兼任講師、教育課程充実のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」を追加。
- ・津曲兼任講師、就任辞退の理由により、「日本文化史Ⅰ」「日本文化史Ⅱ」を長谷川兼任講師に担当者変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **既設で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
7	2	1	2	12	7	2	1	2	12	7	2	1	2	12
(7)	(2)	(1)	(2)	(12)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 （平成17年以前の 就任者は70歳） 歳	0	0
	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{0} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし 留意事項	該当なし 未履行	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学群 住空間デザイン学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況（別添資料1「点検・評価・改善委員会規程」、参照）

本学では、教員の資質の維持、改善、向上を図るための組織として「点検・評価・改善委員会」を置いている。同委員会は、主として、以下の諸活動を行っている。

1. 授業アンケートの実施と自己評価報告書の作成依頼
2. 学内公開授業の運営
3. ファカルティ・ディベロップメントの実施
4. 教育研究業績記録の作成

本委員会は、全学的な組織であり、学群長（人間総合学群）、各学部長（人間健康学部・看護学部）、各教授会より選ばれた教員、事務職員により構成される。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 点検・評価・改善委員会は、基本的に、月の第3木曜日に開催している。
2. 平成29年度の開催状況を以下に記す。
 - ・平成29年 4月20日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年 5月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員7名、職員1名、以上11名出席
 - ・平成29年 6月15日 委員長、人文学部長、他教員6名、職員1名、以上9名出席
 - ・平成29年10月19日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年11月16日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成29年12月21日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員6名、職員1名、以上10名出席
 - ・平成30年 1月18日 委員長、人文学部長、人間健康学部長、他教員5名、職員1名、以上9名出席

c 委員会の審議事項等

1. 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
2. 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
3. その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

上記3の具体的内容として、授業アンケート、学内公開授業、卒業年次アンケート、FD・SD活動の実施、FD分科会の統括、研究費傾斜配分、外部機関開催のFD研修会案内、等があげられる。

② 実施状況

a 実施内容

1. 学内公開授業
2. ファカルティ・ディベロップメント
3. 教育研究業績記録の作成

b 実施方法

1. 学内公開授業

本学では、前期と後期に各1回、2週間にわたり、専任教員を中心とした学内授業公開期間を設けている。参観者は、見学した授業に対する意見書を自己の名前を付して提出する。

2. ファカルティ・ディベロップメント

本学では、「点検・評価・改善委員会」が中心となり、教職員を対象としたFD研修会を、毎年1回もしくは2回、実施する。FD研修会は、専任教員全員参加を原則とし、終了後の報告を義務付ける。さらに、学類、学科の枠をこえ、類似する専門分野の教員が集まり、よりよい授業への改善を目的に、独自のFD活動分科会を展開させている。現在は、歴史関連科目FD分科会、第二外国語FD分科会等、15の分科会が稼働中である。分科会の1年間の成果は、年度末に教育研究支援課に提出され、記録を保管している。

3. 教育研究業績記録の作成

本学では、全専任教員が教育研究業績を毎年更新している。これは、所定の形式にのっとり、「教育実践上の主な業績」「作成した教科書・教材・参考書」「教育活動上特記すべき事項」「研究活動」「学会等社会における主な活動」等の項目をまとめ、年度末に提出するというものである。教員は、これを、教育内容の見直しを図るための一助として活用している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 学内公開授業（平成29年度実績）

前期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 156
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 45
（参考 兼任講師8名参加 公開授業総数19）

後期

人文学部 専任教員64名、公開授業総数 132
人間健康学部 専任教員16名 公開授業総数 42
（参考 兼任講師4名参加 公開授業数 5）

2. ファカルティ・ディベロップメント（平成29年度実績）

1. 平成29年6月29日

研修会講演 五味洋一「大学における障害学生への合理的配慮を考える2」
参加状況 人文学部 専任教員64名中59名出席 5名（録画視聴） 全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 3名（録画視聴） 全員アンケート提出

2. 平成30年2月15日

研修会講演 中谷隆文「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員64名中58名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員16名中13名出席 出席者全員アンケート提出

3. 平成30年3月8日（2月15日不参加者がいたため再度同内容で開催、ただし講演者1名）

研修会講演 田上慧子「変わりゆく高校の指導現場と大学の今後」
田上慧子「今日の高校における教育環境・学習内容と高大接続」
参加状況 人文学部 専任教員不参加者6名中4名出席 出席者全員アンケート提出
人間健康学部 専任教員不参加者3名中1名出席 出席者全員アンケート提出
再開不参加者 3名中2名資料を読みアンケート提出、3名中1名体調不良により完全不参加

3. 教育研究業績記録の作成

人文学部、人間健康学部、専任教員、平成29年度末までに全員提出。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 学内公開授業

参観のあった授業担当者は、参観者からの意見書を他者評価として受け取り、授業改善に活用した。この制度はまた、参観者が自己の授業を改善するきっかけとしての役割も果たしている。

2. ファカルティ・ディベロップメント

前期研修会を通して、障害学生への支援の取り組み改善を促進させた。また、後期研修会を通して、本年度開設された人間総合学群の教育全般にわたる準備を図ることができた。

3. 教育研究業績記録の作成

教育研究業績記録を作成することで、自己の教育研究の見直しを図る機会を得た。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、前期と後期の終わりに各1回、全学的な授業アンケートを実施し、その結果に基づく自己評価報告書の作成を専任教員に義務づけている。アンケートの項目は、学生自身の学修状況を問う3項目を含め、合計13項目で構成される。教員の授業内容を問う10項目のうち、5段階評価で3.0に満たない項目がある授業に関しては、評価が低かった原因を分析したうえで、報告書に改善計画を付記しなければならない。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果をとりまとめた報告書は、本学図書館で教職員と学生に公開している。随時閲覧が可能である。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学生確保

人間総合学群の設置届出が受理されてから、学群・学類を紹介する大学案内冊子、リーフレットの作成、大学ホームページの更新、教職員の高校訪問、オープンキャンパスの開催などを行い、教育内容とアドミッション・ポリシーを周知させるように努めた。

本年度入学試験の結果は、入学定員370名に対して、入学志願者は1357名、入学者は458名、定員充足率は123.8%であった。入学者の内訳は、推薦、AO、外国人留学生入学試験入学者、264名、一般入学試験、センター試験利用入学試験入学者、194名である。この数値は、人間総合学群の母体となった人文学部の定員充足率が、平成29年度103.8%、平成28年度74.9%、平成27年度88.2%、であったのを大きく上回る。次年度も、入学志願者の数を減らさないように、広報活動を充実させていく。

2. 新入生オリエンテーション(学群制の周知)

新入生に対して、4月2日から5日の4日間にわたり、オリエンテーションを行った。そこでは、本学の建学の精神、教育理念、学群・学類教育の目的と特色、教育課程の編成、学生生活全般について説明するとともに、専任教員の紹介、住空間デザイン学類希望者向け施設見学を実施した。また、授業の準備として、現在の学力を再確認するための、基礎学カテスト、英語クラス分けテストを入学者全員に課した。その他、奨学金の説明会、教職課程、学芸員養成課程のガイダンス、留学生へ向けての特別オリエンテーションを開催した。

3. 初年次教育

人間総合学群は、初年次教育の柱として、「基礎ゼミⅠ」「基礎ゼミⅡ」を置いている。基礎ゼミは、専任教員が担当し、授業担当者執筆教科書(駒沢女子大学教科書シリーズ)を使用する。全クラスが共通の教科書を使うことで、教育内容に一貫性を持たせる。本科目では、授業の受け方、講義録のとり方、本の読み方、資料の探し方、小論文の書き方、討論や口頭発表の仕方、グループ活動の進め方、大学の学修に必要な基本技術等を教えると同時に、大学生活になじむための企画も行う。本年度は、予定より1クラス少ない、20クラスを設けた。ほぼ、1クラス20余名のクラス編成をとることができた。

入門科目は、各学類の専門教育の内容を確認するための導入科目である。学生は、2年進級時、自分が2年次以降に所属する学類を再確認する(前年度の12月頃を予定)。本科目群は、入学当初の希望とは異なる学類を選ぶ学生が、興味を抱いた学類の学修内容を事前に知るためにも有益な科目である。学生には、個別対応のうえ、最適な入門科目を履修するよう指導した。

初年次の必修科目である、「仏教学Ⅰ」「仏教学Ⅱ」は、就任を辞退した兼任講師の授業を専任教員がまかなうことで、予定通りのクラス編成と教育内容を維持することができた。この科目は、建学の精神を学ぶ科目として位置づけられている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・ 「自己点検評価報告書」を平成32年5月1日に公表予定

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開(平成32年5月を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成31年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30 年 8 月 1 日 ）

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

7 その他全般的事項 別添資料1

駒沢女子大学 点検・評価・改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

(担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 学群長及び各学部長
- (2) 削除
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

(事務職員の参画)

第4条の2 委員会の審議に関連する業務を担当する部門の事務職員1名以上を委員とする。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

(定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

(意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則 この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。

附 則 この規程は、平成25年12月13日から施行する。

附 則 この規程は、平成30年4月1日から施行する。